

平成30年版

消防年報



(美里町：青空の下のジャガイモ畑)

大崎地域広域行政事務組合消防本部

《美里町は鉄道の町》

小牛田駅は明治23年に開業し、古くから山神社への参拝客が利用するなどのにぎわいを見せてきました。また東北本線・石巻線・陸羽東線・気仙沼線（石巻線から分岐）の4つの路線が乗り入れる交通の要衝として、多くの通勤通学客や旅行客が利用してきました。

駅構内には宮城県内で唯一現存し稼働する転車台があり、イベント等で蒸気機関車が運行される際には、稼働する姿を見ることが出来ます。



《美里町の物産》

美里町には宮城県四大梨のひとつである「北浦梨」や、全国新酒鑑評会で15年連続金賞を受賞している地酒「黄金澤」、安産の神様として知られる山神社にちなんだ銘菓「山の神まんじゅう」など、様々な美味しい特産品があります。

また、町花でもあるバラは東北屈指の生産量を誇り、美里町を代表する特産品です。



《美里町の地形と農業》

町の南北に江合川と鳴瀬川が流れ、豊かな水と平坦な地形を生かして稲作や大豆、麦などの圃場が町いっばいに広がっています。そのほかにも北浦梨などの果樹栽培や、大規模なハウスでの野菜栽培など、農業がメインの町となっています。

また、小高い丘になっている場所には、大昔の人々が暮らした痕跡が残されており、国指定史跡山前遺跡や素山貝塚などの遺跡も数多くみられます。



(お問い合わせ先)

美里町役場 〒987-8602 宮城県遠田郡美里町北浦字駒米 13

電話 0229-33-2111 (代) ホームページアドレス <http://www.town.misato.miyagi.jp/>

はじめに

甚大な被害をもたらした東日本大震災から7年が経過し、被災した県及び市町村では、インフラや住宅再建などハード面の復興は先が見えつつあり、ソフト面での雇用や産業回復など復興まちづくり計画の発展期を迎えております。

近年は、地震災害以外にも台風による豪雨災害など、被災地の消防力のみでは対応が困難な大規模災害も発生しており、これまで以上に消防団及び婦人防火クラブ等との連携や緊急消防援助隊等による広域的な消防応援活動が重要になってきております。

当消防本部におきましても、消防本部庁舎建設や消防ポンプ自動車等の更新整備に併せた緊急消防援助隊の増隊等、消防施設整備を進めているところであり、多様化、大規模化する災害・事故に迅速かつ的確に対応するため、より一層の消防防災体制の充実強化を図ってまいります。

この年報は、平成29年度中における大崎地域広域行政事務組合の消防業務（消防団を除く）に関わる事業の成果、実績等について収録し、消防行政の効率的な運営と消防力の充実強化に資するとともに、当消防本部の実態を広く一般に紹介することを目的として編集したものです。

何とぞご高覧の上、消防行政に対しましての認識を深めていただき、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

大崎地域広域行政事務組合消防本部

目 次

消防情勢

組合消防管内図	1
消防の主な統計	2
位置及び地勢	3
消防施設の整備	4
相互応援協定	5
緊急消防援助隊	6
組合消防情勢の推移	7
大崎消防のあゆみと主な災害等	8
構成市町の面積・世帯・人口	30
事務組合機構図	31
消防本部事務分掌	32
消防署事務分掌	34
平成30年度一般会計予算概要及び消防費当初予算	35
施設（消防庁舎等）の現況	36
消防力の整備指針と現有消防力	37
所属別配置状況	38
年齢別構成表	39
勤続年数別構成表	40
年度別消防吏員採用数と採用年度別職員現員数／職員数と条例定数の推移	41

警 防

災害出動計画基準表	42
非常配備体制	44
消防車両配置表	45
消防隊出動状況	48
消防水利の現況	49

(火 災)

火災の現況	50
平成29年市町別火災発生状況	51
月別火災発生状況／過去10年間の主な出火原因	52
月別火災発生及び損害額状況／過去10年間の火災件数及び損害額の推移	53

(救 急)

救急業務の現況	54
平成29年月別救急出動状況	55
平成29年救急隊別出動状況	56
平成29年出動先別救急出動状況	57

平成29年傷病程度・年齢別搬送人員の状況	58
平成29年救急隊員の行った応急処置状況（その1）	59
平成29年救急隊員の行った応急処置状況（その2）	60
東北自動車道における救急出動件数・搬送人員	61
過去5年間の発生場所別救急出動状況／過去10年間の救急出動件数の推移	62
平成29年事故種別医療機関別搬送人員調	63
応急手当講習会等の現況	64
応急手当講習会等の開催状況（表：1～4）	65
（救 助）	
救助業務の現況	67
平成29年救助活動状況／過去5年間における救助件数の推移	68
消防装備等機械器具保有状況	69
予 防	
予防業務の現況	70
防火対象物数	71
地上5階未満，地上5階以上の防火対象物数	72
防火対象物における防火管理の状況	73
定期点検報告制度該当防火対象物数／消防同意事務処理状況	74
危険物施設状況	75
危険物関係事務処理状況／危険物関係申請状況／圧縮アセチレンガス等の状況	76
予防査察実施状況	77
液化石油ガス関係事務処理状況／火薬類取締関係事務処理状況	78
民間防火組織の結成状況	79
通信指令	
高機能消防指令センターの概要	80
通信指令システムの概要	81
指令装置機器一覧	82
119番等受付状況（災害）	83
119番等受付状況（災害以外）	84
119番等受付件数／覚知別受付件数	85
火災等区分別入電件数／テレドーム利用件数	86
月別気象状況	87
管内の消防団	
大崎管内の消防団構成	88

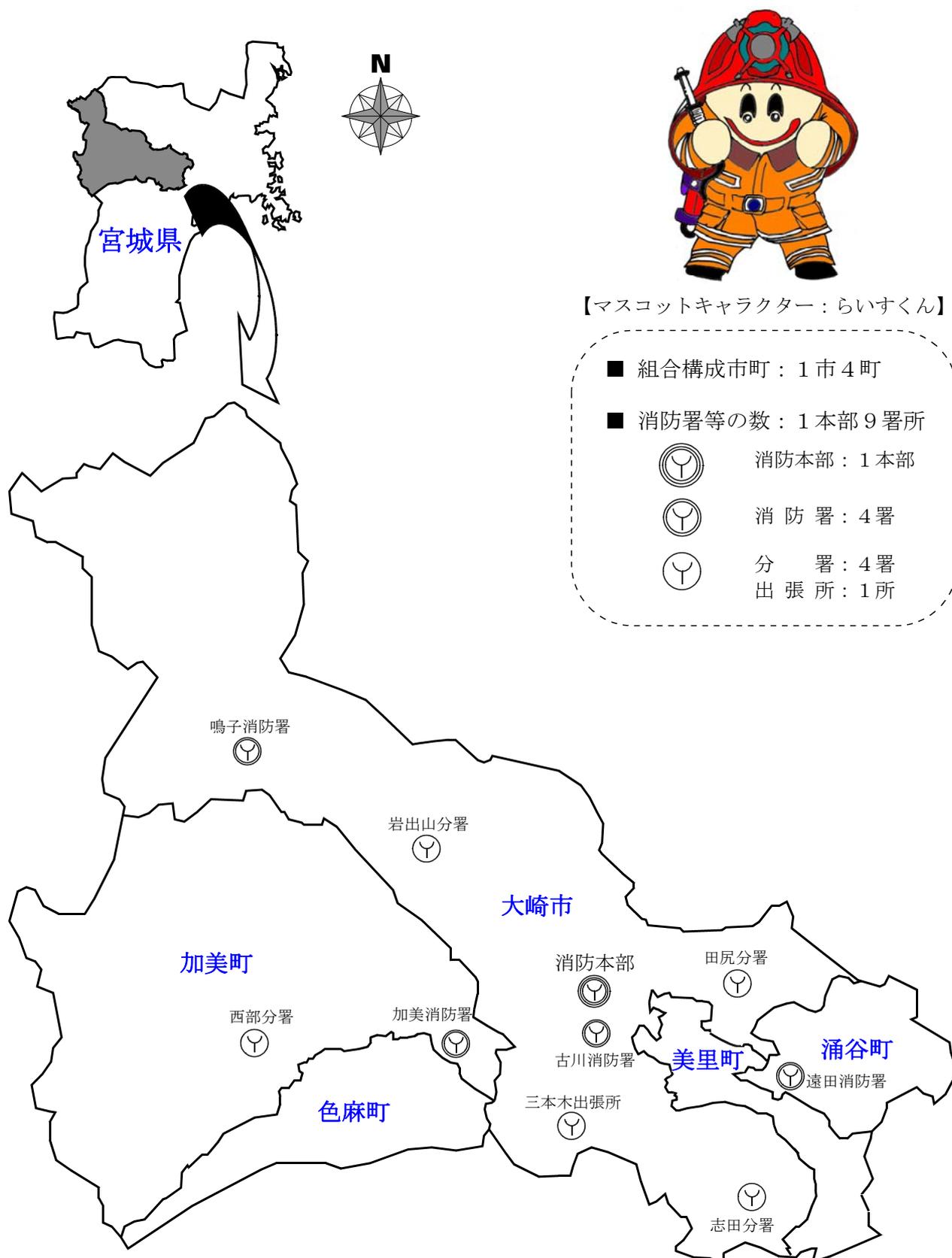
※ 本書の記載内容の期間については，各表及び統計毎に明示しております。

消 防 情 勢



新消防本部・古川消防署庁舎（イメージパース アイレベル）

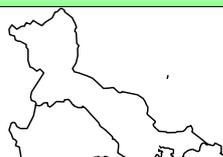
大崎地域広域行政事務組合消防管内図



■大崎消防本部の主な統計

平成30年4月1日現在の情勢

(人口・世帯等は構成市町からの数値, 災害件数は平成29年確定値)

管内面積	管内人口	管内世帯数	人口密度
 1,523.69km ²	 203,483人	 76,533世帯	 133.55人/1km ²
消防予算(30年度)	署所数	職員数	消防団員数
 5,441,179千円	 消防本部 1 消防署 4 分署等 5	 定数 338人 現有 317人	 定数 4,141人 現有 3,906人
消防車	特殊車両	救急車他	消防水利
 ポンプ車 11台 タンク車 7台 化学車 1台	 はしご車 2台 救助工作車 1台 大型水槽車 3台	 救急車 13台 司令・指揮車 6台 その他車 22台	 消火栓 3,114基 防火水槽 1,130基 その他 136箇所
火災件数	救急件数	救助件数	その他災害件数
 66件	 9,508件	 63件	 危険物等漏洩 55件 自然災害 23件 その他 258件
防火対象物数	危険物施設数	セイフティマーク	防火組織等
 8条 1,811件 17条 6,907件	 製造所 3件 貯蔵所 603件 取扱所 280件	 該当対象物 279件 特例認定対象物 30件	 婦人防火クラブ 260 少年消防クラブ 1 幼年消防クラブ 42

【位置及び地勢】

県北西部の大崎耕土

当圏域は、宮城県の北西部に位置し、南は広域仙台都市圏、東は広域石巻圏、北は栗原市・登米市、西は山形県・秋田県にそれぞれ接しています。

地勢としては、西部の山岳地帯の荒雄岳を源とする江合川、船形連峰を源とする鳴瀬川の二つの大きな川が西から東に向かって流れています。

また、山間部の豊かな森林に覆われた自然を源とする水は、圏域の北西から南東に広がる肥沃に満ちた広大な平野「大崎耕土」を潤し、昔から米どころとしての水稻の盛んな流域圏を形成しています。

圏域の人口は、平成 30 年 4 月 1 日現在 203,483 人（平成 27 年国勢調査 205,925 人）で、宮城県総人口の約 9 % を占め、広域仙台都市圏について 2 番目の規模となっています。

国土の縦軸と横軸が交差する大崎

圏域は、JR 東北新幹線・東北本線・陸羽東線・石巻線などの鉄道や、東北自動車道・国道 4 号・47 号・108 号・346 号・347 号・457 号などの幹線交通網が、縦横に通った交通アクセスの優れた地域となっています。

世界農業遺産認定

「日本の食糧供給基地」として広大で肥沃な大崎耕土に育まれた良質米「ササニシキ」「ひとめぼれ」などを産しており、平成 29 年 11 月には持続可能な水田農業を支える「大崎耕土」の伝統的水管理システムが世界農業遺産に認定されました。

また、栗駒国定公園や県立自然公園船形連峰などの優れた自然景観や鳴子温泉をはじめとする多くの温泉施設、歴史の道「奥の細道」や遺跡などの文化財、太鼓や神楽などの伝統芸能など文化遺産にも恵まれており、豊富な観光資源を活用したレクリエーション産業が発展しています。



大崎耕土（写真提供：大崎市）

【消防施設の整備】

消防本部では、地域社会の防災機関の中核として、住民のニーズに応えるべく管内情勢に応じた総合的、効果的な消防施設整備計画のもと、消防力の強化、充実を推進しています。

平成29年度の整備状況は次のとおりです。

1 消防ポンプ自動車（水槽付I-A型）の整備

導入から21年が経過した古川消防署志田分署の消防ポンプ自動車を更新整備しました。

この車両は、新たに救助資機材や簡易泡消火装置等を装備させ、消防力の強化を図ったものです。

（市町村振興総合補助及び施設整備事業債）



志田タンク車

2 高規格救急自動車の整備

導入から9年が経過した鳴子消防署の高規格救急自動車を更新整備しました。

近年増加する救急出動に対し、適切且つ迅速な救急救命処置を行うため救急資器材を充実させ、更に大規模災害時における緊急消防援助隊の救急隊としても出動します。

（緊急消防援助隊設備整備費補助金）



鳴子救急車

3 新消防本部・古川消防署の整備

平成29年5月に工事請負契約を締結した新消防本部・古川消防署の建設工事は、平成30年3月末で庁舎棟の免震工事までが終了しており、平成31年3月の完成に向けて順調に進捗しております。

<平成30年3月31日現在>



敷地内 施工状況



庁舎棟 施工状況（免震工事まで終了）

【相互応援協定】

市町村は、その管轄区域内における火災等の消防活動の責任を有していますが、その消防力をこえる大規模火災や特殊災害等が発生した場合、それらに対応するため消防組織法に基づき近隣の消防本部等と消防相互応援協定を締結しています。

東日本大震災では、宮城県広域消防相互応援協定に基づき、気仙沼市、石巻市等の2市2町へ消防隊及び救急隊等延べ67隊を派遣し43日間にわたり活動を行いました。

名称	締結年月日	締結市町村名 協定消防本部名	応援内容
消防相互応援協定	S50年 4月 1日	山形県最上広域市町村圏消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
	H 8年 7月31日	秋田県湯沢雄勝広域市町村圏消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
	H25年 3月 1日	尾花沢市消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
東北自動車道宮城県消防相互応援協定	S63年 7月 1日	仙台市・名取市・仙南広域栗原市・黒川広域5消防本部	東北自動車道における消防業務の相互応援
宮城県広域消防相互応援協定	H 4年 4月 1日	県内12消防本部(局)	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
宮城県広域航空消防応援協定	H 4年 4月 1日	宮城県内12消防本部(局)	同上
宮城県内航空消防応援協定	H13年 4月 1日	仙台市内11消防本部	同上



【緊急消防援助隊】

緊急消防援助隊は、平成7年（1995年）兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の教訓を踏まえ、大規模災害等において都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、人命救助活動等を効果的かつ迅速に行えるよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的とし、平成7年6月に創設されました。

その後、平成15年6月の消防組織法改正により、緊急消防援助隊が法制化（平成16年4月施行）されました。また、平成26年4月には東日本大震災の教訓を活かし、南海トラフ地震等への対応力を強化するため緊急消防援助隊基本計画が改定され、緊急消防援助隊の登録目標数（平成30年度末）を全国で6,000隊に大幅増隊する計画となりました。平成30年4月1日現在、全国で725消防本部から5,978隊（重複登録を除く）が登録されており、大崎広域消防本部においても、平成30年4月に鳴子救急車を新規登録し、下表のとおり12隊の登録となっております。

なお、東日本大震災では、44都道府県の消防本部から派遣された隊員は88日間にわたり活動を行いました。管内においては、石巻地区で活動を行う鹿児島県隊36隊108名を涌谷スタジアムに受入れました。

また、平成28年台風第10号で被害を受けた岩手県下閉伊郡岩泉町へ、当消防本部初となる緊急消防援助隊の応援派遣を行い、5隊20名（宮城県内12消防本部合計：51隊193名）が現地で10日間にわたり活動を行いました。



登録部隊	所 属	車 両	登録年月	登録隊数
都道府県大隊指揮隊	消防本部	司令車	H19.4	1隊
消火小隊	加美消防署	水槽付ポンプ車	H15.4	5隊
	遠田消防署	水槽付ポンプ車	H21.3	
	西部分署	水槽付ポンプ車	H26.4	
	鳴子消防署	水槽付ポンプ車	H27.4	
	田尻分署	水槽付ポンプ車	H27.4	
救助小隊	古川消防署	救助工作車	H15.4	1隊
救急小隊	加美消防署	高規格救急車	H19.4	3隊
	遠田消防署	高規格救急車	H20.4	
	鳴子消防署	高規格救急車	H30.4	
後方支援小隊	消防本部	資機材搬送車	H16.4	1隊
特殊装備小隊	遠田消防署	大型水槽車	H23.4	1隊
計				12隊



大崎地域広域行政事務組合消防情勢の推移

平成30年4月1日現在

年	区分	人口	世帯数	消防職員		火災件数 (1～12月)	救急出動件数 (1～12月)
				定数	実員		
	昭和45	219,598	48,081	186	125	76	336
	46	217,880	48,759	186	154	126	378
	47	216,507	49,280	186	186	111	655
	48	214,880	49,790	214	211	119	1,007
	49	215,464	50,472	217	214	108	1,472
	50	216,349	51,115	222	220	104	1,695
	51	217,525	51,787	222	219	119	1,880
	52	218,880	52,674	228	226	101	1,905
	53	219,884	53,462	228	222	109	2,101
	54	221,097	53,963	228	228	122	2,210
	55	219,603	54,482	228	226	86	2,474
	56	221,414	54,252	233	231	91	2,507
	57	222,930	55,192	238	236	87	2,747
	58	223,686	55,539	242	242	101	2,995
	59	223,973	55,925	242	240	101	2,906
	60	224,954	56,476	242	238	94	3,174
	61	225,434	57,134	252	243	101	3,331
	62	225,556	57,348	252	246	103	3,472
	63	225,578	57,680	252	248	99	3,517
	平成元	225,567	58,185	252	243	78	3,766
	2	225,285	58,731	252	242	87	3,958
	3	225,114	59,140	252	239	97	4,002
	4	225,225	59,733	252	243	105	4,070
	5	225,490	60,480	252	251	103	4,241
	6	226,104	61,167	260	260	105	4,575
	7	225,813	61,167	300	268	99	4,784
	8	225,606	62,754	300	276	86	5,172
	9	225,424	63,565	300	284	132	5,202
	10	225,532	64,795	300	291	117	5,757
	11	225,588	65,632	300	297	129	6,174
	12	225,054	66,296	300	299	78	6,567
	13	224,134	66,736	300	298	148	6,572
	14	223,234	67,177	338	303	138	6,816
	15	222,594	68,067	338	308	156	7,253
	16	221,420	68,268	338	312	152	7,789
	17	220,499	68,758	338	317	128	8,142
	18	219,422	69,245	338	321	86	7,918
	19	218,267	69,890	338	320	124	7,910
	20	214,085	70,384	338	312	132	7,807
	21	212,187	70,669	338	310	114	7,807
	22	213,998	71,447	338	307	99	8,251
	23	212,773	71,821	338	314	110	9,180
	24	212,509	72,699	338	315	88	9,087
	25	211,325	73,480	338	310(1)	96	9,125
	26	210,347	74,323	338	312(2)	83	9,157
	27	208,511	74,902	338	308(6)	74	9,458
	28	207,122	75,485	338	315(4)	85	9,352
	29	205,597	76,108	338	317(6)	66	9,508
	30	203,483	76,533	338	317(3)		

※ 消防職員実員の（ ）書きは、再任用職員の内数

大崎消防のあゆみと主な災害等

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和45	4	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎1市12町1村で大崎地区消防事務組合を発足, 1本部2署1派出所人員92名にて消防業務開始 ・初代消防長に古川市長 森谷菊治郎氏就任 (事務取扱) ・政令指定 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴子町字焼石亦林野火災 焼損面積3ha 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市地下鉄工事現場ガス爆発火災 死者74名, 負傷者411名
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・栗原地区消防と消防相互応援協定締結 				
46	1	<ul style="list-style-type: none"> ・古川消防署涌谷分署庁舎開設ポンプ車配置 ・古川消防署鹿島台, 岩出山, 中新田, 小牛田各分署及び小野田出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車各1台配置 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・古川市寿司店火災 死者4名 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市林野火災 死者17名 (消防職員) 負傷者1名 焼損面積340ha
	4		4	<ul style="list-style-type: none"> ・色麻町四釜, 大東電子産業(株)火災 		
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・第2代消防長に千田清志氏就任 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・岩出山町南沢林野火災 焼損面積3ha 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・雫石事故 (全日空機と自衛隊機が岩手県雫石町上空で接触墜落) 死者162名
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・古川消防署小牛田分署に普通消防ポンプ車1台増強 				
47	12	<ul style="list-style-type: none"> ・古川消防署岩出山, 鹿島台, 中新田, 涌谷の各分署に水槽付消防ポンプ車各1台を配置 				
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・古川消防署にスノーケル車1台配置 				
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・古川消防署鹿島台, 岩出山, 涌谷各分署及び小野田出張所に消防吏員待機宿舎完成 ・古川消防署岩出山, 涌谷各分署に救急車各1台配置 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・岩出山町南沢林野火災 焼損面積2.5ha 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市千日デパートビル火災 死者118名, 負傷者81名
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・第3代消防長に佐藤真夫氏就任 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・小野田町漆沢ダム工事現場作業員宿舎火災 死者1名 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市済生会八幡病院火災 死者13名, 負傷者3名 焼損面積888㎡

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和48	2	<ul style="list-style-type: none"> 石巻広域，気仙沼本吉広域，塩釜地区，登米地区各消防と消防相互応援協定締結 	2	<ul style="list-style-type: none"> 松山町次橋山王大火災 焼損棟数12棟 焼損面積945㎡ 		
	3	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署田尻出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車1台配置 古川消防署中新田分署に救急車1台配置(日本自動車工業会より寄贈) 古川消防署小牛田分署に消防吏員待機宿舍完成 大崎地域広域行政事務組合に統合するため大崎地区消防事務組合を解散 大崎地域広域行政事務組合に統合，定数条例214名 黒川地区消防と消防相互応援協定締結 古川消防署小牛田分署に救急車1台配置 機構改革により中新田分署，涌谷分署が署に昇格し，1本部4署3分署2出張所1派出所となる。 鳴子消防署に救急車1台配置(宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈) 古川消防署鹿島台分署に救急車1台配置(日本消防協会より寄贈) 	8	<ul style="list-style-type: none"> 岩出山町池月林野火災 焼損面積2ha 	7	<ul style="list-style-type: none"> 出光石油化学徳山工場爆発火災 死者1名
49	3	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署三本木機関員派出所，中新田消防署宮崎機関員派出所庁舎開設し，普通消防ポンプ車各1台配置 			9	<ul style="list-style-type: none"> 熊本大洋デパート火災 死者103名，負傷者121名 焼損面積13,637㎡
	4	<ul style="list-style-type: none"> 定数条例217名に改定 	12	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子町字星沼，旅館仙庄館火災 焼損面積780㎡ 	4	<ul style="list-style-type: none"> 三菱石油水島製油所重油流失事故
					5	<ul style="list-style-type: none"> 1974年伊豆半島沖地震(M6.9) 死者30名 家屋全壊134棟
					8	<ul style="list-style-type: none"> 東京丸の内三菱重工業ビルで時限爆弾爆発(企業連続爆破事件) 死者8名，重軽傷228名

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
昭和50	2	・古川消防署に救急車1台増強（日本損害保険協会より寄贈）			2	・四日市大協石油製油所タンク火災	
	3	・古川消防署松山機関員派出所，涌谷消防署の南郷機関員派出所の各庁舎開設し，普通消防ポンプ車各1台配置					
	4	・最上広域消防と消防相互応援協定締結 ・定数条例222名に改定	4	・岩出山町南沢畜舎火災 焼損面積624㎡	4	・大分県中部地震（M6.4） 負傷者22名 家屋全壊77棟	
	7	・古川消防署に作業車配置					
	9	・古川消防署の普通消防ポンプ自動車1台更新（日本損害保険協会より寄贈）	8	・古川市協和中学校火災 焼損面積963㎡			
	10	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新	12	・色麻町色麻中学校火災 焼損面積1,909㎡			
	51	2	・中新田消防署色麻機関員派出所庁舎開設し，普通消防ポンプ車1台配置	4	・古川市中里アパート火災 焼損面積446㎡ ・古川市佐々木製縄火災 焼損面積700㎡		
		6	・消防本部付にて特別救助隊発足（隊員7名）	7	・小野田町味袋畜舎火災 焼損面積853㎡		
		9	・第4代消防長に小金勝一氏就任			10	・酒田市大火 死者1名 負傷者1,003名 焼損棟数1,774棟，焼損面積152,105㎡
		11	・鳴子消防署に梯子車（15m級）1台配置				
12		・黒川地区消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結 ・東北高速自動車国道（古川IC～大和IC間上り線）救急業務開始			12	・沼津市雑居ビル火災 死者15名，負傷者8名 ・東北自動車道 泉～古川間開通	
52	1	・古川消防署の救急車更新（日本自動車工業会より寄贈）	1	・涌谷町住宅火災 焼損棟数5棟 焼損面積581㎡			

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和52	3	・消防救急指令装置(C型)設置			3	・北九州市林野火災 死者5名(消防職員)
	4	・定数条例228名に改定	4	・古川市山崎製畳工場火災 焼損面積852㎡	5	・岩国市岩国病院火災 死者7名, 負傷者5名
	8	・古川消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・北海道有珠山噴火
	10	・古川消防署に化学車(Ⅱ型)1台配置 ・涌谷消防署小牛田分署に水槽付消防ポンプ車を配置, 既設の普通消防ポンプ車を古川消防署に移管				
	11	・栗原広域消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結				
	12	・東北高速自動車国道(古川IC~築館IC間下り線)救急業務開始				
53	1	・消防通信指令室に気象観測装置(自記温湿・風向・風速・雨量・気圧)を設置			1	・1978年伊豆大島近海地震(M7.0) 死者25名
	3	・鳴子町上野々に無線不感地帯解消のための無線塔を設置 ・消防本部通信指令室に地図検索装置を設置 ・鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新	5	・涌谷町上郡畜舎火災 焼損面積728㎡	6	・1978年宮城県沖地震(M7.4) 死者28名 負傷者11,028名 家屋全壊1,383棟 仙台市の屋外タンクから68,160ℓの油流出
	8	・古川消防署荒谷機関員派出所の普通消防ポンプ車更新	9	・岩出山町片倉工業㈱火災 焼損面積1,445㎡		
54	3	・鳴子消防署の救急車更新 ・涌谷消防署の救急車更新(日本損害保険協会より寄贈) ・古川消防署に救急予備車を配置(鳴子消防署より移管)	2	・古川市福沼字長瀬, 青沼醸造㈱火災 焼損面積3,446㎡	3	・上越新幹線大清水トンネル火災 死者16名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等
昭和54	5	・消防本部・古川消防署庁舎完成				
	7	・消防本部救助訓練塔完成 ・消防音楽隊発足（隊員27名）	10	・中新田町菜切谷グリコ仙台アイスクリーム(株)火災 焼損面積3,446㎡	7	・東名高速道路日本坂トンネル内車両火災 死者7名，負傷者2名 焼損車両189台
	11	・消防本部に救助工作車1台配置	12	・古川市上古川屋敷住宅火災 死者5名，焼損面積158㎡		
55	3	・涌谷町篋岳に無線不感地帯解消のための無線塔を設置	5	・宮崎町宮崎店舗住宅火災 負傷者4名 焼損面積335㎡		
	6	・鳴子消防署に作業車配置（古川消防署より移管）				
	8	・古川消防署，鳴子消防署岩出山分署の救急車更新 ・中新田消防署，涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・富士山落石事故 死者12名，負傷者31名 ・静岡駅前ゴールデン街ガス爆発火災 死者14名，負傷者223名 焼損面積1,732㎡
	10	・古川消防署の水槽付消防ポンプ車を小型動力消防ポンプ付大型水槽車（10t）に更新			11	・栃木県川治プリンスホテル火災 死者45名，負傷者22名
56	3	・涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本自動車工業会より寄贈）			1	・川崎市タンカー火災 死者3名，負傷者3名
	4	・定数条例233名に改定			5	・東京上野「アメ横」火災 焼損棟数52棟
	9	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新 ・中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新	11	・小牛田町中塚作業所火災 焼損面積1,955㎡	8	・台風第15号東北縦断
57	3	・古川消防署鹿島台分署の救急車更新，既存の救急車を予備車として古川消防署に移管			10	・北炭夕張炭鉱ガス突出事故 死者93名
					2	・東京都千代田区ホテルニュージャパン火災 死者32名，負傷者34名 焼損面積4,186㎡ ・山形市蔵王温泉観光ホテル火災 死者11名，負傷者2名 焼失面積3,581㎡

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和57	4	・定数条例238名に改定 ・第5代消防長に大澤邦臣氏就任	4	・鳴子町湯元鳴子ホテル源泉噴出事故 負傷者7名	4	・東北地方を中心とした林野火災 負傷者8名 焼損棟数290棟 焼損面積4,725㎡
	7	・涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新				
58	8	・中新田消防署に圧縮空気製造用高圧コンプレッサー設置	11	・鳴子町名生定字竹原ドライブイン火災 焼損面積657㎡		
	3	・古川消防署の救急車更新				
	4	・定数条例242名に改定	4	・宮崎町谷地森字赤沼住宅火災 死者3名, 焼損面積723㎡	5	・昭和58年日本海中部地震(M7.7) 死者104名 家屋全壊1,584棟
59			6	・岩出山町字下川原墨田工業(株)工場火災, 焼損棟数2棟, 焼損面積671㎡	10	・三宅島噴火 建物損壊400棟
					11	・掛川市ヤマハレクリエーション「つま恋」プロパンガス爆発事故 死者14名
	3	・消防本部に宮城県事業として, 防災行政無線装置を設置 ・中新田消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管	5	・小野田町字上野目西小野田中学校火災 焼損面積1,996㎡	1	・福岡県高田町三井三池有明鉱構内火災 死者83名, 負傷者16名
	11	・涌谷消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新	8	・鳴子町名生定字水沼しんこう牧場火災 焼損面積564㎡	11	・東京都世田谷区で電話地下ケーブル火災
60	1	・第6代消防長に組合助役内田綱雄氏就任(事務取扱)				
	2	・消防本部に宮城県事業として, 防災無線端末局用ファクシミリ装置を設置	2	・岩出山町字下一栗一本杉畜舎火災 焼損面積703㎡	2	・新潟県青梅町土砂崩れ 死者10名, 負傷者4名 建物損壊7棟

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和60	3	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部通信指令室に消防救急指令装置（C型）1台増設 消防本部通信指令室に地図検索装置（F100C）を設置 古川消防署鹿島台分署，鳴子消防署岩出山分署，涌谷消防署小牛田分署，同田尻出張所，中新田消防署小野田出張所電話転送装置を設置 消防本部通信指令室に119番集中管理用無線指令起動装置を設置 涌谷消防署の救急車更新 古川消防署荒谷機関員派出所を廃止し，同所の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管 	3	<ul style="list-style-type: none"> 涌谷町字三十軒屋敷住宅火災 焼損棟数3棟 焼損面積592㎡ 	5	<ul style="list-style-type: none"> 東京都目黒区柿の木板タンクローリー火災
	6	<ul style="list-style-type: none"> 119番集中管理運用開始 	6	<ul style="list-style-type: none"> 中新田町四日市場字屋敷作業所火災 焼損棟数6棟 焼損面積716㎡ 	7	<ul style="list-style-type: none"> 長野市地附山地滑り 死者26名
	9	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子消防署岩出山分署の水槽付消防ポンプ車更新（日本損害保険協会より寄贈） 			8	<ul style="list-style-type: none"> 日航ジャンボ機墜落事故（群馬県上野村） 死者520名，負傷者4名
	11	<ul style="list-style-type: none"> 中新田消防署庁舎増改築工事竣工 			9	<ul style="list-style-type: none"> メキシコ大地震 死者数千人以上
	12	<ul style="list-style-type: none"> 中新田消防署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈） 			11	<ul style="list-style-type: none"> 南米コロンビア火山大噴火 死者2万人以上
	12	<ul style="list-style-type: none"> 豪雪（61年3月まで） 死者90名 負傷者678名 			12	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県熱川温泉大東館火災 死者24名 焼損面積1,461㎡
61	2	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部に鳴子ダム放流伝達用ファクシミリ装置を設置 			2	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県熱川温泉大東館火災 死者24名 焼損面積1,461㎡
	4	<ul style="list-style-type: none"> 定数条例252名に改定 			7	<ul style="list-style-type: none"> 神戸市 陽気寮火災 死者8名

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和61	9	・古川消防署鹿島台分署の水槽付消防ポンプ車更新	8	・台風10号により鹿島台町の吉田川決壊，全町の約50%にあたる2,670haが冠水 死者1名 家屋冠水969棟，1,415世帯に避難勧告	8	・台風10号 死者20名，負傷者107名
	62	3	・鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈） ・古川消防署の救急車更新 ・涌谷消防署田尻出張所の普通消防ポンプ車の更新		11	・伊豆大島噴火
63			1	・鳴子町名生定住宅火災 死者1名 焼損133㎡	3	・名取市東北自動車道多重衝突事故 死者1名，焼損車両13台
	3	・中新田消防署色麻派出所の普通消防ポンプ車更新 ・涌谷町籠岳無線通信所の制御器を消防本部指令室に移設 ・古川消防署三本木派出所松山派出所，中新田消防署宮崎派出所，色麻派出所，涌谷消防署南郷派出所に無線起動装置を設置	3	・鳴子町大口旅館・住宅火災 死者1名 焼損棟数4棟 焼損面積844㎡	5	・東電大井火力発電所爆発火災 死者4名
	4	・第7代消防長に渡辺邦夫氏就任	7	・中新田町字赤塚住宅火災 死者3名 焼損面積103㎡	6	・東村山市特別養護老人ホーム松寿園火災 死者17名，負傷者25名 焼損面積450㎡
			4	・宮崎町孫沢，住宅火災4棟全半焼	7	・海上自衛隊潜水艦「なだしお」と釣り船「第1富士丸」衝突
平成元	4	・第8代消防長に高橋仁一氏就任	5	・色麻町平沢，住宅火災3棟全半焼	12	・ソ連アルメニア共和国大地震 死者10万人
					6	・伊豆群発地震
	8	・消防本部通信指令室に救急医療情報検索端末装置を設置			7	・伊豆半島東方河海底入火山噴火 ・台風11，12，13号及び熱帯低気圧による災害
				8	・東京都江東区28階建高層マンション24階から出火	

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成元	11	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署三本木派出所の普通消防ポンプ車更新（消防施設補助整備事業等） 中新田消防署宮崎派出所の普通消防ポンプ車（4WD）更新 					
	2	1			3	<ul style="list-style-type: none"> 尼崎市長崎屋火災 死者15名，負傷者6名 	
				11	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島台町大迫川決壊床下浸水51棟 		
	3			2	<ul style="list-style-type: none"> 岩出山町一栗中学校火災 体育館747㎡全焼 	2	<ul style="list-style-type: none"> 関西電力美浜原発2号機で冷却水漏れ事故
		3	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子消防署庁舎新築工事竣工 鳴子消防署敷地内の消防訓練塔建築工事竣工（主塔は消防施設補助整備事業） 			3	<ul style="list-style-type: none"> 雲仙普賢岳噴火による火砕流災害，死者41名
		6	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部の防火広報車更新（日本防火協会より寄贈） 				
		8	<ul style="list-style-type: none"> 大崎地域広域行政事務組合創立20周年記念式典挙行 				
		10	<ul style="list-style-type: none"> 涌谷消防署南郷派出所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業） 				
	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈） 古川消防署鹿島台分署の救急車更新（宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈） 	2	<ul style="list-style-type: none"> 東北自動車道玉突き事故（古川市塚目地内） 死者2名，負傷者27名 		
		4	<ul style="list-style-type: none"> 第9代消防長に早坂千早氏就任 宮城県広域消防相互応援協定締結 				

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成4 5	9	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署, 古川消防署 松山派出所の普通消防ポンプ車更新, 既存の同派出所の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管 消防本部通信指令室に宮城県総合防災情報システム端末設備を設置 鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管 	9	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子町鳴子ホテル火災 551㎡部分焼 宿泊客325名無事避難 			
	10	<ul style="list-style-type: none"> 第10代消防長に宍戸武氏 就任 	10	<ul style="list-style-type: none"> 田尻町田尻, 住宅火災9棟全半焼 			
			12	<ul style="list-style-type: none"> 小牛田町化粧坂, 住宅火災 3棟全半焼 		1	<ul style="list-style-type: none"> 北海道釧路沖地震(M7.8) 死者2名 家屋全壊53棟
	4	<ul style="list-style-type: none"> 第11代消防長に組合助役 青沼宏明氏就任 (事務取扱) 	6	<ul style="list-style-type: none"> J R 東北本線鹿島台野蒜踏切列車事故(救助救急出動) 死者3名 		7	<ul style="list-style-type: none"> 北海道南西沖地震(M7.8) 死者行方不明230名 家屋全壊601棟
			8	<ul style="list-style-type: none"> 岩出山町大学町, 作業所火災 2棟全半焼 		8	<ul style="list-style-type: none"> 平成5年8月豪雨災害
			10	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療情報検索端末装置更新 		9	<ul style="list-style-type: none"> 台風13号による災害
			11	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署のスノーケル車を梯子車(35M)に更新 (消防防災設備補助事業) 初の救急救命士誕生 			
			12	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署の救急車を高規格救急車に更新, 既存救急車を予備車として古川消防署に移管 			
	6	4	<ul style="list-style-type: none"> 定数条例260名に改定 	9	<ul style="list-style-type: none"> 台風26号増水による涌谷町三軒屋敷地内江合川決壊警戒出動 		
		12	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新 鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新 			12	<ul style="list-style-type: none"> 三陸はるか沖地震(M7.5) 死者3名, 家屋全壊72棟 福島県若喜旅館火災 死者5名, 負傷者3名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等			
平成7	2	・ 涌谷消防署の救急車更新 (宮城県共済農協連合会より寄贈)				1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阪神淡路大震災 死者6,430名, 負傷者43,782名, 火災285件, 全半焼7,071棟, 避難者31万人, 住家全壊104,900棟, 半壊144,255棟 ・ 東京都心地下鉄サリン事件 		
		・ 中新田消防署の救急車更新							
	4	・ 本署5救急隊専任化に伴い40名増員, 定数条例300名に改定				5		・ 涌谷町吉住, 住宅火災 4棟全半焼	3
								・ 古川市七日町, 店舗併用住宅火災 焼損面積270㎡全焼	
	7	・ 鳴子消防署, 涌谷消防署の査察車更新				6		・ 涌谷町箕岳観光会館ホテル火災(宿泊客15名無事避難) 焼損面積・延1,424㎡の内320㎡部分焼	
	8	・ 消防本部の指令車更新				8		・ 宮崎町木船, 住宅火災 3棟全半焼	
		・ 緊急消防援助隊編成で救助部隊1隊登録, 消火部隊2隊登録							
	9	・ 古川消防署の指揮車更新 (日本消防協会より寄贈)							
	10	・ 中新田消防署救急隊専任化							
12	・ 古川消防署の化学消防ポンプ車更新								
8	1	・ 防災倉庫竣工(救急消毒室併設)				2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道豊浜トンネル落盤事故 死者20名 		
		・ 涌谷消防署小牛田分署の水槽付消防ポンプ車更新							
	3	・ 古川消防署の連絡車更新							
		・ 古川消防署の救助工作車(Ⅱ型)をⅢ型に更新, Ⅱ型を鳴子消防署へ配置換え							
4	・ 財務会計システム運用開始	5	・ 三本木町蒜袋, 住宅等火災 6棟全焼						
			6		・ 岩出山町下山里, 住宅火災 3棟全半焼				
					6	・ 福岡空港ガルーダインドネシア航空機の離陸失敗炎上 死者3名, 負傷者109名			

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成8	7	・湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部と消防相互応援協定締結					
	8	・鳴子消防署の指揮車更新 ・中新田消防署小野田出張所の指揮車更新	8	・宮城県北部（鳴子町鬼首地区）地震 負傷者4名 家屋半壊28世帯186名家屋一部破損168世帯689名、路面の亀裂陥没、路肩崩壊・橋脚の亀裂等			
	10	・涌谷消防署救急隊専任化 ・涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新（日本損害保険協会より寄贈）既存の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管	12	・中新田町下新田，住宅火災4棟全半焼，傷者1名			
	9	2	・中新田消防署配置の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業） ・中新田消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）既存の救急車を古川消防署（第2救急車）へ移管，古川第2救急車を予備車に配置換え		1	・ロシア船籍タンカーナホトカ号の座礁，大量の重油流出による日本海沿岸8府県に及ぶ広域海洋汚染	
	3	・消防本部庁舎構内に電話交換機更新（NTT，EP-17型）	4	・田尻町大貫，住宅等火災5棟全焼	3	・動燃東海事業所施設内で爆発事故 被爆者数37名	
	8	・古川消防署鹿島台分署の指揮車更新	6	・鹿島台町鶴田川，広長川大雨による堤防決壊2カ所，幹線道路欠損2カ所	6	・臓器移植法成立	
	10	・中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	9	・鳴子町尿前地内登山遭難，傷者1名（県防災ヘリ出動）			
	12	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	10	・小野田町漆沢，登山遭難，傷者2名（県防災ヘリ出動）			
	12	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	12	・小牛田町建物火災 死者2名 焼損面積201㎡ 3棟			
	10	3	・自動車，携帯電話からの119番受付業務を代表消防本部として開始（大崎，黒川，栗原ブロック）	4	・古川市きのこ工場工事現場火災 焼損面積13,225㎡ 死者1名，負傷者16名		

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成10	7	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴子消防署岩出山分署の指揮車更新 ・消防本部に資機材搬送車を整備 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴子町国立鳴子病院火災 死傷者13名 		
	11	<ul style="list-style-type: none"> 2 鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈） 3 涌谷消防署の救急車を高規格救急車に更新（山之内製菓㈱より寄贈） 4 第12代消防長に組合助役千葉賢氏就任（事務取扱） 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・古川市南町保育所火災 焼損面積310㎡ 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・臓器移植法施行以来、初の脳死移植実施。
			3	<ul style="list-style-type: none"> ・中新田町ソニー㈱中新田工場火災 焼損面積3,034㎡ 損害額36億4,100万円 		
			7	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿島台町鶴田川決壊下志田地区一帯冠水300世帯に避難勧告 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・古川市立病院において国内3例目の脳死判定が行われ、古川消防署救急隊により市内師山ヘリポートへ臓器の緊急搬送を実施。
					8	<ul style="list-style-type: none"> ・トルコ北西部地震（M7.8）（緊急消防援助隊派遣） 死者1,700人、負傷者24,900人、家屋被害180,300棟
					9	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾中部地震（M7.7）（緊急消防援助隊派遣）死者2,400人、負傷者11,000人、家屋被害82,400棟 ・茨城県東海村核燃料加工会社JCO東海事業所で、日本初の臨界事故発生、社員80名以上が被爆
	12	<ul style="list-style-type: none"> 11 鳴子消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業） 涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業） 			3	<ul style="list-style-type: none"> ・営団地下鉄日比谷線で通勤電車が脱線、上り電車と衝突 死傷者69名 ・北海道有珠山が23年ぶりに噴火、その後三宅島の雄山等も噴火、全国的に火山活動が活発化
			10	<ul style="list-style-type: none"> ・中新田町南町地内7棟全半焼火災 焼損面積613㎡ 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・東海を中心に猛烈な豪雨、名古屋全域で3方棟超浸水（105名の死傷者）
		<ul style="list-style-type: none"> 11 古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業） 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・東北自動車道玉突き事故（三本木町伊賀地内） 傷者21名、破損車両64台 		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成13	3	・古川消防署高規格救急車更新（消防防災設備補助事業） ・古川消防署2B型救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）					
	4	・消防緊急通信指令システム整備（消防防災整備補助事業）					
	7	・鳴子消防署梯子車更新（消防防災整備補助事業）			7	・兵庫県明石市大蔵海岸朝霧歩道橋付近で将棋倒し事故 死傷者139名	
	8	・小野田出張所2B型救急車配備（宮城県共済農業協同組合連合会寄贈）			9	・東京都新宿区歌舞伎町の雑居ビル「明星56ビル」火災 死者44名	
	12	・中新田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ車（消防防災整備補助事業）					
	14	4	・職員定数条例改正（338人）			3	・宮崎県延岡市の旭化成工場 で火災 3,698世帯9,407名に避難勧告
	9	・田尻・三本木出張所へ2B型救急車配置	10	・小牛田町字桜木町で7棟を焼損する火災 焼失延面積447.77㎡	10	・三菱重工長崎造船所内で艤装工事中に豪華客船ダイヤモンドプリンセス号火災 総トン数113,000t	
	11	・三本木防災センターに併設した三本木出張所開所 ・涌谷消防署災害対応特殊水槽付ポンプ車（消防防災整備補助事業）					
	15	3	・安田生命保険相互会社より寄贈された高規格救急車を小牛田分署に配置	3	・小牛田町北浦で金庫室に閉じ込められた2名の学生をダイヤモンドチェンソー等を活用し、107分後に救出		
	4	・旧中新田町、旧宮崎町旧小野田町が合併し、加美町が誕生した。 1市11町の構成市町となる。 ・小牛田・鹿島台分署へ救急救命士を配置	5	・宮城県沖を震源とする地震（5/26 18:24）発生 マグニチュード7.1震度6弱 大崎管内火災1件（東北電力（株）宮城変電所変圧器火災）	6	・兵庫県神戸市西区伊川谷町で発生した建物火災で消防職員13名が死傷	
7	・鹿島台分署の2B型救急車を更新（宮城県補助整備事業）	7	・宮城県北部連続地震発生 1回目（7/26 0:13） マグニチュード5.6震度5強 2回目（7/26 7:13） マグニチュード6.4震度6強 3回目（7/26 16:56）				

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成15	8	・三本木出張所へ連絡車を配置	7	マグニチュード5.5震度5強 <7/26の地震による災害> 大崎管内 罹災世帯数2,979, 罹災人員 8,883名, 全壊102棟, 半壊 348棟, 一部破損2,548棟 火災2件(その他電柱1・ぼ や建物収容物1) 救急15件 その他災害24件	8	・三重県桑名郡多度町の三重 ごみ固形燃料発電所でR D F貯蔵層から火災発生45日 間に及ぶ消火活動消防職員 2名死亡	
	10	・岩出山分署災害対応特殊 水槽付ポンプ車(消防防 災整備補助事業)			9	・栃木県黒磯市ブリヂストン 栃木工場で火災発生 40,885㎡のハンパリー工場1棟 全焼, 工場付近7地区1,708 世帯・5,032名に避難指示	
	16	3	・大崎地域メディカルコン トロール協議会設立			・十勝沖地震発生(9/26) マグニチュード8.0震度6弱 負傷者849名 火災4件のうち苫小牧市の 出光興産で屋外タンク貯蔵 所から火災発生	
		4	・初の女性消防士採用 ・岩出山分署へ救急救命士 を配置	4	・加美町宮崎で4棟全焼火災発 生 焼損面積678.8㎡ 第3出動15台(強風時) 放水台数5, 放水口9	10	・新潟県中越地方を震源とす る地震(10/23) マグニチュード6.8震度6強 死傷者1,239名 住宅損壊2,839棟, 火災11件
		10	・岩出山分署の2B型救急 車を更新(宮城県補助整 備事業)			12	・インド洋スマトラ沖大地 震(12/26) マグニチュード9
	17	3	・消防LAN構築・ホームページ 開設 http://oosakifire119.jp/ ・鳴子消防署の救助工作車 を廃車し, 更新する消防 ポンプ車へ救助資機材を 搭載し救助ポンプ車とて 運用開始(宮城県補助整 備事業)			3	・福島県西方沖を震源とする 地震(3/20) マグニチュード7震度5弱 死傷者119名 住宅損壊121棟
		4	・第13代消防長に工藤司氏 就任 ・大崎地域広域行政事務組 合, 大崎中央環境組合, 大崎東部環境衛生事務組 合, 六の国環境衛生組合 の4組合, 更に古川市・松 山町・涌谷町の各斎場が 統合し, 大崎地域広域行 政事務組合としてスター トする。 ・各消防署の指揮体制を強 化, 指揮隊の配置	5	・古川市北宮沢地内にて建物 及び山林の火災 山林1ha焼失(県防災ヘリ出 動) ・加美町字鹿原白沼地内, 山 菜取遭難 死者1名(県防災ヘリ出動)	4	・兵庫県尼崎市JR福知山線 列車事故 死者107名, 負傷者549名
				8	・宮城県沖を震源とする地震 (8/16) マグニチュード7.2震度6弱	10	・パキスタン北部で地震発生 (10/8) マグニチュード7.6

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成17					12	・山形県庄内町JR羽越線脱線事故(12/25) 死者5名, 負傷者32名
18	1	・旧小牛田町, 旧南郷町が合併し美里町が誕生した1市10町の構成市町となる。			1	・長崎県大村市グループホームやすらぎの里で火災発生 死者7名, 負傷者3名
	2	・古川消防署大型水槽車更新(宮城県補助整備事業) ・消防隊と救急隊の連携による活動開始 (PA連携出動)				
	3	・旧古川市, 旧松山町, 旧三本木町, 旧鹿島台町, 旧岩出山町, 旧鳴子町, 旧田尻町が合併し, 大崎市が誕生した。1市4町の構成市町となる。 ・大崎市誕生に伴い涌谷消防署田尻出張所を古川消防署田尻出張所に再編				
	4	・3交替制の勤務体制の試行	5	・色麻町大新焼切地内山林にて林野火災 約56a焼失 (県防災ヘリ出動)	5	・インドネシア・ジャワ島中部地震及び津波発生 死者6,200名以上 負傷者1,800名以上
	7	・消防本部司令車を更新			6	・梅雨前線豪雨 死者30名, 行方不明2名 負傷者81名, 住家全半壊1,558棟
					9	・台風13号と豪雨による被害 死者9名, 行方不明1名 住家全半壊448棟
					11	・北海道佐呂間町にて竜巻発生 死者9名, 負傷者29名 住家全半壊14棟
19	2	・古川消防署鹿島台分署の水槽付消防ポンプ車を小型動力ポンプ付水槽車に更新			1	・北海道北見市にてガス漏れ事故発生 3名死亡, 付近住民77世帯178名に避難勧告 ・兵庫県宝塚市でカラオケボックス火災 死者3名, 負傷者5名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等	
平成19	3	<ul style="list-style-type: none"> 救急普及啓発広報車配備 (財団法人救急振興財団・財団法人日本宝くじ協会寄贈) 中新田消防署高規格救急車更新 (国庫補助事業) 	3	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市鳴子で4棟を焼損する火災が発生 焼失面積1,520.79㎡ 	3	<ul style="list-style-type: none"> 能登半島地震発生 マグニチュード6.9震度6強 死者1名 負傷者193名 住家全壊68棟 住家半壊164棟 	
	4	<ul style="list-style-type: none"> 指揮体制の効率的運用のため、消防本部指令課及び鳴子消防署に指揮隊を再編 	4	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市田尻大沢地内山林にて林野火災 約40a焼失 (県防災ヘリ出動) 	7	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県中越沖地震発生 マグニチュード6.8震度6強 死者15名 負傷者2,345名 住家全壊1,319棟 住家半壊4,764棟 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> 中新田消防署・涌谷消防署の指揮車を更新 	6	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市鳴子温泉鬼首地区にてパラグライダー墜落事故 防災ヘリにより吊り上げ救出 			
	11	<ul style="list-style-type: none"> 涌谷消防署高規格救急車更新 (国庫補助事業) 	10	<ul style="list-style-type: none"> 加美町字鹿原地内にて山岳遭難、防災ヘリによる救出 			
			12	<ul style="list-style-type: none"> 加美町宮崎地区で4棟を焼損する火災が発生 死者5名 焼損面積335.72㎡ 			
	20	1	<ul style="list-style-type: none"> 中新田消防署の消防ポンプ車を救助ポンプ車に更新 (市町村振興総合補助事業) 			6	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年岩手・宮城内陸地震発生 マグニチュード7.2震度6強 死者9名、行方不明者8名 負傷者180名 住家全壊・大規模半壊43棟 住家半壊112棟
		4	<ul style="list-style-type: none"> 第14代消防長に野田正志氏就任 3交替制の勤務体制の本実施 機構改革に伴う組織の改編を実施 				
		7	<ul style="list-style-type: none"> 古川消防署・涌谷消防署の指揮車を更新 	7	<ul style="list-style-type: none"> (株)東北イノアック第二工場火災 (建材製造課B棟) 焼損面積2,520.84㎡ 負傷者1名 損害額1億7,272万円 		
	21	1	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子消防署高規格救急車更新 (施設整備事業) 中新田消防署小野田出張所の救急車を高規格救急車へ更新 (防災基盤整備事業) 				
		2	<ul style="list-style-type: none"> 涌谷消防署の消防ポンプ車を救助ポンプ車に更新 (施設整備事業・市町村振興総合補助事業) 				

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成21	4	・第15代消防長に坂野裕悦氏就任			5	・新型インフルエンザ(A/H1N1)流行 5月に小規模な地域的流行を認めたのち、約3ヶ月の小康状態を経て、8月中旬より半年以上をかけて流行	
	7	・中新田査察車を更新					
	22	1	・三本木救急車及び田尻救急車を高規格救急車に更新(防災基盤整備事業)	6	・大崎市古川千手寺町地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼4棟 焼損延面積285.93㎡ 部分焼・ぼや3棟 焼損表面積99.06㎡	3	・北海道札幌市北区でグループホーム火災 死者7名、負傷者2名
		7	・涌谷消防署、小牛田分署及び南郷派出所を統合し「遠田消防署」を開設(7/1)				
		12	・遠田査察車を更新 ・鹿島台救急車を高規格救急車に更新(日本損害保険協会より寄贈)	10	・大崎市鳴子温泉鬼首地区(鬼首地熱発電所)で火山性ガス噴出発生 死者1名		
		1	・岩出山救急車を高規格救急車に更新(防災基盤整備事業) ・遠田消防署に10t水槽車を配備	3	・【東日本大震災】平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震発生(3/11 14:46) (大崎管内の状況) 管内最大震度6強 死者6名 負傷者378名 住家全壊852棟、半壊3,647棟 ※大崎消防本部取りまとめ(平成23年12月26日現在)	3	・【東日本大震災】平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震発生(3/11 14:46) マグニチュード9 震度7 死者19,630名 行方不明者2,569名 負傷者6,230名 住家全壊121,781棟、半壊280,962棟、火災330件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ(平成30年3月1日現在)
	23	4	・第16代消防長に角田正一氏就任 ・中新田消防署及び色麻派出所を統合し「加美消防署」を開設(4/26)				
		8	・田尻連絡車、古川査察車、鳴子査察車を更新			8	・静岡県浜松市天竜川で遊覧船転覆事故 死者5名、負傷者5名
		12	・古川救急1号車を更新(施設整備事業)				
	24	4	・古川消防署鹿島台分署及び松山派出所を統合し「古川消防署志田分署」を開設(4/27)			5	・広島県福山市でホテル火災 死者7名、負傷者3名
					9	・兵庫県姫路市で製造所爆発火災 死者1名(消防吏員) 負傷者36名	

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等
平成24	11	・古川救急2号車を更新（施設整備事業）			12	・山梨県中央自動車道笹子トンネル崩落事故 死者9名，負傷者2名
25	2	・鳴子消防署岩出山分署新庁舎を開設（2/14） ・田尻ポンプ車を更新（施設整備事業・市町村振興総合補助事業） ・遠田連絡車，小野田連絡車を更新			2	・長崎県長崎市でグループホーム火災 死者5名，負傷者7名
	3	・遠田救急1号車を更新（JA共済連より寄贈） ・尾花沢市消防本部と消防相互応援協定締結				
	4	・第17代消防長に北舘善裕氏就任 ・消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令システム整備（平成23年度消防防災施設・設備災害復旧費補助事業）				
	7	・消防本部連絡車を更新			8	・京都府福知山市で花火大会火災 死者3名，負傷者56名
	10	・古川連絡車，志田連絡車，岩出山連絡車を更新			10	・福岡県福岡市で整形外科火災 死者10名，負傷者5名
					12	・千葉県野田市で廃油再生工場爆発火災 死者2名，負傷者15名
26	2	・加美消防署小野田出張所及び宮崎派出所を統合し「加美消防署西部分署」を開設（2/21） ・加美消防署西部分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債及び市町村振興総合補助事業）			1	・三重県四日市市で工場爆発事故 死者5名，負傷者13名

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成26	12	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車を更新（緊急防災・減災事業債）	4	<ul style="list-style-type: none"> ・加美町字下原地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積497㎡ 部分焼2棟 焼損表面積48㎡ ・加美町字北原地区で8棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積280㎡ 部分焼3棟 焼損表面積2㎡ ・大崎市田尻蕪栗地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積652㎡ 部分焼1棟 焼損表面積64㎡ 	8	・8月豪雨による広島市の土砂災害 死者74名（内消防吏員1名） 負傷者69名
			9	・御嶽山噴火災害 死者57名，負傷者69名	11	・長野県北部を震源とする地震 マグニチュード6.7 震度6弱 死者なし，負傷者46名 住家全壊50棟，半壊91棟
27	2	<ul style="list-style-type: none"> ・古川消防署田尻出張所を分署に格上げし「古川消防署田尻分署」を開設（2/17） ・古川消防署田尻分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債） 	1	・大崎市田尻北小牛田地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟，半焼1棟 焼損延面積649㎡	5	・川崎市簡易宿泊所火災 死者10名，負傷者18名
			4	・第18代消防長に大久保記一朗氏就任	7	・田尻連絡車を緊急車登録車両に更新
28	2	・古川化学消防ポンプ車を更新（施設整備事業）	9	・【平成27年9月関東・東北豪雨】 〈大崎管内の状況〉 負傷者1名 床上・床下浸水784棟 救助事案16件 その他災害事案36件 合計249名救出	9	・【平成27年9月関東・東北豪雨】 平成27年9月9日から11日に関東及び東北地方で発生した豪雨災害 死者8名，負傷者80名
			2	・加美町宮崎で4棟を焼損する火災が発生 全焼2棟，部分焼2棟 焼損延面積578㎡	10	・広島市飲食店火災 死者3名，負傷者3名

年 号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成28					4	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年熊本地震 マグニチュード7.3 震度7 死者267名 負傷者2,804名 住家全壊8,673棟 半壊34,726棟 火災15件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ（平成30年4月13日現在）
	8	<ul style="list-style-type: none"> 緊急消防援助隊宮城県大隊として初めて出動（平成28年台風第10号 岩手県下閉伊郡岩泉町） 	10	<ul style="list-style-type: none"> 東北自動車道3箇所同時発生玉突き事故（栗原市高清水地内、大崎消防管轄区域） 負傷者14名、破損車両15台 	8	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年台風第10号 東北地方の太平洋側に初めて上陸した台風。1時間に80mmの猛烈な大雨、最大瞬間風速37.7mの暴風により、岩泉町の高齢者福祉施設の入所者が濁流に巻き込まれるなど、死者23名、行方不明者4名、負傷者14名、住家全壊513棟、半壊2,280棟。
	11	<ul style="list-style-type: none"> 加美消防署高規格救急自動車を更新（緊急防災・減災事業債） 三本木出張所消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業、市町村振興総合補助事業） 			12	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県 糸魚川市大規模火災 糸魚川駅北側に位置する中華料理店にて、大型こんろの消し忘れにより発生した火災が、強い南風により日本海方向に延焼し、負傷者17名、焼損棟数147棟。
	29				2	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県三芳町倉庫火災 アスクルの大規模倉庫で発生した火災により、負傷者2名、焼損床面積45,000㎡、鎮火まで12日間を要した。
	4	<ul style="list-style-type: none"> 三本木出張所の救急隊を専従化し消防体制を強化 			8	<ul style="list-style-type: none"> 秋田県横手市共同住宅火災 死者5名、負傷者10名
	11	<ul style="list-style-type: none"> 硬質ウレタンボートを古川消防署に配備（浜口ウレタン㈱及び㈱タガ・アートより寄贈） 	9	<ul style="list-style-type: none"> 加美町字西田地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼2棟、半焼2棟、部分焼1棟、ぼや1棟 死者1名 負傷者2名 焼損延面積213㎡ 焼損表面積34㎡ 	12	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府豊中市共同住宅火災 死者5名、負傷者1名 さいたま市特殊浴場火災 死者4名、負傷者8名
	12	<ul style="list-style-type: none"> 鳴子消防署高規格救急自動車を更新（緊急消防援助隊設備整備費補助金） 				

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大 崎 の 主 な 火 災 と 災 害 等	月	全 国 の 主 な 火 災 と 災 害 等
平成30	3	<ul style="list-style-type: none"> 志田分署水槽付消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業） 	1	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市鹿島台で3棟を焼損する火災が発生 全焼1棟，部分焼1棟，ぼや1棟 焼損延面積625㎡ 焼損表面積46㎡ 	1	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市下宿火災 死者11名，負傷者3名
			5	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市岩出山で11棟を焼損する火災が発生 全焼5棟，半焼1棟，部分焼4棟，ぼや1棟 焼損延面積635㎡ 焼損表面積46㎡ 	4	<ul style="list-style-type: none"> 大分県中津市土砂災害 死者6名
					6	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府北部を震源とする地震 マグニチュード6.1（暫定値） 震度6弱 死者5名 負傷者417名 住家被害6,925棟 火災8件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ（平成30年6月25日10時現在）

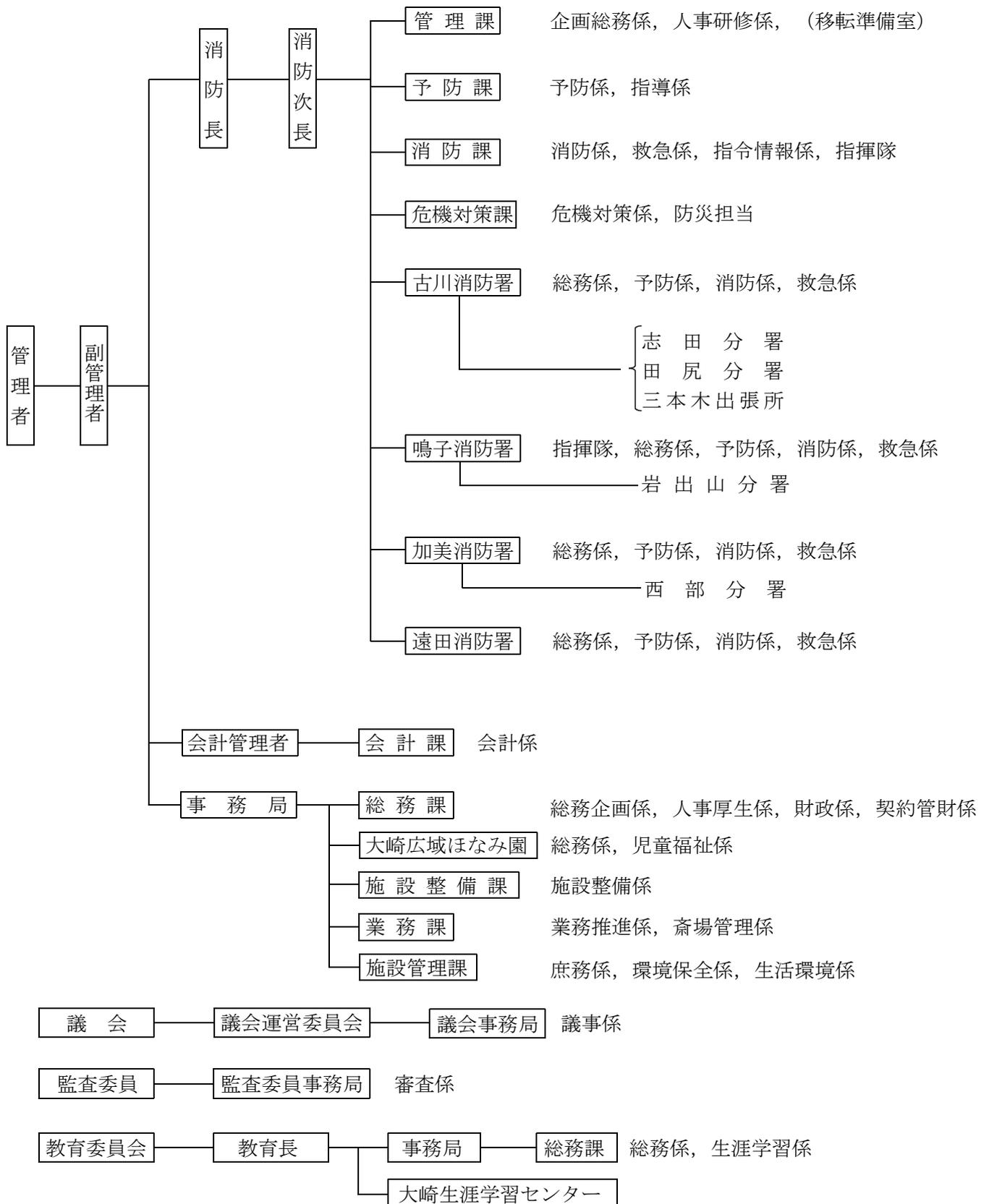
大崎地域広域行政事務組合構成市町の面積・世帯・人口

(平成30年4月1日現在)

市 町		区 別	面 積 (Km ²)	世帯数	人 口 (人)
大 崎 市			796.76	51,222	131,692
加 美 郡	色 麻 町		109.28	2,098	6,976
	加 美 町		460.67	8,110	23,684
	小 計		569.95	10,208	30,660
遠 田 郡	涌 谷 町		82.08	6,057	16,485
	美 里 町		74.90	9,046	24,646
	小 計		156.98	15,103	41,131
合 計			1,523.69	76,533	203,483

※ 構成市町への照会による統計

大崎地域広域行政事務組合機構図



消防本部事務分掌

管理課

企画総務係

- 1 事務の総合調整及び連絡に関する事。
- 2 消防業務の総合計画、調整及び改善に関する事。
- 3 条例、規則及び訓令の制定改廃に関する事。
- 4 儀式、行事及び交際に関する事。
- 5 予算の執行に関する事。
- 6 公印に関する事。
- 7 消防関係財産の取得、管理及び契約に関する事。
- 8 給与品、貸与品の支給及び保管に関する事。
- 9 庁用物品の調達、検収及び処分に関する事。
- 10 庁内取締りに関する事。
- 11 事務監察に関する事。
- 12 消防概況に関する事。
- 13 他の課の所管に属さない事項に関する事。

人事研修係

- 1 職員の任免、分限、懲戒、服務及び賞罰その他身分に関する事。
- 2 職員の給与、勤務時間及び勤務条件に関する事。
- 3 職員の福利厚生及び健康管理に関する事。
- 4 職員の公務災害補償に関する事。
- 5 職員の研修計画及び実施に関する事。
- 6 各種表彰に関する事。

(移転準備室)

- 1 消防本部庁舎整備に関する事。
- 2 通信指令センター整備の調整に関する事。
- 3 庁舎移転に関する事。

予防課

予 防 係

- 1 危険物の規制に関する事。
- 2 消防用設備等の規制に関する事。
- 3 建築物の建築確認に関する事。
- 4 防火管理者及び防災管理者に関する事。
- 5 火災予防条例に関する事。
- 6 液化石油ガス等に関する事。
(権限移譲事務を含む。)
- 7 火薬類取締法に関する事。
(権限移譲事務に限る。)
- 8 民間防火組織の育成に関する事。
- 9 その他火災予防対策に関する事。

指 導 係

- 1 予防査察に関する事。
- 2 危険物に係る事故調査に関する事。
- 3 違反処理における行政指導に関する事。
- 4 その他防火思想の普及に関する事。

消防課

消 防 係

- 1 災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- 2 消防水利に関すること。
- 3 消防隊の運用に関すること。
- 4 救助隊の運用に関すること。
- 5 火災原因及び損害の調査に関すること。
- 6 り災証明等に関すること。
- 7 消防機械器具及び消防用車両の管理に関すること。
- 8 消防機械器具及び消防用車両の配置計画に関すること。
- 9 航空消防に関すること。
- 10 その他警防に関すること。

救 急 係

- 1 救急隊の運用に関すること。
- 2 救急対策に関すること。
- 3 救急技術に関すること。
- 4 救急資器材の管理に関すること。
- 5 医療機関等との連絡調整に関すること。
- 6 民間による患者等搬送事業に関すること。
- 7 応急手当普及啓発に関すること。
- 8 その他救急に関すること。

危機対策課

危機対策係

- 1 消防団との連携に関すること。
- 2 消防本部と市町間の危機管理等の調整に関すること。
- 3 国民保護に関すること。
- 4 危機管理事案の調査研究に関すること。
- 5 職員に対する危機管理に関すること。
- 6 消防協会の事務に関すること。
- 7 その他危機対策に関すること。

指令情報係

- 1 消防通信設備等の総合企画調整に関すること。
- 2 災害発生通報の受付及び出動指令に関すること。
- 3 災害通信の運用，通信統制に関すること。
- 4 消防情報の支援，収集及び連絡調整，伝達に関すること。
- 5 非常災害時における通信対策等に関すること。
- 6 消防通信設備の保守管理に関すること。
- 7 通信指令センター移転及び運用に関すること。
- 8 災害に関する統計に関すること。
- 9 電子計算機等のデータ処理及び管理に関すること。
- 10 気象観測及び記録に関すること。
- 11 消防OA・消防LANの運用及び維持管理に関すること。
- 12 その他指令情報に関すること。

指 揮 隊

- 1 災害現場の活動の統括管理に関すること。
- 2 災害現場の情報・安全管理に関すること。

防 災 担 当

- 1 消防本部災害対応と市町の地域防災計画との調整に関すること。
- 2 緊急消防援助隊に関すること。
- 3 消防相互応援協定に関すること。
- 4 構成市町災害対策本部との調整に関すること。
- 5 自主防災組織の育成強化に関すること。
- 6 その他防災に関すること。

消防署事務分掌

総務係

- 1 署の運営に関する事。
- 2 文書の收受発送に関する事。
- 3 署員の配置，進退，賞罰及び身分に関する事。
- 4 署内における各種会議に関する事。
- 5 統計に関する事。
- 6 署員の福利厚生に関する事。
- 7 署員の研修に関する事。
- 8 署員の勤務，服務に関する事。
- 9 経理に関する事。
- 10 物品の出納保管に関する事。
- 11 消防庁舎の維持管理に関する事。
- 12 他の係の分掌に属さない事項。

予防係

- 1 危険物の規制に関する事。
- 2 消防用設備等の規制に関する事。
- 3 建築物の建築確認に関する事。
- 4 火災予防条例に関する事。
- 5 液化石油ガス等に関する事。
(権限移譲事務を含む。)
- 6 火薬類取締法に関する事。
(権限移譲事務に限る。)
- 7 予防査察に関する事。
- 8 違反処理における行政指導に関する事。
- 9 危険物に係る事故調査に関する事。
- 10 防火防災管理及び危険物の取扱に関する事。
- 11 民間防火組織の育成指導に関する事。
- 12 その他火災予防の計画，指導及び取締り等に関する事。

消防係

- 1 火災等の警防及び対策に関する事。
- 2 消防水利に関する事。
- 3 消防通信に関する事。
- 4 消防演習計画に関する事。
- 5 自衛消防隊に関する事。
- 6 避難訓練等の指導に関する事。
- 7 消防機械器具の維持管理に関する事。
- 8 火災原因及び損害調査に関する事。
- 9 火災証明等に関する事。
- 10 火災統計に関する事。
- 11 消防団との連携に関する事。
- 12 自主防災組織の育成強化に関する事。
- 13 救助業務に関する事。
- 14 その他警防及び機械に関する事。

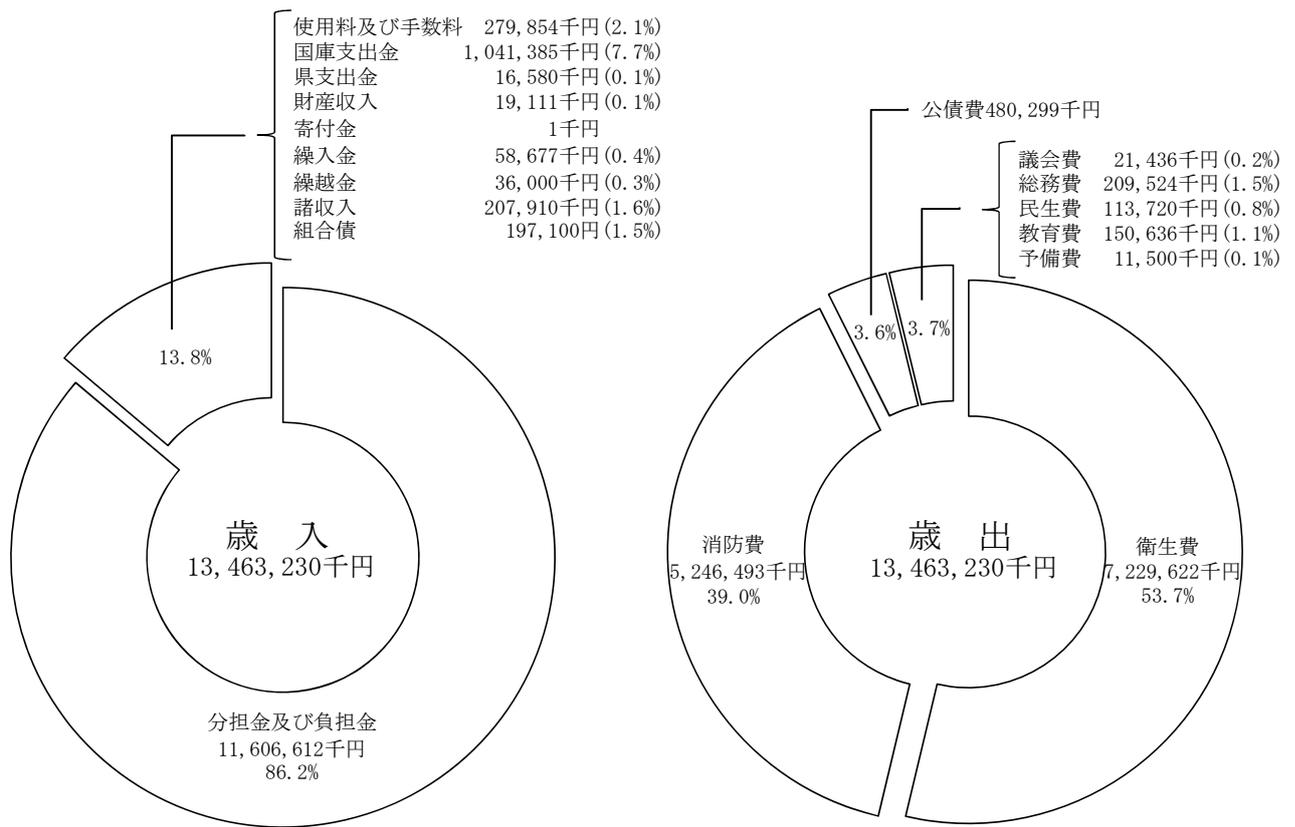
救急係

- 1 救急対策に関する事。
- 2 救急技術の訓練指導に関する事。
- 3 救急資器材の管理に関する事。
- 4 医療機関等との連絡調整に関する事。
- 5 民間による患者等搬送事業に関する事。
- 6 救急統計に関する事。
- 7 その他救急に関する事。

指揮隊

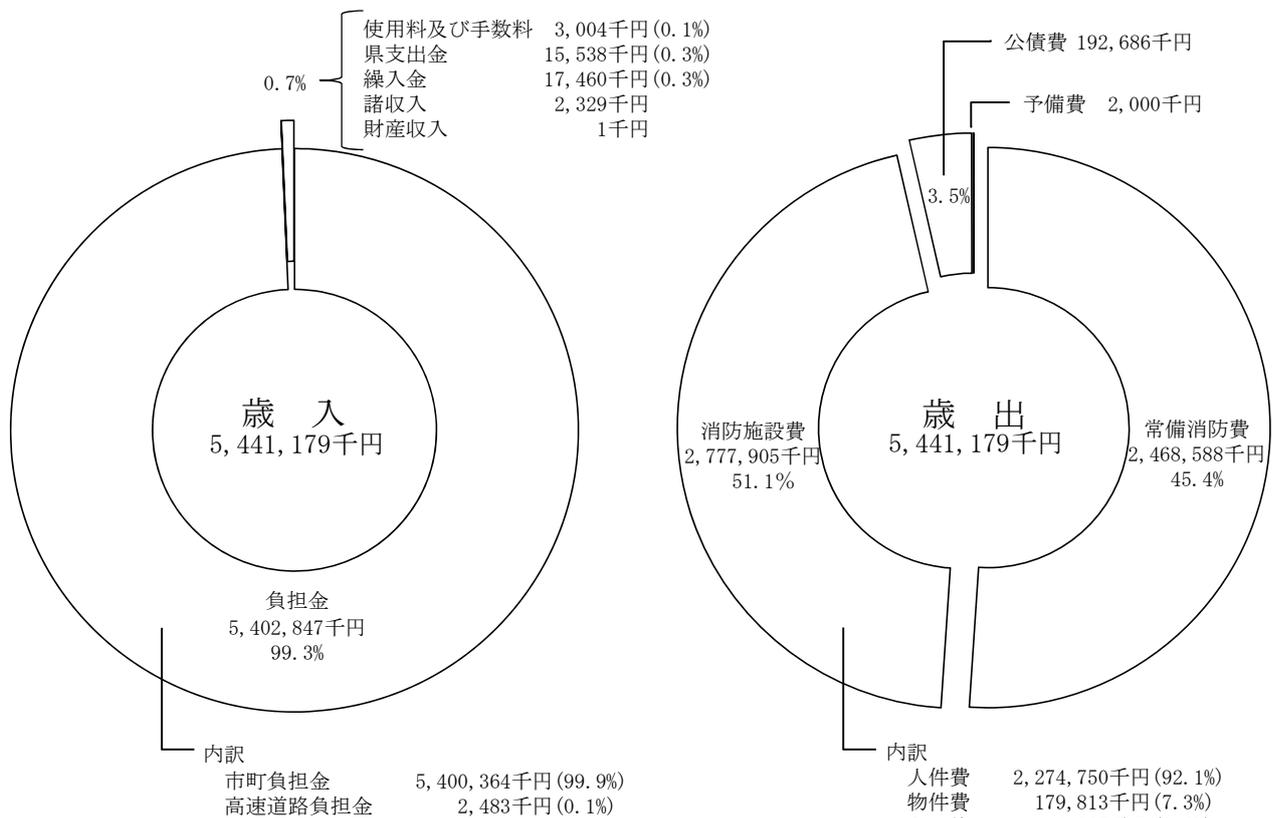
- 1 災害現場での安全管理
- 2 現場最高指揮者に対する指揮支援
- 3 活動方針及び部隊の増強に関する現場最高指揮者に対する進言
- 4 部隊管理
- 5 災害に関する高度な情報収集
- 6 現場本部開設及び閉鎖
- 7 引き揚げ時の情報引き継ぎ

平成30年度 大崎地域広域行政事務組合一般会計予算概要



平成30年度 消防費当初予算

※この消防費には、消防事業分の公債費、予備費を含む。



施設（消防庁舎等）の現況

平成30年4月1日現在

区分	所在地	建物区分	構造	階数	面積		敷地面積 m ²	設置 年度
					建築面積 m ²	延面積 m ²		
消防本部 古川消防署	大崎市古川 北町三丁目2-20	庁舎	鉄筋コンクリート	3	984.28	2,783.14	3,103.94	S53
		主訓練塔	鉄骨	5	16.00	80.00		S54
		副訓練塔	鉄骨	2	16.00	32.00		S54
		消防防災資器材保管倉庫	木造	2	49.67	99.34		H7
		計			1,065.95	2,994.48		
古川消防署 志田分署	大崎市鹿島台 木間塚字小谷地269-1	庁舎	鉄骨	2	526.67	672.32	1,726.17	H24
古川消防署 田尻分署	大崎市田尻 沼部字新堀137-2	庁舎	鉄骨	1	640.39	626.36	1,611.87	H26
古川消防署 三本木出張所	大崎市三本木 字廻山65	庁舎	鉄骨・モルタル	1	231.52	231.52	3,249.67	H14
鳴子消防署	大崎市鳴子温泉 字馬場70-2	庁舎	鉄筋コンクリート	2	563.04	725.76	2,804.00	H2
		主訓練塔	鉄筋コンクリート	5	39.51	156.00		H2
		副訓練塔	鉄骨	2	33.07	54.08		H2
		計			635.62	935.84		
鳴子消防署 岩出山分署	大崎市岩出山 上野目字街道下12-3	庁舎	鉄骨	2	520.05	653.23	2,203.33	H24
		除雪車車庫	鉄骨	1	16.34	16.34		H25
		計			536.39	669.57		
加美消防署	加美郡加美町 字新川原106	庁舎	鉄骨	2	738.18	1,123.01	9,136.03	H23
		主訓練塔	鉄筋コンクリート	3	123.25	341.19		H23
		副訓練塔	鉄骨	2	75.58	120.00		H23
		駐輪場	鉄骨	1	11.52	11.52		H23
		計			948.53	1,595.72		
加美消防署 西部分署	加美郡加美町 字原町南百ヶ清水30-7	庁舎	鉄骨	2	462.53	658.96	1,942.93	H25
		除雪車車庫	鉄骨	1	16.48	16.48		H25
		計			479.01	675.44		
遠田消防署	遠田郡涌谷町 字関谷沖名303-1	庁舎	鉄骨	2	919.48	1,410.33	7,259.78	H22
		訓練塔A	鉄筋コンクリート	3	50.20	150.00		H22
		訓練塔B	鉄骨	5	69.27	216.40		H22
		訓練塔C	鉄骨	3	183.79	414.85		H22
		駐輪場	その他	1	11.34	11.34		H22
		計			1,234.08	2,202.92		
岩渕基地局	大崎市鳴子温泉 字岩渕8, 字大畑37の一部	局舎	鉄骨	1	9.88	9.88	162.41	H24
鬼首基地局	大崎市鳴子温泉 鬼首字八幡原34-1の一部	局舎	鉄骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
葉菜基地局	加美郡加美町 字味ヶ袋葉菜原1-79の一部	局舎	鉄骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
篋岳基地局	遠田郡涌谷町 篋岳字神楽岡51-2の一部	局舎	鉄骨	1	9.88	9.88	150.01	H24

消防力の整備指針と現有消防力

平成30年4月1日現在

区 分		基 準	現 有	過不足数	充 足 率
署 所 の 数		10	9	△ 1	90.0%
車 両	指 揮 車	4	4	0	100.0%
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	17	17	0	100.0%
	は し ご 車	2	2	0	100.0%
	化 学 消 防 車	1	1	0	100.0%
	救 急 自 動 車	11	11	0	100.0%
	救 助 工 作 車	1	1	0	100.0%
	非 常 用 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	2	0	100.0%
	非 常 用 救 急 自 動 車	2	2	0	100.0%
	特 殊 車 等	/	14	14	/
計		40	54	14	/
人 員	警 防 要 員	316	255	△ 61	80.7%
	予 防 要 員	24	12	△ 12	50.0%
	通 信 要 員	10	9	△ 1	90.0%
	庶 務 の 要 員	38	41	3	107.9%
	計	388	317	△ 71	81.7%

※基準については、平成27年度消防施設整備計画実態調査に基づき算出したものである。

※署所の不足数は、大崎市古川市街地分である。

※特殊車等の現有内訳は、司令車2台、資機材搬送車1台、大型水槽車3台、支援車8台である。

※警防要員の基準は、消防隊員、救急隊員、救助隊員、指揮隊員数の合計である。

※庶務の要員は、管理職、本部及び各署日勤(予防要員除く)、派遣・出向職員数である。

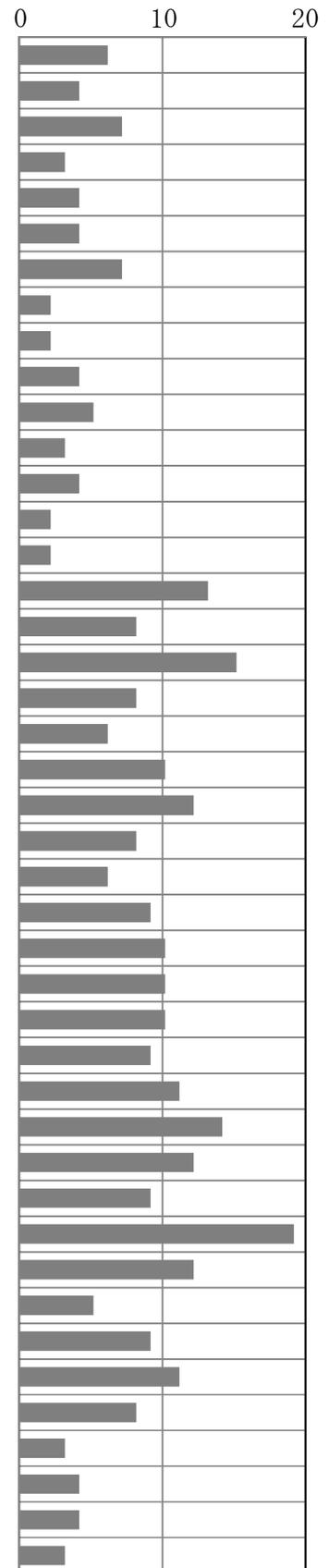
所属別配置状況

平成30年4月1日現在

		正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務吏員	計	毎日勤務	交代制勤務
消防本部	消防長	1									1	1	
	次長		1								1	1	
	管理課			3	3	2					8	8	
	(派遣)		1			5					6	6	
	予防課			2	1				1		4	4	
	消防課			3	1						4	4	
	(通信指令センター)				3	3	3				9		9
	(指揮隊)				3	3	3				9		9
	(派遣)					1					1	1	
	危機対策課			2		1					3	3	
小 計		1	2	10	11	15	6	0	1	0	46	28	18
古川消防署			1	1	7	11	16		20		56	9	47
志田分署				1		6	7		6		20	2	18
田尻分署				1		6	7		6		20	2	18
三本木出張所					1	6	4		6		17	2	15
小 計		0	1	3	8	29	34	0	38	0	113	15	98
鳴子消防署				2	10	7	6		14		39	4	35
岩出山分署				1		6	7		6		20	2	18
小 計		0	0	3	10	13	13	0	20	0	59	6	53
加美消防署				2	6	8	9		11		36	4	32
西部分署				1	1	5	7		6		20	2	18
小 計		0	0	3	7	13	16	0	17	0	56	6	50
遠田消防署				2	7	8	13		13		43	4	39
小 計		0	0	2	7	8	13	0	13	0	43	4	39
合 計		1	3	21	43	78	82	0	89	0	317	59	258
備 考		1 派遣職員7名の内訳は、総務省1名、宮城県消防学校2名、 防災ヘリ1名、大崎市2名、事務局1名である。 (管理課6名・消防課1名) 2 新規採用職員8名の内訳は、各消防署2名である。											

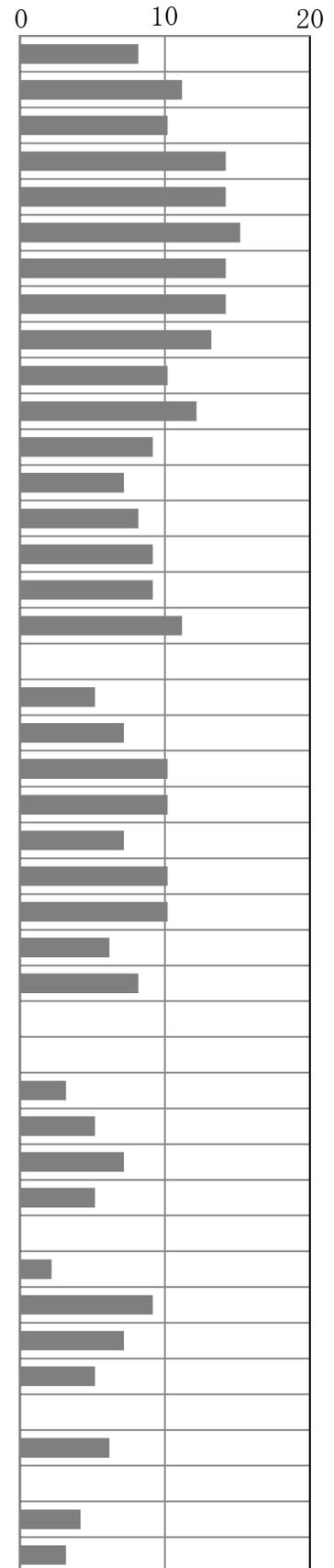
年齢別構成表（平成30年4月1日）

退職年	年齢	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総計
H30年度	59	1		3	1	1				6
H31年度	58		1	1	2					4
H32年度	57		1	3	2	1				7
H33年度	56			2		1				3
H34年度	55		1	1	2					4
H35年度	54				3	1				4
H36年度	53			4	1	2				7
H37年度	52			2						2
H38年度	51				2					2
H39年度	50			1	2	1				4
H40年度	49			1	4					5
H41年度	48			1	2					3
H42年度	47			2	2					4
H43年度	46				1	1				2
H44年度	45					2				2
H45年度	44				4	5	4			13
H46年度	43				3	3	2			8
H47年度	42				5	6	4			15
H48年度	41				3	2	3			8
H49年度	40					5	1			6
H50年度	39				2	6	2			10
H51年度	38				1	9	2			12
H52年度	37				1	5	2			8
H53年度	36					4	2			6
H54年度	35					6	3			9
H55年度	34					5	5			10
H56年度	33					4	5	1		10
H57年度	32						9	1		10
H58年度	31					5	4			9
H59年度	30					1	8	2		11
H60年度	29						9	5		14
H61年度	28						5	7		12
H62年度	27						5	4		9
H63年度	26						4	15		19
H64年度	25						2	10		12
H65年度	24							5		5
H66年度	23							9		9
H67年度	22							11		11
H68年度	21							8		8
H69年度	20							3		3
H70年度	19							4		4
H71年度	18							4		4
再任用						2	1			3
総計		1	3	21	43	78	82	0	89	317



勤続年数別構成表（平成30年4月1日）

勤続年数	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総計
0								8	8
1								11	11
2								10	10
3								14	14
4								14	14
5						4		11	15
6						6		8	14
7					1	7		6	14
8					3	9		1	13
9					1	5		4	10
10						11		1	12
11					2	6		1	9
12					3	4			7
13					4	4			8
14					5	4			9
15					8	1			9
16					9	2			11
17									0
18				1	3	1			5
19				4	3				7
20				1	6	3			10
21				5	3	2			10
22				3	3	1			7
23				3	5	2			10
24			1	1	3	5			10
25				1	3	2			6
26				2	4	2			8
27									0
28									0
29			1	2					3
30			1	4					5
31			1	6					7
32			1	3	1				5
33									0
34			2						2
35			7		2				9
36		1	2	2	2				7
37	1	1	1	2					5
38									0
39		1	2	2	1				6
40									0
41			2	1	1				4
再任用					2	1			3
総計	1	3	21	43	78	82	0	89	317



警

防



災害出動計画基準表

災害種別(火災)

平成30年4月1日現在

出動計画 区分		出動区分・車両数			摘要	
		車両	第1出動	第2出動		第3出動
建 物	普通建物 (中高層及び大規模 建物以外の建物)	指揮車	1(2)			
		ポンプ車・タンク車	5	2	2	
		水槽車	1			
		救急車	1	1		
		計	8(9)	3	2	
	中高層建物 (3階以上の建物)	指揮車	1(2)			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
		はしご車	1	1		
		工作車		1		
		救急車	2	1	1	
	計	12(13)	5	3		
	大規模建物 (建物延べ面積1,000㎡ 以上の建物)	指揮車	1(2)			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
		工作車		1		
		救急車	2	1	1	
		計	11(12)	4	3	
林 野	指揮車	1(2)				
	ポンプ車・タンク車	5	2	2		
	水槽車	1				
	計	7(8)	2	2		
車 両	指揮車	1(2)				
	ポンプ車・タンク車	3(4)	2	2		
	水槽車	1				
	救急車	1	2	2		
	化学車	危険物関係車両火災時特命出動				
	計	6(8)	4	4		
危険物施設等 (特殊災害)	指揮車	1(2)				
	ポンプ車・タンク車	7	2	2		
	水槽車	1				
	化学車	1				
	工作車		1			
	救急車	2	2	2		
	計	12(13)	5	4		
そ の 他	指揮車	1(2)				
	ポンプ車・タンク車	3(4)	2	2		
	水槽車	1				
	計	5(7)	2	2		

災害種別(救急)

区分	出動計画	出動区分・車両数			摘要
		車両	第1出動	第2出動	
救 急	救急車	1	1		同一救急に3隊以上の出動は消防長特命出動とする。
	計	1	1		

災害種別(救急救助)

区分	出動計画	出動区分・車両数			摘要
		車両	第1出動	第2出動	
救 急 救 助	指揮車	1(2)			
	ポンプ車・タンク車	1(2)	1		
	工作車	1	1	1	
	救急車	1	2	3	
	計	4(6)	4	4	

災害種別(その他)

区分	出動計画	出動区分・車両数			摘要
		車両	第1出動	第2出動	
その他災害	ポンプ車・タンク車	1(2)	1		
	計	1(2)	1		
地震災害	ポンプ車・タンク車	1(2)	1		大消ポンプ車及び大消救急車の特命出動
	工作車	1	(1)		
	救急車		1		
	計	2(3)	2(3)		

※ 第1出動, 第2出動の()書きは, 出動指令時の災害発生場所又は災害状況に応じた増隊等後の車両数

非常配備体制

平成30年4月1日現在

種 別 課・署所別		規程第16条の非常配備基準 (日勤時は、日勤者を優先して配備する)			非常災害警防 活動実施命令 (第52条)	
		第一次非常配備	第二次非常配備	第三次非常配備		
消防本部	危機対策課	2名	+1名	全職員	全職員	
	予防課	/	2名	+2名以上	全職員	
	管理課	/	2名	+2名以上	全職員	
	消防課	管制	1名	+2名	+3名以上	全職員
		指揮	1名	+3名	全職員	全職員
古川消防署		15名	+9名	+27名以上	/	
	古川消防署	6名	+3名	+15名以上	全職員	
	志田分署	4名	+2名	+5名以上	全職員	
	田尻分署	4名	+2名	+5名以上	全職員	
	三本木出張所	1名	+2名	+2名以上	全職員	
鳴子消防署		6名	+4名	+17名以上	/	
	鳴子消防署	2名	+2名	+12名以上	全職員	
	岩出山分署	4名	+2名	+5名以上	全職員	
加美消防署		7名	+5名	+15名以上	/	
	加美消防署	3名	+3名	+10名以上	全職員	
	西部分署	4名	+2名	+5名以上	全職員	
遠田消防署		3名	+3名	+10名	全職員	
配備体制の移行	署	警防隊・救助隊1隊4名 古川救助隊を専任・遠田第2救急隊を専任	鳴子指揮隊1名 古川・加美・遠田指揮車隊2名の確保 通信1名	第三次非常配備命令により規程第52条の非常災害警防活動の実施体制を確立するものとする。		
	分署	救急隊を専任 警防隊2隊(各3名)	警防隊1隊のみ4名 通信 1名			
	出張所	警防隊1隊3名	警防隊1隊4名 通信 1名			

消防車両配置表

平成30年4月1日現在

種別 署所別	計	消防車両						救急車	その他の車両						
		大型水槽車	水槽付ポンプ車	ポンプ車	はしご車	救助工作車	化学車		司令・指揮車	連絡車	査察車	広報車	救急広報車	搬送車	ホイールローダー
消防本部	12(5)			2(2)				2(2)	2(1)	2		2	1	1	
古川消防署	22	1	2	4	1	1	1	5	1	5	1	0	0	0	0
古川消防署	11	1		1	1	1	1	2	1	2	1				
志田分署	4		1	1				1		1					
田尻分署	4		1	1				1		1					
三本木出張所	3			1				1		1					
鳴子消防署	12	0	2	2	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0	2
鳴子消防署	7		1	1	1			1	1		1				1
岩出山分署	5		1	1				1		1					1
加美消防署	12	1	2	2	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	2
加美消防署	7	1	1	1				1	1		1				1
西部分署	5		1	1				1		1					1
遠田消防署	8	1	1	1	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0
計	66(5)	3	7	11(2)	2	1	1	13(2)	6(1)	10	4	2	1	1	4

※()内は非常用

所属名	登録年月	種別	車両性能等	積載無線局名
消防本部	平成6年12月	非常用ポンプ車	CD-I型ポンプ車	だいしょうぼんぷ1
〃	平成7年12月	非常用ポンプ車	I型 水槽1,000ℓ 薬槽300ℓ	だいしょうぼんぷ2
〃	平成21年1月	非常用救急車	トヨタハイメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう1
〃	平成13年3月	非常用救急車	ニッサンパラメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう2
〃	平成19年3月	非常用司令車	トヨタハイメディック仕様変更(ガソリン車)	だいしょうしれい2
〃	平成18年6月	司令車	SUVタイプ2,700cc(ガソリン車)	だいしょうしれい1
〃	平成17年7月	広報車	バンタイプ2000cc(ガソリン車)	
〃	平成19年1月	救急啓発広報車	ニッサンシビリアン (救急振興財団寄贈)	
〃	平成10年7月	資機材搬送車	トラックタイプ2t車	だいしょうはんそう1
〃	平成23年8月	連絡車	軽乗用車	
〃	平成25年3月	広報車	ステーションワゴン2000cc(ガソリン車)	
〃	平成25年7月	連絡車	プリウス(ハイブリット車)	
古川消防署	平成18年2月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ℓ	ふるかわすいそう1
〃	平成11年12月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	ふるかわぼんぷ1
〃	平成5年10月	はしご車	35m級(最大地上高36m)	ふるかわはしご1
〃	平成8年3月	救助工作車	III型(油圧ウインチ・照明装置付)	ふるかわきゅうじょ1
〃	平成28年1月	化学車	II型 水槽1,500ℓ 薬槽500ℓ	ふるかわたんく1
〃	平成23年12月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう1
〃	平成24年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう2
〃	平成20年6月	指揮車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	ふるかわしき1
〃	平成25年10月	連絡車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	
〃	平成23年7月	連絡車	軽ワゴン車	
〃	平成23年8月	査察車	軽ワゴン車	ふるかわささつ1
志田分署	平成30年3月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	しだたんく1
〃	平成12年11月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	しだぼんぷ1
〃	平成22年12月	高規格救急車	ニッサンパラメディック (社団法人日本損害保険協会寄贈車)	しだきゅうきゅう1
〃	平成25年10月	連絡車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	しだれんらく1
田尻分署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	たじりたんく1
〃	平成25年2月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	たじりぼんぷ1
〃	平成22年1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	たじりきゅうきゅう1
〃	平成27年7月	連絡車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	たじりれんらく1
三本木出張所	平成28年12月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車(800ℓ水槽付)	さんぼんぎぼんぷ1
〃	平成22年1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	さんぼんぎきゅうきゅう1

所属名	登録年月	種別	車両性能等	積載無線局名
三本木出張所	平成15年 8月	連絡車	軽ワゴン車	
鳴子消防署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅱ型(2,000ℓ水槽付)	なるこたんく1
〃	平成17年 3月	救助ポンプ車	CDⅠ型(救助ポンプ車)	なるこきゅうじょぼんぷ1
〃	平成13年 7月	はしご車	15m級(最大地上高15.9m)	なるこはしご1
〃	平成29年 11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	なるこきゅうきゅう1
〃	平成20年 6月	指揮車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	なるこしき1
〃	平成23年 8月	査察車	軽ワゴン車	なるこささつ1
〃	平成20年11月	ホイールローダー	鳴子除雪車・災害対応車	
岩出山分署	平成15年10月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ-A型(1,500ℓ水槽付)	いわでやまたんく1
〃	平成 9年12月	普通ポンプ車	CDⅠ型ポンプ車	いわでやまぼんぷ1
〃	平成23年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	いわでやまきゅうきゅう1
〃	平成25年10月	連絡車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	いわでやまれんらく1
〃	平成26年1月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
加美消防署	平成19年 1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽5,000ℓ	かみすいそう1
〃	平成13年12月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅱ型(2,000ℓ水槽付)	かみたんく1
〃	平成20年 1月	救助ポンプ車	CDⅠ型ポンプ車(救助ポンプ車)	かみきゅうじょぼんぷ1
〃	平成28年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	かみきゅうきゅう1
〃	平成19年 7月	指揮車	SUVタイプ2,000CC(ガソリン車)	かみしき1
〃	平成21年 8月	査察車	軽ワゴン車	かみささつ1
〃	平成23年12月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
西部分署	平成26年 1月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ-A型(1,500ℓ水槽付)	せいぶたんく1
〃	平成 9年10月	普通ポンプ車	CDⅠ型ポンプ車(600ℓ水槽付)	せいぶぼんぷ1
〃	平成21年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	せいぶきゅうきゅう1
〃	平成25年 2月	連絡車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	せいぶれんらく1
〃	平成26年10月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
遠田消防署	平成23年 1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ℓ	とおだすいそう1
〃	平成14年11月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ-A型(1,500ℓ水槽付)	とおだたんく1
〃	平成21年2月	救助ポンプ車	CDⅠ型(救助ポンプ車) (社団法人日本損害保険協会寄贈車)	とおだきゅうじょぼんぷ1
〃	平成25年 3月	高規格救急車	トヨタハイメディック (JA共済連寄贈)	とおだきゅうきゅう1
〃	平成19年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	とおだきゅうきゅう2
〃	平成19年 7月	指揮車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	とおだしき1
〃	平成22年 6月	査察車	軽ワゴン車	とおだささつ1
〃	平成25年 1月	連絡車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	

消 防 隊 出 動 状 況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

区分 署所		合計	火災	救助活動	内管外	風水害等	演習訓練	訓練指導	警防調査	原因調査	特別警戒	遭難	予防査察	その他	内管外
古川	出動回数	1,525	59	44	0	73	18	128	29	10	204	0	294	666	48
	台数	2,149	111	64	0	83	62	156	34	12	303	0	407	917	50
	人員	4,945	265	221	0	231	177	354	82	31	757	0	826	2,001	95
志田	出動回数	1,063	15	7	0	35	11	11	53	6	316	0	103	506	0
	台数	1,099	23	8	0	37	11	11	53	16	316	0	106	518	0
	人員	2,717	44	20	0	104	32	31	152	48	907	0	307	1,072	0
田尻	出動回数	897	22	7	0	2	6	22	60	6	90	0	107	575	0
	台数	1,043	34	17	0	2	22	23	70	10	120	0	130	615	0
	人員	2,845	100	49	0	6	60	65	185	30	290	0	335	1,725	0
三本木	出動回数	689	19	6	0	18	0	11	83	2	422	0	64	64	0
	台数	735	21	8	0	18	0	29	83	5	433	0	74	64	0
	人員	2,023	67	23	0	51	0	91	232	15	1,162	0	206	176	0
鳴子	出動回数	564	2	6	0	15	6	25	101	0	29	0	148	232	0
	台数	617	8	23	0	15	18	25	101	0	29	0	148	250	0
	人員	1,860	25	77	0	45	54	75	303	0	87	0	444	750	0
岩出山	出動回数	897	9	4	0	3	4	53	55	5	396	0	128	240	0
	台数	926	18	4	0	3	14	55	55	6	396	0	128	247	0
	人員	2,450	50	10	0	9	39	155	153	15	1,136	0	377	506	0
加美	出動回数	1,045	22	13	0	39	12	90	91	8	130	0	173	467	4
	台数	1,178	71	25	0	39	21	90	91	24	130	0	196	491	4
	人員	2,933	179	73	0	109	46	256	254	68	290	0	402	1,256	12
西部	出動回数	924	11	4	0	2	7	23	106	4	363	1	100	303	1
	台数	962	21	5	0	2	13	25	106	10	371	1	100	308	2
	人員	2,481	61	15	0	6	34	74	325	33	1,044	3	272	614	7
遠田	出動回数	1,886	26	15	0	5	19	90	56	17	332	0	402	924	0
	台数	2,086	72	29	0	5	45	90	56	30	382	0	423	954	0
	人員	3,236	190	87	0	15	57	196	167	51	567	0	451	1,455	0
合計	出動回数	9,490	185	106	0	192	83	453	634	58	2,282	1	1,519	3,977	53
	台数	10,795	379	183	0	204	206	504	649	113	2,480	1	1,712	4,364	56
	人員	25,490	981	575	0	576	499	1,297	1,853	291	6,240	3	3,620	9,555	114

※ 演習訓練とは、消防機関又は関係機関と合同で行う演習・訓練のために消防車両が出動した状況である。
 訓練指導とは、住民や自衛消防隊が行う消防訓練に対する指導のため出動した状況である。
 警防調査とは、地水利・危険区域・対象物調査等に出動した状況である。

消防水利の現況

平成30年4月1日 現在

市町村別		大 崎 市	色 麻 町	加 美 町	涌 谷 町	美 里 町	合 計	
消 火 栓	小計(A)	1,878	126	420	251	439	3,114	
	公設	1,826	126	418	251	436	3,057	
	私設	52	0	2	0	3	57	
防 火 水 槽	小計	100㎡以上	12	0	1	3	2	18
		100㎡未満～40㎡	555	33	129	123	125	965
		40㎡未満～20㎡	71	0	7	10	59	147
	合計(B)		638	33	137	136	186	1,130
	公 設	100㎡以上	3	0	0	3	0	6
		100㎡未満～40㎡	459	32	118	119	111	839
		40㎡未満～20㎡	54	0	2	9	57	122
	公 設 うち耐震性	100㎡以上	0	0	0	0	0	0
		100㎡未満～40㎡	121	21	8	26	46	222
		40㎡未満～20㎡	4	0	0	0	8	12
	私 設	100㎡以上	9	0	1	0	2	12
		100㎡未満～40㎡	100	1	10	3	12	126
		40㎡未満～20㎡	17	0	5	1	2	25
	私 設 うち耐震性	100㎡以上	0	0	0	0	0	0
		100㎡未満～40㎡	2	0	0	0	0	2
40㎡未満～20㎡		0	0	0	0	0	0	
そ の 他	小計(C)		96	4	17	8	11	136
	プール		48	4	8	8	9	77
	河 川		0	0	0	0	0	0
	ごう・池等		47	0	9	0	2	58
	井 戸		0	0	0	0	0	0
	工業用水		0	0	0	0	0	0
	掘抜消火栓		0	0	0	0	0	0
	その他		1	0	0	0	0	1
合 計(A+B+C)		2,612	163	574	395	636	4,380	

火災の現況

平成29年中における総出火件数は66件で前年より19件減少しました。これは約5.5日に1件の割合で火災が発生したことになります。

この総出火件数は、昭和45年に統計を取り始めてから最も少ない件数となりました。

火災種別ごとの出火件数は、建物火災が37件（56.1％、前年比13件減）、林野火災0件（前年比3件減）、車両火災12件（18.1％、前年比2件減）、その他火災17件（25.8％、前年比1件減）となりました。

市町別ごとの出火件数は、大崎市35件（53.0％）、色麻町4件（6.0％）加美町10件（15.2％）、涌谷町10件（15.2％）、美里町7件（10.6％）となりました。

火災による死者数は4人で前年より1人減少し、火災種別ごとでは、建物火災2人、車両火災2人となりました。

火災による損害額は1億9,687万1千円で、前年と比較すると2,889万5千円減少しました。

出火原因は、「放火の疑い」が7件、次いで「放火」と「たばこ」がそれぞれ6件の順となっています。

近年の出火原因は、全国的にも「放火・放火の疑い」が1位となっており、家の周りに燃えやすい物を置かない等の放火対策が必要となります。

このことから、住民一人ひとりの防火意識の高揚を目指し、更なる防火指導と広報活動の充実強化に努めてまいります。

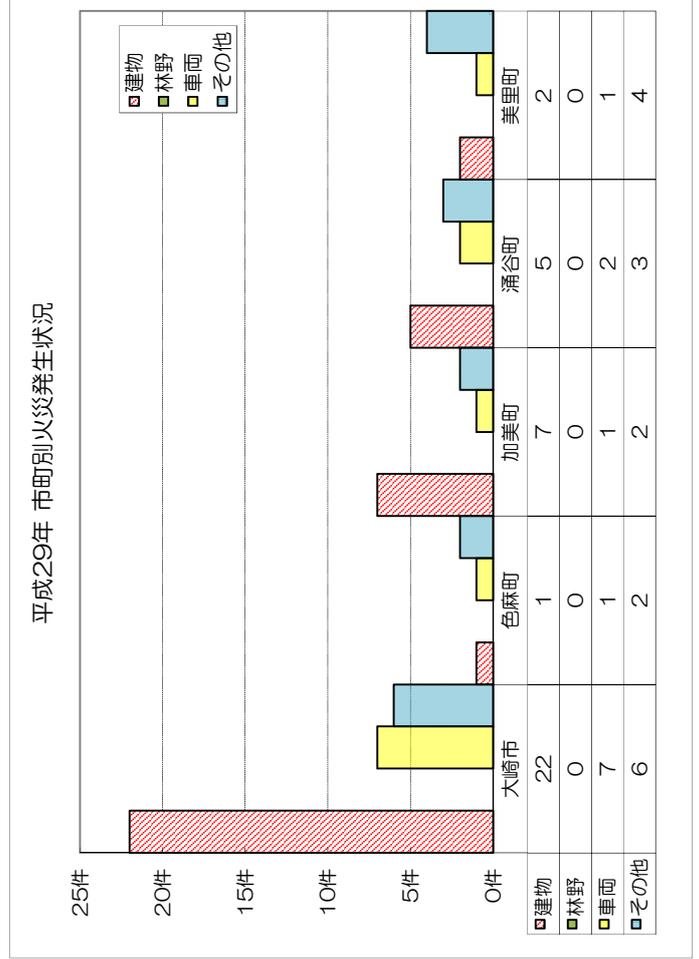


平成29年市町別火災発生状況

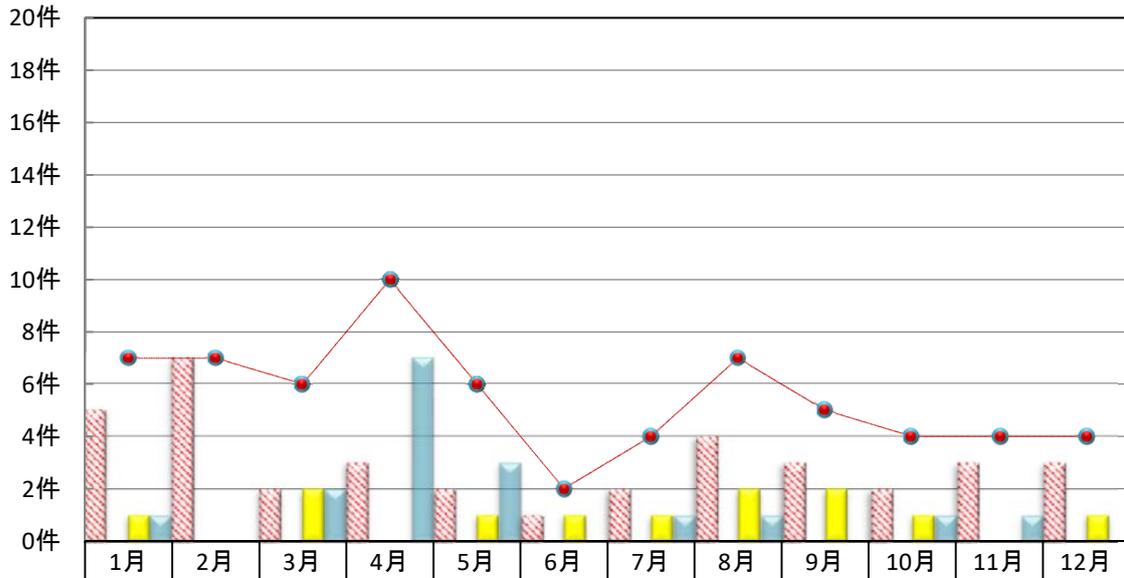
平成29年1月1日～平成29年12月31日

	火災件数				焼損棟数		災り		死者	負傷者	世帯数	人口	一人当り出火率	損害額(円)				焼損面積	
	建物	林野	車両	その他	世帯	人員	総額(千円)	一件当り(千円)						一世帯当り(円)	一人当り(円)	建物面積(m ²)	一件当り(m ²)	林野面積(a)	
大崎市	22	0	7	6	44	65	1	3	51,164	132,321	2.65	110,636	3,161	2,162	836	2,512	114.2	0	
色麻町	1	0	1	2	5	4	0	1	2,094	6,997	5.72	5,485	1,371	2,619	784	128	128.0	0	
加美町	7	0	1	2	17	10	1	5	8,110	23,853	4.19	64,521	6,452	7,956	2,705	1,117	159.6	0	
涌谷町	5	0	2	3	9	7	1	0	6,070	16,592	6.03	16,190	1,619	2,667	976	502	100.4	0	
美里町	2	0	1	4	2	3	1	1	9,052	24,707	2.83	39	6	4	2	1	0.5	0	
合計	37	0	12	17	77	89	4	10	76,490	204,470	3.23	196,871	2,983	2,574	963	4,260	115.1	0	

※世帯数・人口は平成29年12月末日現在(宮城県住民基本台帳より)

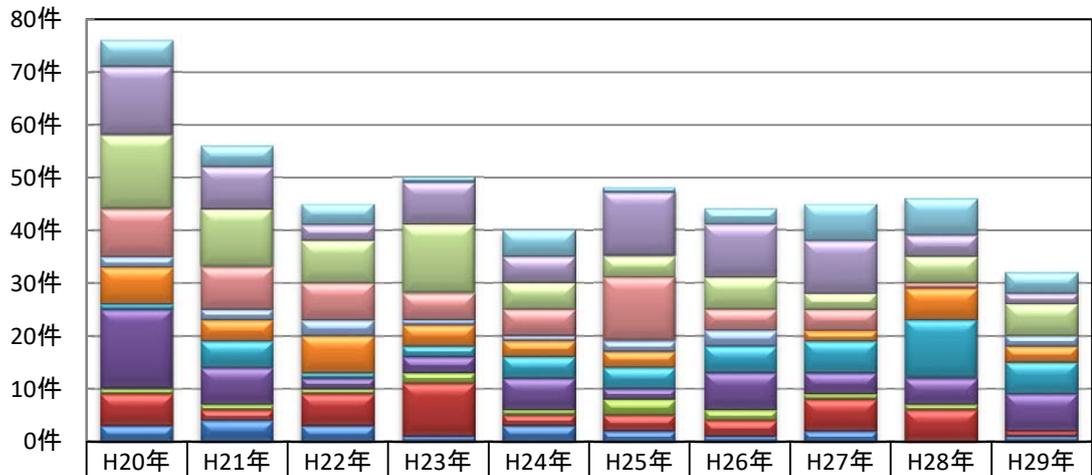


平成29年 月別火災発生状況



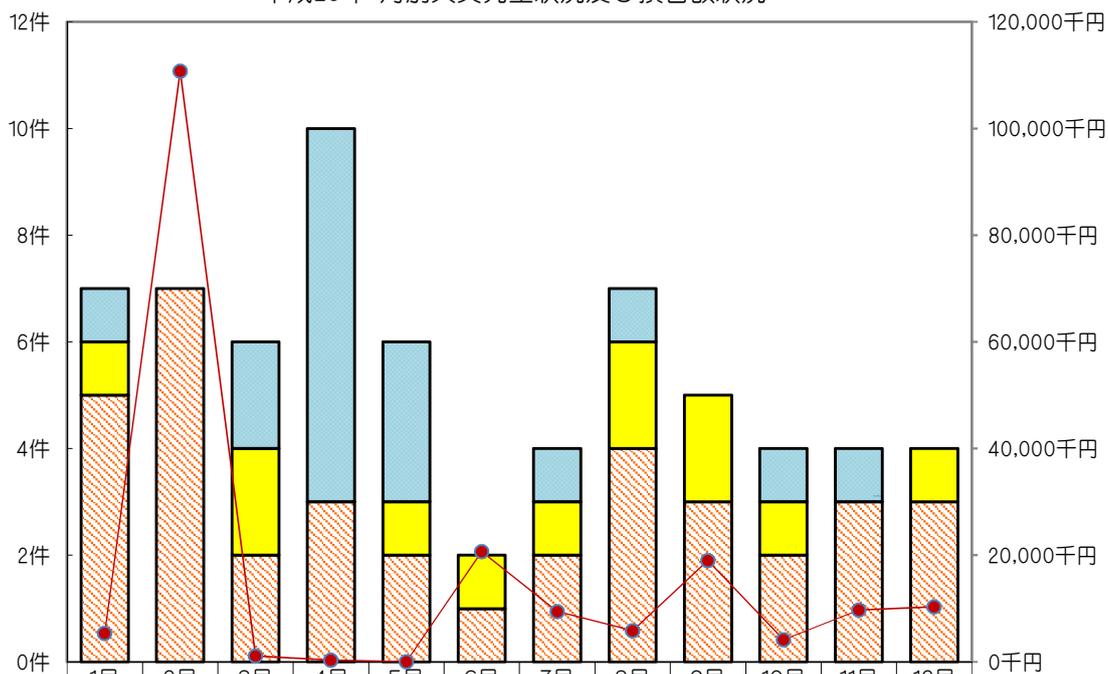
建物	5	7	2	3	2	1	2	4	3	2	3	3
林野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両	1	0	2	0	1	1	1	2	2	1	0	1
その他	1	0	2	7	3	0	1	1	0	1	1	0
総計	7	7	6	10	6	2	4	7	5	4	4	4

過去10年間の主な出火原因



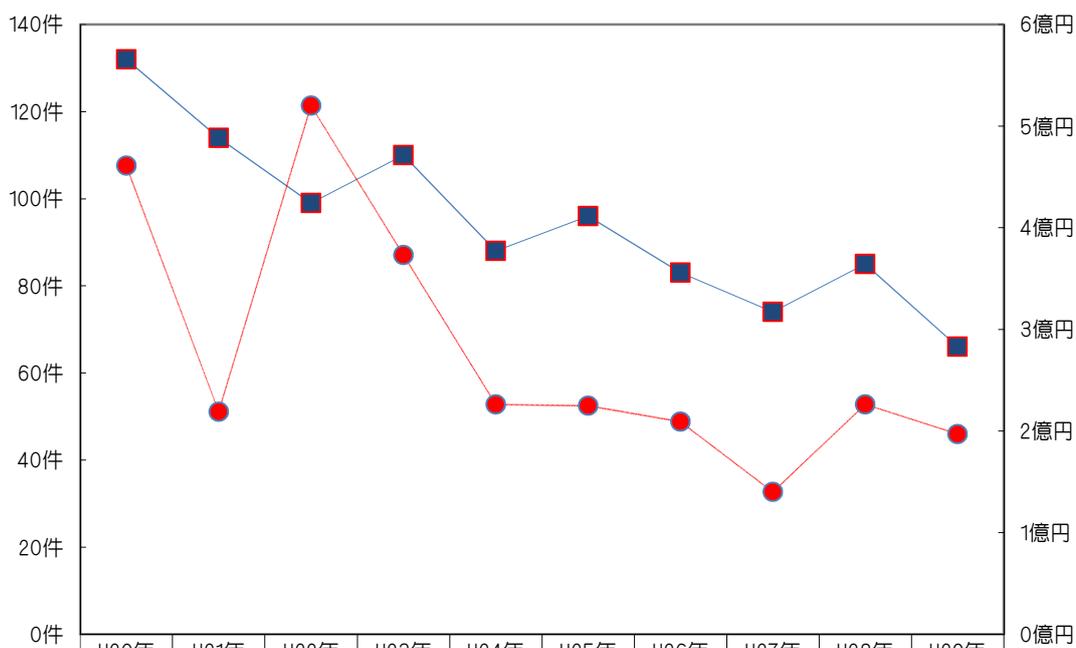
電灯等配線	5	4	4	1	5	1	3	7	7	4
火入れ	13	8	3	8	5	12	10	10	4	2
たばこ	14	11	8	13	5	4	6	3	5	6
たき火	9	8	7	5	5	12	4	4	1	0
火遊び	2	2	3	1	1	2	3	0	0	2
こんろ	7	4	7	4	3	3	0	2	6	3
放火	1	5	1	2	4	4	5	6	11	6
放火の疑い	15	7	2	3	6	2	7	4	5	7
風呂・かまど	1	1	1	2	1	3	2	1	1	0
ストーブ	6	2	6	10	2	3	3	6	6	1
煙突・煙道	3	4	3	1	3	2	1	2	0	1

平成29年 月別火災発生状況及び損害額状況



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ その他	1	0	2	7	3	0	1	1	0	1	1	0
■ 車両	1	0	2	0	1	1	1	2	2	1	0	1
■ 林野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
■ 建物	5	7	2	3	2	1	2	4	3	2	3	3
● 損害額(千円)	5,340	110,789	1,141	345	49	20,703	9,443	5,813	19,036	4,176	9,716	10,320

過去10年間の火災件数及び損害額の推移



	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
■ 件数(件)	132	114	99	110	88	96	83	74	85	66
● 損害額(億円)	4.61	2.19	5.20	3.73	2.26	2.25	2.09	1.40	2.26	1.97

救急業務の現況

平成29年中における救急出動件数は9,508件で前年より156件増加し、搬送人員は8,883人で前年より145人増加しました。これは一日平均で26件（約55分に1件）の割合で救急車が出動し、管内の約23人に1人が救急車により搬送されたこととなります。

平成29年中の搬送人員8,883人に救急隊員が応急処置を行い、応急処置の総件数は41,162件で、傷病者1人に対して平均4.6種類の応急処置を行なったこととなります。

救急隊員が行った応急処置のうち、救急救命士（除細動については、救急救命士以外の救急隊員を含む）が心肺停止状態又は重篤な傷病者に行う高度な応急処置（ラリングアルマスク等による気道確保、気管挿管、除細動、静脈路確保、薬剤投与、血糖測定、ブドウ糖投与）の件数は511件となっています。

また、過去10年間の救急出動件数は、平成23年に初めて年間9,000件を上回り、それ以降毎年9,000件台で推移しており平成29年の9,508件は、当消防本部の統計上最多であった平成27年の9,458件を上回る出動件数となりました。

限られた消防力の中で、最大限に効果を発揮できるよう救急体制の充実を図るとともに、救急車を適正に利用していただくための普及啓発に取り組んでまいります。

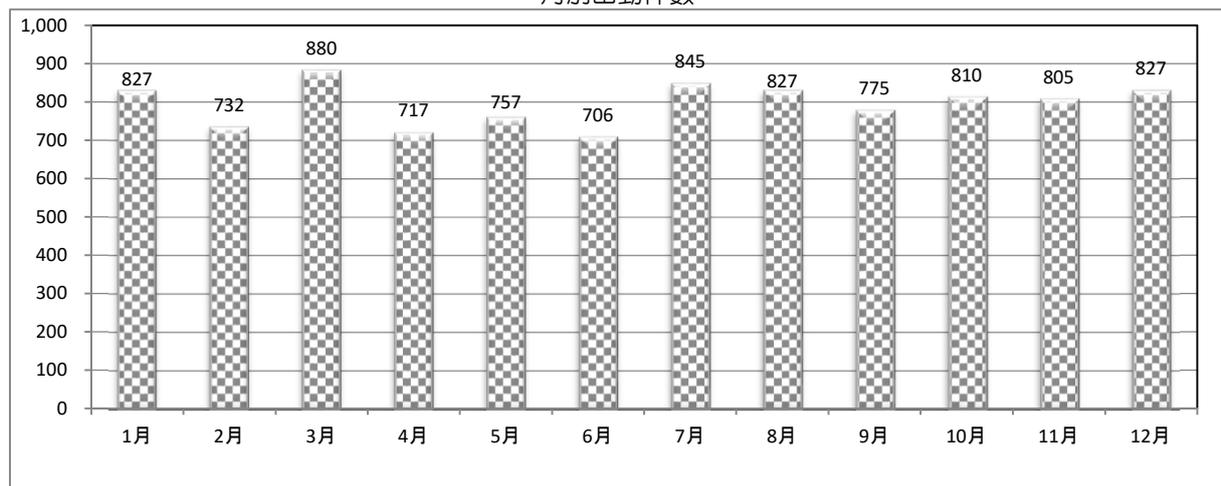


平成29年 月別救急出動状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

月別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
1月	出動件数	827	7			45	4	3	95		10	529	119		1	14
	搬送件数	752	1			43	4	3	88		7	488	118			
	搬送人員	765	1			52	4	3	89		7	491	118			
2月	出動件数	732	8			49	1	1	68	4	5	466	118		1	11
	搬送件数	663	1			46	1	1	61	2	3	429	118			1
	搬送人員	670	1			53	1	1	61	2	3	429	118			1
3月	出動件数	880	3		1	46	4	1	102	4	9	545	153		1	11
	搬送件数	816			1	41	4	1	91	3	6	515	152			2
	搬送人員	822			1	45	4	1	93	3	6	515	152			2
4月	出動件数	717	3			38	7	4	80	3	5	438	132		1	6
	搬送件数	678	2			38	7	4	75	3	4	413	132			
	搬送人員	681	3			39	7	4	75	3	4	414	132			
5月	出動件数	757	3			39	5	11	83	5	6	460	130		2	13
	搬送件数	699	1			35	5	11	77	3	4	433	130			
	搬送人員	711	2			44	5	12	78	3	4	433	130			
6月	出動件数	706	2			42	8	12	69	1	6	434	122		3	7
	搬送件数	655				38	8	12	65	1	3	406	122			
	搬送人員	661				43	8	13	64	1	3	407	122			
7月	出動件数	845	4		1	69	6	13	91	3	8	511	127			12
	搬送件数	782	1		1	62	5	13	81	2	8	480	127			2
	搬送人員	804	1		1	80	6	13	82	2	8	481	127			3
8月	出動件数	827	5			43	10	6	92	1	8	513	134		5	10
	搬送件数	763				40	10	6	83	1	4	483	134			2
	搬送人員	773				47	10	6	83	1	4	486	134			2
9月	出動件数	775	7			74	9	3	78	2	6	469	117			10
	搬送件数	724	2			66	9	3	73	1	5	448	117			
	搬送人員	740	2			81	10	3	73	1	5	448	117			
10月	出動件数	810	3		1	49	9	2	82	4	6	506	133		3	12
	搬送件数	747				44	9	2	76	4	5	474	133			
	搬送人員	754				51	9	2	76	4	5	474	133			
11月	出動件数	805	3			51	6	2	82		6	509	132		1	13
	搬送件数	739				44	5	2	76		4	476	131			1
	搬送人員	745				50	5	2	77		4	475	131			1
12月	出動件数	827	5			53	10	1	93	1	9	504	137			14
	搬送件数	748	1			47	10	1	81	1	5	465	137			
	搬送人員	757	1			54	10	1	83	1	5	465	137			
累計	出動件数	9,508	53	0	3	598	79	59	1,015	28	84	5,884	1,554	0	18	133
	搬送件数	8,766	9	0	2	544	77	59	927	21	58	5,510	1,551	0	0	8
	搬送人員	8,883	11	0	2	639	79	61	934	21	58	5,518	1,551	0	0	9

月別出動件数



平成29年 救急隊別出動状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

救急隊別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
古川1	出動件数	1,795	12			132	16	13	156	9	18	994	415		8	22
	搬送人員	1,675	6			133	16	13	139	6	13	931	415			3
古川2	出動件数	1,609	11			99	10	12	145	6	11	901	381		8	25
	搬送人員	1,492	1			109	10	12	128	4	10	836	380			2
志田	出動件数	895	1		1	40	6	5	94	2	8	585	139			14
	搬送人員	847				50	7	5	90	2	4	550	139			
三本木	出動件数	533	3			54	9	4	52		4	324	69		2	12
	搬送人員	497				58	9	4	46		4	307	69			
田尻	出動件数	598				55	6	2	85	2	7	422	12			7
	搬送人員	572				64	6	2	80	1	3	403	12			1
鳴子	出動件数	521	2			22	8	1	79		4	333	64			8
	搬送人員	472				19	8	1	70		1	310	63			
岩出山	出動件数	588			1	34	4	2	62	1	10	415	49			10
	搬送人員	544			1	33	4	2	59	1	6	389	49			
加美	出動件数	970	12			50	6	4	88	2	7	632	154			15
	搬送人員	927	4			59	6	5	89	2	6	602	154			
西部	出動件数	514	2			24	4	4	64	3	5	336	65			7
	搬送人員	466				24	4	4	61	3	2	302	65			1
遠田1	出動件数	1,197	8		1	61	7	10	154	2	9	781	155			9
	搬送人員	1,116			1	61	6	10	137	1	8	736	154			2
遠田2	出動件数	285	2			26	3	2	35	1	1	161	50			4
	搬送人員	272				28	3	3	34	1	1	152	50			
その他	出動件数	3				1			1				1			
	搬送人員	3				1			1				1			
累計	出動件数	9,508	53		3	598	79	59	1,015	28	84	5,884	1,554		18	133
	搬送人員	8,883	11		2	639	79	61	934	21	58	5,518	1,551			9

※ その他にあつては、大崎市民病院の転院に伴う転院搬送に非常用救急車を運用したものの

平成29年 出動先別救急出動状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

地域別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
大崎市	出動件数	6,328	28		3	402	55	35	650	18	60	3,861	1,099		18	99
	搬送人員	5,884	4		2	424	56	35	591	12	39	3,618	1,097			6
色麻町	出動件数	349	3			24	1	1	25	1	2	201	87			4
	搬送人員	329	1			24	1	2	24	1	1	188	87			
加美町	出動件数	1,097	11			50	10	8	122	4	11	736	132			13
	搬送人員	1,034	5			59	10	8	121	4	8	686	132			1
涌谷町	出動件数	757	7			36	7	6	88	3	6	442	158			4
	搬送人員	705				34	7	7	81	2	5	412	157			
美里町	出動件数	946	3			72	6	9	129	2	5	635	78			7
	搬送人員	909	1			85	5	9	116	2	5	606	78			2
高速道路	出動件数	26	1			13						9				3
	搬送人員	20				12						8				
管外	出動件数	5				1			1							3
	搬送人員	2				1			1							
累計	出動件数	9,508	53		3	598	79	59	1,015	28	84	5,884	1,554		18	133
	搬送人員	8,883	11		2	639	79	61	934	21	58	5,518	1,551			9

平成29年 年齢別搬送人員の状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

年 齢 区 分	年 齢 区 分 内 訳	種 別 区 分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
		重 症	7										1	6
		中 等 症	17										1	16
		軽 症	3							1				2
		そ の 他	0											
		計	27	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	24
乳 幼 児	2 8 日 5 6 歳	死 亡	1			1								
		重 症	17				2						9	6
		中 等 症	85				1			6			65	13
		軽 症	231				17			52			160	2
		そ の 他	0											
		計	334	0	0	1	20	0	0	58	0	0	234	21
少 年	7 歳 5 1 7 歳	死 亡	1										1	
		重 症	11				3		2				3	3
		中 等 症	110	1			16		10	10		1	57	15
		軽 症	180	1			40		35	21	2		76	5
		そ の 他	0											
		計	302	2	0	0	59	0	47	31	2	1	137	23
成 人	1 8 歳 5 6 4 歳	死 亡	17				1			1		6	9	
		重 症	271	1			18	6		10		4	133	99
		中 等 症	1,324	5			145	32	10	82	4	22	760	264
		軽 症	1,104	2			219	25	3	118	11	7	666	53
		そ の 他	0											
		計	2,716	8	0	0	383	63	13	211	15	39	1,568	416
高 齢 者	6 5 歳 以 上	死 亡	182			1	3	1		14		9	154	
		重 症	803				19	3		42		1	471	267
		中 等 症	3,042	1			60	10	1	316	2	6	1,927	719
		軽 症	1,477				95	2		261	2	2	1,025	90
		そ の 他	0											
		計	5,504	1	0	1	177	16	1	633	4	18	3,577	1,076
合 計		死 亡	201	0	0	2	4	1	0	15	0	15	164	0
		重 症	1,109	1	0	0	42	9	2	52	0	5	617	381
		中 等 症	4,578	7	0	0	222	42	21	414	6	29	2,810	1,027
		軽 症	2,995	3	0	0	371	27	38	453	15	9	1,927	152
		そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	8,883	11	0	2	639	79	61	934	21	58	5,518	1,560

平成29年 救急隊員が行った応急処置の状況(その1)

平成29年1月1日～平成29年12月31日

事故種別 傷病程度	応急処置 対象急 人員置	止 血	固 定	人工呼吸	心 マツ サー ジ		心 肺 蘇 生	う ち 自 動	酸 素 吸 入	気 道 確 保			気 管 挿 管	保 温			
					う ち 自 動	※1				※2	※3						
急 病	死 亡	164			3				164	91	162	164	1	6	46	1	81
	重 症	617	2	5	6				58	33	331	132	2	4	18		214
	中等症	2,810	18	45	9				2	1	562	72	1				770
	軽 症	1,927	30	36							96	8					469
	そ の 他																
計	5,518	50	86	18	0	0	224	125	1,151	376	4	10	64	1	1,534		
交 通 事 故	死 亡	4		4					4		4	4			3		2
	重 症	42	11	39					4	1	26	6		1	1		16
	中等症	222	36	171							37						64
	軽 症	371	23	215							9						57
	そ の 他																
計	639	70	429	0	0	0	8	1	76	10	0	1	4	0	139		
一 般 負 傷	死 亡	15	1	1					15	3	15	15	2	5	3		6
	重 症	52	5	16	1				8	6	18	14		7	3	1	24
	中等症	414	48	147							28						95
	軽 症	453	96	94							5	1		1			69
	そ の 他																
計	934	150	258	1	0	0	23	9	66	30	2	13	6	1	194		
そ の 他	死 亡	18		2	1				18	5	17	18	1	1	4		7
	重 症	398	1	16	3				1	1	176	14					101
	中等症	1,132	18	65							280	6					282
	軽 症	244	14	22							17						59
	そ の 他																
計	1,792	33	105	4	0	0	19	6	490	38	1	1	4	0	449		
合 計	死 亡	201	1	7	4	0	0	201	99	198	201	4	12	56	1	96	
	重 症	1,109	19	76	10	0	0	71	41	551	166	2	12	22	1	355	
	中等症	4,578	120	428	9	0	0	2	1	907	78	1	0	0	0	1,211	
	軽 症	2,995	163	367	0	0	0	0	0	127	9	0	1	0	0	654	
	計	8,883	303	878	23	0	0	274	141	1,783	454	7	25	78	2	2,316	

気道確保

※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保

※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去

※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保

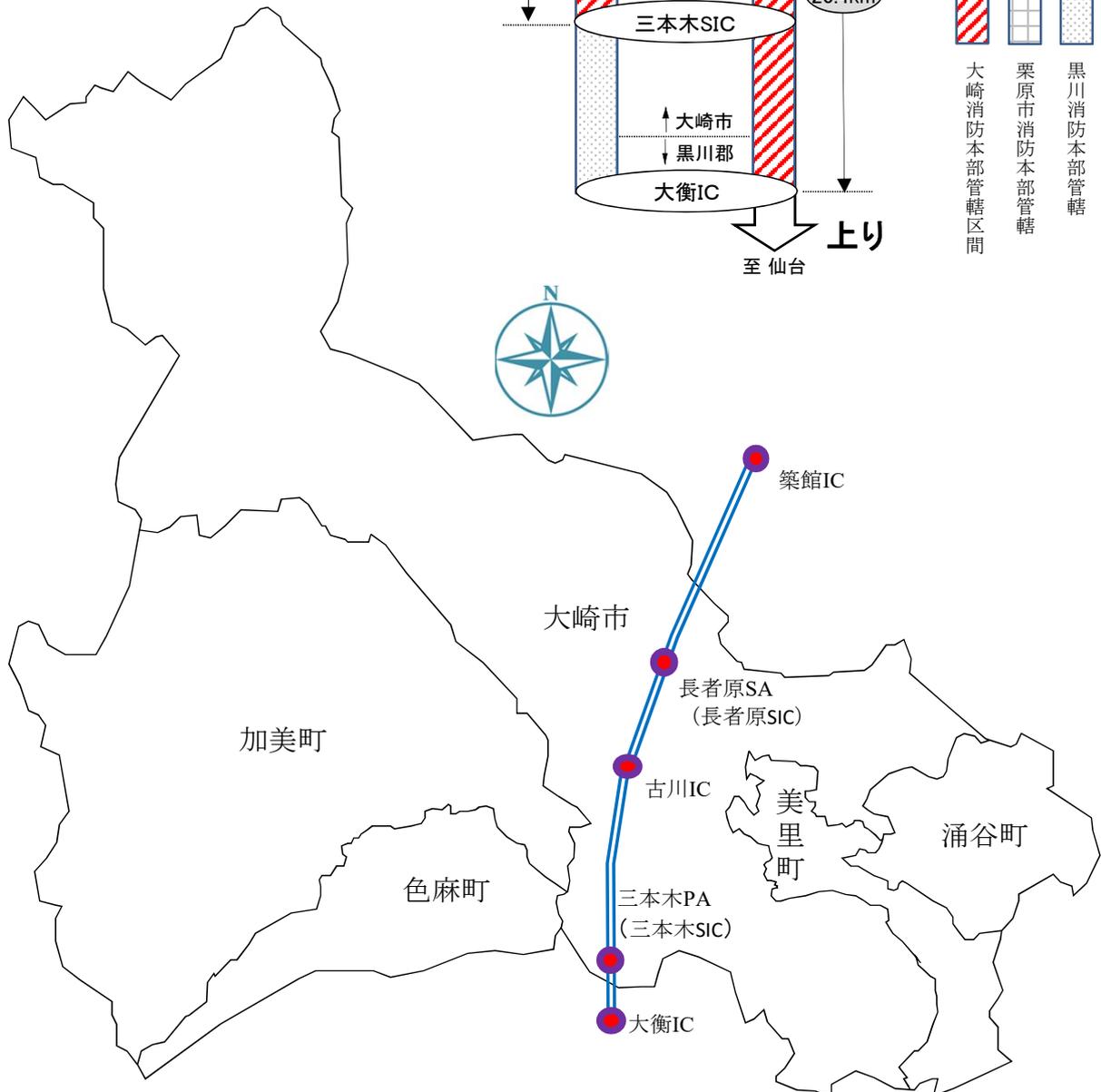
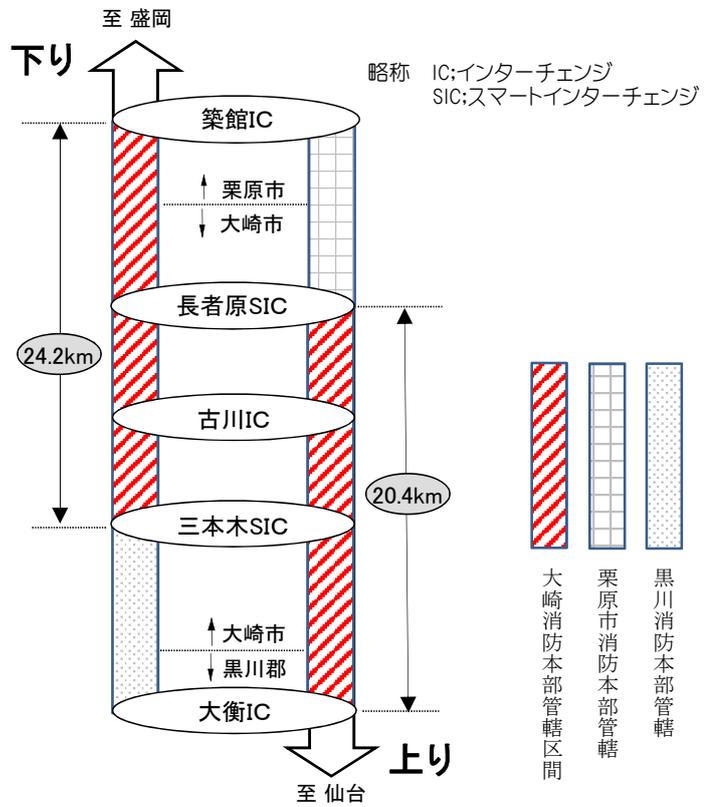
平成29年 救急隊員が行った応急処置の状況(その2)

平成29年1月1日～平成29年12月31日

事故種別 傷病程度	応急処置	被 覆	在宅療法継続			S P による 血 圧 保 持	除 細 動	静 脈 路 確 保 ・ C P A 前	静 脈 路 確 保 ・ C P A 後	薬 剤 投 与	ブ ド ウ 糖 投 与	そ の 他 の 応 急 処 置	血 圧 測 定	聴 診 器 に よ る 聴 取	血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定	血 糖 測 定	心 電 図	心 電 図 伝 送	計	
			※A	※B	※C															
急 病	死 亡		1		1		9	77	18		116	9	147	11		155		1,117		
	重 症	3	12	2	2	8	8	5	38	15	1	585	560	331	572	34	547	74	3,459	
	中等症	19	60	1	4	55	2	23		13	2,781	2,757	1,136	2,801	82	2,101	154	13,253		
	軽 症	9	15		1	14		11		9	1,908	1,801	639	1,924	28	1,118	42	8,101		
	その他																		0	
計	31	88	3	7	78	0	19	39	115	33	23	5,390	5,127	2,253	5,308	144	3,921	270	25,930	
交 通 事 故	死 亡							3	1		3		4			4		33		
	重 症	6						1	2		36	38	28	39		34		286		
	中等症	30									203	221	127	222		131	2	1,242		
	軽 症	30									328	354	168	364	1	114		1,663		
	その他																		0	
計	66	0	0	0	0	0	0	1	5	1	0	570	613	327	625	1	283	2	3,224	
一 般 負 傷	死 亡	1						7	1		9		12	4		14		101		
	重 症	5					1	4	8	3	49	45	26	45	1	36		309		
	中等症	37	2			2		3			401	410	103	413	1	169		1,857		
	軽 症	92						1			429	408	99	450		141		1,885		
	その他																		0	
計	135	2	0	0	2	0	1	8	15	4	0	888	863	240	912	2	360	0	4,152	
そ の 他	死 亡						2	13	2		13		15			16		124		
	重 症	3						1			377	384	96	394		243	13	1,810		
	中等症	13	3		2	1		2			1,094	1,104	278	1,128		640	47	4,913		
	軽 症	11									236	238	55	243		114	5	1,009		
	その他																		0	
計	27	3	0	2	1	0	2	2	14	2	0	1,720	1,726	444	1,765	0	1,013	65	7,856	
合 計	死 亡	1	1	0	0	1	0	11	0	100	22	0	141	9	178	15	0	189	0	1,375
	重 症	17	12	2	2	8	0	9	10	49	18	1	1,047	1,027	481	1,050	35	860	87	5,864
	中等症	99	65	1	6	58	0	2	28	0	0	13	4,479	4,492	1,644	4,564	83	3,041	203	21,265
	軽 症	142	15	0	1	14	0	0	12	0	0	9	2,901	2,801	961	2,981	29	1,487	47	12,658
	計	259	93	3	9	81	0	22	50	149	40	23	8,568	8,329	3,264	8,610	147	5,577	337	41,162
1 在宅療法		※A	在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの																	
		※B	気道切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻処置が施されているもの																	
		※C	※A, ※B以外の処置が施されているもの																	
2 計欄については、(その1)止血から(その2)心電図伝送までの集計である。																				

東北自動車道における救急出動件数・搬送人員(過去5年間)

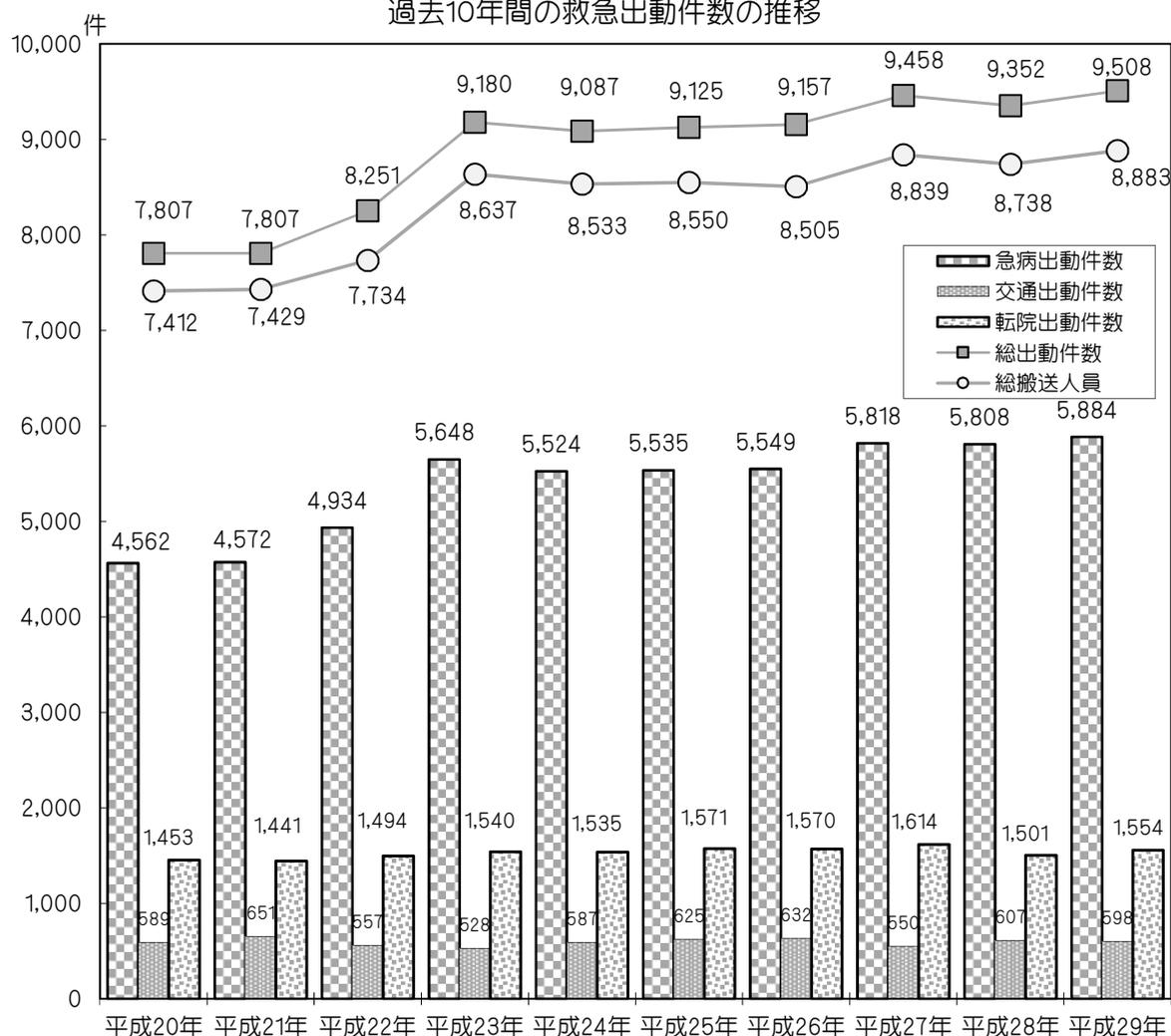
年	区分	計	事故種別		
			交通	急病	その他
25	出動件数	36	13	18	5
	搬送人員	38	19	18	1
	不搬送	4	0	0	4
26	出動件数	32	18	7	7
	搬送人員	23	16	7	0
	不搬送	12	5	0	7
27	出動件数	32	13	12	7
	搬送人員	28	14	12	2
	不搬送	8	3	0	5
28	出動件数	31	19	6	6
	搬送人員	32	25	6	1
	不搬送	0	0	0	0
29	出動件数	26	13	9	4
	搬送人員	20	12	8	0
	不搬送	7	4	1	2



過去5年間の発生場所別救急出動件数

市町別	年 別				
	25	26	27	28	29
大崎市	6,086	6,008	6,189	6,133	6,328
色麻町	329	309	351	348	349
加美町	996	1,043	1,112	1,075	1,097
涌谷町	754	807	796	796	757
美里町	921	957	974	969	946
高速道路	36	32	32	31	26
管外	3	1	4	0	5
計	9,125	9,157	9,458	9,352	9,508

過去10年間の救急出動件数の推移



平成29年 事故種別ごと医療機関別搬送人員

(上段・本年搬送人員 下段・前年搬送人員)

種別 地域	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	
											転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他		
搬送人員	11	0	2	639	79	61	934	21	58	5,518	1,551	0	0	9	8,883	
	14	1	1	655	81	75	876	33	63	5,428	1,496	0	0	6	8,729	
管内	大崎市	10	0	2	538	72	43	797	16	50	4,567	1,191	0	0	9	7,295
		13	0	0	546	72	59	740	30	57	4,334	1,162	0	0	6	7,019
	加美郡	1	0	0	25	2	5	43	2	3	290	21	0	0	0	392
		1	1	0	25	4	7	46	2	1	312	20	0	0	0	419
	遠田郡	0	0	0	56	3	7	60	2	4	437	39	0	0	0	608
		0	0	1	60	4	7	70	1	3	548	27	0	0	0	721
大崎管内	11	0	2	619	77	55	900	20	57	5,294	1,251	0	0	9	8,295	
	14	1	1	631	80	73	856	33	61	5,194	1,209	0	0	6	8,159	
管外	仙台市	0	0	0	8	1	1	8	0	1	81	155	0	0	0	255
		0	0	0	0	1	0	4	0	1	61	132	0	0	0	199
	石巻市	0	0	0	7	1	2	17	1	0	69	64	0	0	0	161
		0	0	0	13	0	1	4	0	1	84	69	0	0	0	172
	塩竈市	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	6	0	0	0	12
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	0	0	0	9
	多賀城市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	黒川郡	0	0	0	1	0	0	6	0	0	12	7	0	0	0	26
		0	0	0	4	0	0	6	0	0	15	10	0	0	0	35
	栗原市	0	0	0	1	0	2	1	0	0	15	24	0	0	0	43
		0	0	0	2	0	1	2	0	0	16	31	0	0	0	52
	東松島市	0	0	0	1	0	0	1	0	0	30	25	0	0	0	57
		0	0	0	0	0	0	3	0	0	39	27	0	0	0	69
	登米市	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	11	0	0	0	14
		0	0	0	2	0	0	1	0	0	5	10	0	0	0	18
	宮城郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
	柴田郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	その他県内	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	6	0	0	0	11
		0	0	0	3	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	10
	県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0	8
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
大崎管外	0	0	0	20	2	6	34	1	1	224	300	0	0	0	588	
	0	0	0	24	1	2	20	0	2	234	287	0	0	0	570	

応急手当講習会等の現況

平成29年中における一般住民を対象とした応急手当講習会等の受講者数は、普通救命講習会185回3,610人、上級救命講習会6回168人、普及員講習会1回8人、救命入門コース11回383人、応急手当講習会173回3,867人で、合計8,036人でした。

また、普通救命講習、上級救命講習、普及員講習会、救命入門コースの受講者には、それぞれ修了証等を交付しています。

これら講習会の効果もあり、平成29年中では救急隊が傷病者のもとに到着するまでの間、傷病者の近くにいた家族等の一般住民による応急手当が443件実施されています。



応急手当講習会等の開催状況

1. 講習会別開催状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

種 別	開催回数	受講者数	内 容
普通救命講習会	185回	3,610人	心肺蘇生法(成人)・大出血時の止血等の講習 (講習時間3時間)
上級救命講習会	6回	168人	心肺蘇生法(成人・小児・乳児)・大出血時の止血・ 傷病者管理・外傷手当・搬送法等の講習 (講習時間8時間)
普及員講習会	1回	8人	事業所・地域団体等の従業員に対して普通救命講習を指 導できるための講習 (講習時間24時間)
救命入門コース	11回	383人	対象者は小学生中高学年以上(概ね10歳以上)とし、カリ キュラムは胸骨圧迫とAEDの使用法
応急手当講習会	173回	3,867人	病気・ケガ・事故等の時、医師の治療を受けるまでの簡単な 応急手当の講習
合 計	376回	8,036人	

2. 講習会ごと性別及び年代別受講者数

平成29年1月1日～平成29年12月31日

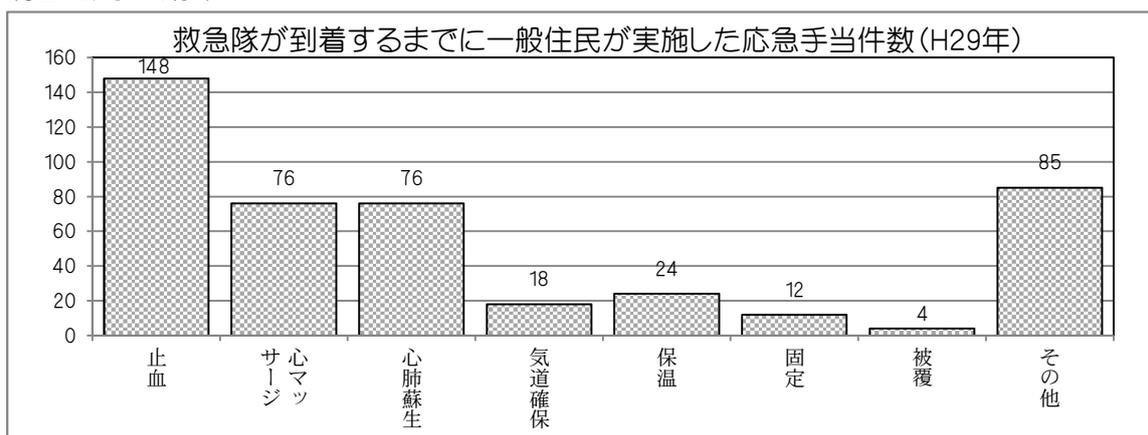
講習種別	年代 性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	合計
普通救命講習	男性(人)	865	148	249	251	233	183	47	2	1,978
	女性(人)	779	106	132	167	195	213	39	1	1,632
	合計(人)	1,644	254	381	418	428	396	86	3	3,610
上級救命講習	男性(人)	7	4	9	13	9	23	9	2	76
	女性(人)	49	11	13	9	7	2	1	0	92
	合計(人)	56	15	22	22	16	25	10	2	168
普及員講習	男性(人)	0	1	1	0	3	1	0	0	6
	女性(人)	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	合計(人)	0	1	1	1	4	1	0	0	8
救命入門コース	男性(人)	206								206
	女性(人)	177								177
	合計(人)	383	0	0	0	0	0	0	0	383
合 計	男性(人)	1,078	153	259	264	245	207	56	4	2,266
	女性(人)	1,005	117	145	177	203	215	40	1	1,903
	合計(人)	2,083	270	404	441	448	422	96	5	4,169

※応急手当講習会については、年齢・性別を記入した申請書の提出を求めているため計上していない。

3. 講習会ごと年別受講者数

講習種別	年別	回数(回)	性別		合計
			男性(人)	女性(人)	
普通救命講習	平成9年～平成19年	1,259	13,362	15,040	28,402
	平成20年	192	2,021	1,943	3,964
	平成21年	176	1,720	1,785	3,505
	平成22年	165	1,728	1,605	3,333
	平成23年	133	1,257	1,026	2,283
	平成24年	152	1,455	1,508	2,963
	平成25年	194	2,034	1,965	3,999
	平成26年	172	1,753	1,772	3,525
	平成27年	173	1,556	1,664	3,220
	平成28年	146	1,380	1,270	2,650
平成29年	185	1,978	1,632	3,610	
小計	2,947	30,244	31,210	61,454	
上級救命講習	平成11年～平成19年	50	517	1,097	1,614
	平成20年	5	59	112	171
	平成21年	8	87	185	272
	平成22年	7	68	132	200
	平成23年	8	97	82	179
	平成24年	7	54	123	177
	平成25年	5	77	64	141
	平成26年	6	47	100	147
	平成27年	7	56	96	152
	平成28年	8	88	113	201
平成29年	6	76	92	168	
小計	117	1,226	2,196	3,422	
普及員講習	平成12年～平成19年	10	110	175	285
	平成20年	1	10	13	23
	平成21年	1	9	8	17
	平成22年	2	7	16	23
	平成23年	1	3	3	6
	平成24年	3	8	10	18
	平成25年	1	3	3	6
	平成26年	1	3	6	9
	平成27年	2	17	2	19
	平成28年	1	5	2	7
平成29年	1	6	2	8	
小計	24	181	240	421	
救命入門コース	平成24年	1	64	71	135
	平成25年	3	52	66	118
	平成26年	8	120	143	263
	平成27年	6	125	113	238
	平成28年	9	147	170	317
	平成29年	11	206	177	383
小計	38	714	740	1,454	
合計		3,126	32,365	34,386	66,751

4. 講習会等の効果



救助業務の現況

平成29年中における救助出動件数は63件で前年より20件減少し、救助人員は41人で前年より21人減少しました。

事故種別では、交通事故が44件と出動件数全体の69.8%を占め、また交通事故による救助人員も28人と救助人員全体の68.3%を占め、いずれも高い割合となっています。

近年の救助事象は、全国的に火災、交通事故等に加え、地震、集中豪雨による洪水や土砂崩れといった自然災害、列車事故など多数の人命を巻き込んだ集団災害、毒物・劇物による化学災害等、大規模かつ複雑多様化しており、活動は幅広い範囲に及んでいます。

このことから、高度な知識、技術を習得した専門的な救助隊員を養成し、機動力、資機材等を効率的に活用し、住民に安心を提供できるよう、更なる救助体制の充実強化に努めてまいります。

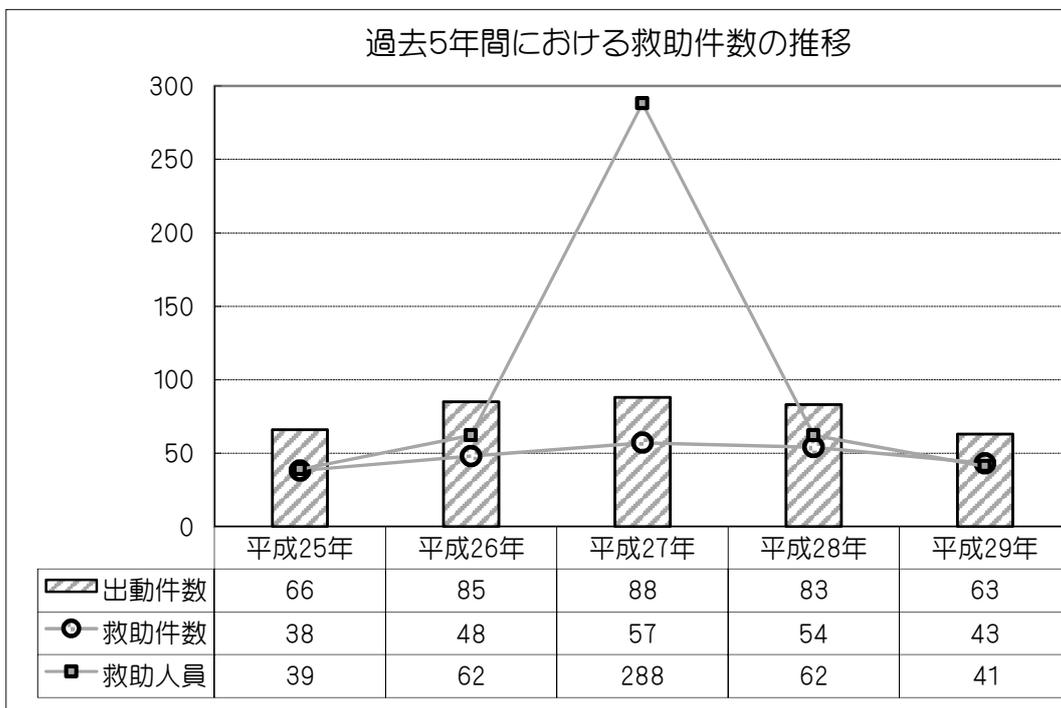


平成29年 救助活動状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	自然風水害等災害	機械による事故	建物等に よる事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	事その他の故	計
		建物	建物以外									
出動件数				44	3		1	3	1		11	63
活動件数				28	3		1	3	1		7	43
救助人員				28	3		1	3			6	41
出動人員	専任救助隊員											0
	兼任救助隊員			212	11		8	10			59	300
	消防隊員			278	27		12	25	3		72	417
	救急隊員			177	9		3	9	3		33	234
	消防団員				25							25
計		0	0	667	72	0	23	44	6	0	164	976
出動車両	救助工作車			25	1		1				4	31
	消防ポンプ自動車			69	6		2	6	1		18	102
	はしご車										1	1
	化学車			4								4
	指揮・司令車			51	5		2	4			16	78
	救急自動車			59	3		1	3	1		11	78
	船											0
	ヘリコプター											0
その他の車両				2	3						3	8
計		0	0	210	22	0	6	13	2	0	53	306
事故発生場所	住居							2	1		3	6
	その他の屋内							1			1	2
	高速自動車国道等			3								3
	その他の道路			37							1	38
	内水面				3						2	5
	外水面											0
	山岳										1	1
	その他の屋外			4			1				2	7
	地下											0
その他										1	1	
計		0	0	44	3	0	1	3	1	0	11	63
搬送別人員	救急自動車			25	2			1			1	29
	ヘリコプター			1								1
	その他の車両											0
	消防機関以外				1						1	2

過去5年間に於ける救助件数の推移



消防装備等機械器具保有状況

平成30年4月1日現在

区分	装備名	数量	区分	装備名	数量	
一般救助用器具	かぎ付き梯子	6	主な資機材	携帯警報機	4	
	バスケットストレッチャ(折り畳み式)	5		活線警報機	4	
	三連梯子	13		空気充填機	2	
	金属製折りたたみ梯子等	3		オイルフェンス	4	
	救助幕・救助マット	1		携帯無線機	49	
	救命索発射銃	2		衛星携帯電話	11	
	救助用縛帯	7		測定器具	可燃性ガス測定器	5
	平担架	2			有毒ガス測定器	5
	滑車	21			酸素濃度測定器	4
	サバイバースリング	4			放射線測定器	27
重量物排除器具	油圧ジャッキ	4	高度救助資器材	画像探査機Ⅰ型	1	
	油圧スプレッダー(大型含む)	7		画像探査機Ⅱ型	1	
	可搬式ウィンチ	9		地中音響探査機	1	
	マット型空気圧ジャッキ	2		熱画像直視装置	6	
	充電式油圧切断機マルチカッター	2		夜間用暗視装置	1	
	充電式油圧切断機スプレッダー	2		呼吸器具保護	空気呼吸器	74
	充電式油圧切断機バーカッター	1			酸素呼吸器	4
切断用器具	油圧切断機	8	隊員保護器具	送排風機	4	
	エンジンカッター	12		耐電手袋	14	
	ガス溶断機	1		耐電衣	5	
	チェンソー	16		耐電ズボン	5	
	鉄線カッター	21		耐電長靴	13	
	空気鋸	2		耐熱服	7	
破壊用器具	万能斧	45	水難救助器具	放射線防護服	7	
	ハンマー	20		潜水器具	0	
	削岩機	1		救命胴衣	82	
	ハンマードリル	3		水中投光器	3	
山岳用	登山器具	6	高度救助器具	救命浮環	22	
	バスケット担架	2		浮標	1	
主な資機材	エアーカッター	1	高度救急資器材等	救命ボート	9	
	小型動力ポンプ B-2級	3		船外機	4	
	小型動力ポンプ B-3級	0		気道確保用資器材一式	13	
	フォグガン	16		自動体外式除細動器(半自動含)	28	
	無反動ノズル	3		ショックパンツ	13	
	放水銃	2		輸液用資器材一式	13	
	低発泡ノズル	4		心電図電送装置	13	
	発動発電機 300W	1		患者監視装置	13	
	発動発電機 400W	0		室内紫外線除菌装置	4	
	発動発電機 500W～900W	25		EOG方式滅菌器	1	
	発動発電機 1KW	5		オートクレーブ滅菌器(高圧蒸気)	5	
	エアーテント	4		紫外線滅菌ロッカー	3	

予 防



平成二十九年
度防火ポスター
コンクール最優
秀賞
大崎市立古川
第五小学校 4
年 須江 優衣
さんの作品

平成三〇年度
大崎広域防火
ポスター

平成30年度 大崎広域防火標語

消すまでは 目を離さない 離れない

平成29年度防火標語コンクール最優秀賞

加美町立中新田中学校 1年 鈴木 沙織さんの作品

予防業務の現況

防火対象物数は平成30年3月31日現在、6,907件（前年比47件増）で、昨年度とは対照的に増加に転じました。この要因の主なものは、「共同住宅」や「倉庫」、また「事業所」といった建物の増加によるものです。（図1参照）

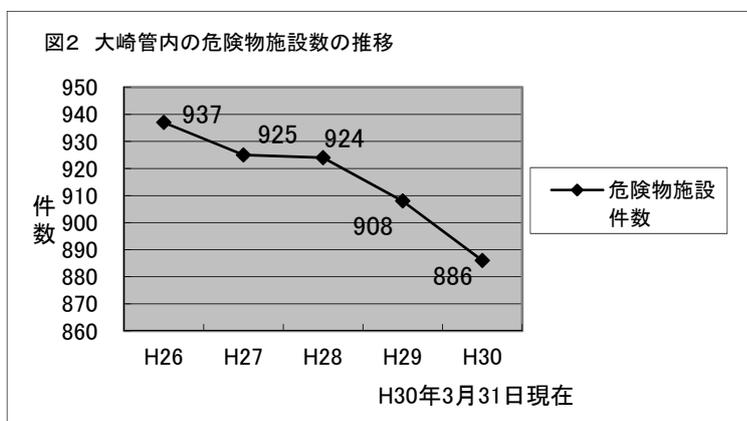
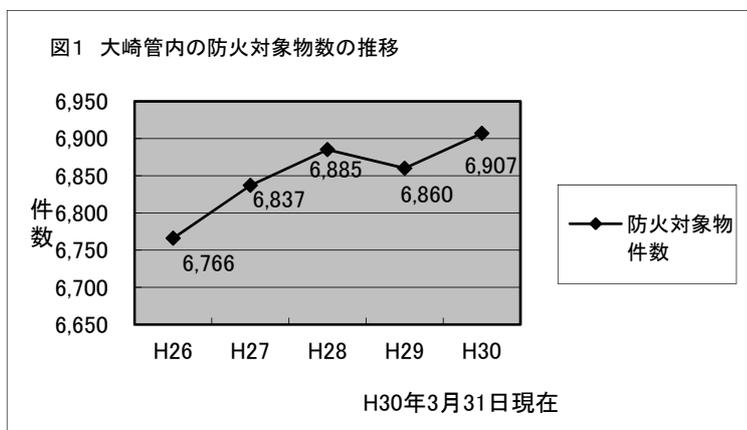
危険物施設数は平成30年3月31日現在、886件（前年比22件減）で、過去5年の件数は減少傾向にあります。この背景には、社会構造的な要因による石油製品需要の減少、その他同業者間の価格競争による採算性の悪化などが要因の一つとして推測されます。（図2参照）



さて、平成24年5月に広島県福山市で発生したホテル火災や平成25年2月に長崎市で発生した認知症高齢者グループホーム火災などを受け、国が行った調査結果等において、違反のある防火対象物が数多く存在していることが判明しました。

このことから、総務省では「違反對象物に係る公表制度の実施について」を通知し、建物の利用者が自ら火災危険性に関する情報を入手し、安心して建物を利用することができるよう、消防署等が保有する建物の火災危険性に関する情報をホームページで公表するように制度化を行いました。

当地域でも、平成30年4月から違反對象物の公表がスタートしましたので、防火対象物の安全対策を積極的に推進してまいります。



防火対象物数

平成30年3月31日現在

防火対象物区分			署 別 市町別		小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合 計	
			古川消防署	鳴子消防署		加美町	色麻町		涌谷町	美里町			
			大崎 市										
1項	イ	劇場・映画館等	9	1	10	5		5	1	3	4	19	
	ロ	公会堂・集会場	104	17	121	34	15	49	20	28	48	218	
2項	イ	バー・キャバレー等	2		2			0			0	2	
	ロ	遊技場 ダンスホール等	16		16	3		3	3	4	7	26	
	ハ	性風俗関連特殊営業店 舗			0			0			0	0	
	ニ	個室利用役務提供店舗	5		5			0			0	5	
3項	イ	待合・料理店等	3		3			0			0	3	
	ロ	飲食店	103	18	121	19	3	22	9	12	21	164	
4項		百貨店 マーケット等	250	30	280	43	5	48	22	29	51	379	
5項	イ	旅館・ホテル等	34	81	115	11	1	12	1	4	5	132	
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	1,064	74	1,138	84	25	109	36	94	130	1,377	
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	4	1	5		1	1	1	2	3	9	
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所	1		1			0		1	1	2	
		(3) (1), (2)を除く病院・診療所、助産所(入所)等	17	3	20			0	3			3	23
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	53	3	56	14		14	5	12	17	87	
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	60	10	70	10	3	13	10	25	35	118	
		(2) 救護施設			0			0			0	0	
		(3) 乳児院			0			0			0	0	
		(4) 障害児入所施設			0			0			0	0	
		(5) 障害者支援施設等	5		5			0	2		2	7	
	ハ	(1) 老人デイサービス等	34	5	39	7	2	9	4	6	10	58	
		(2) 更生施設			0			0			0	0	
		(3) 助産施設等	37	5	42	7	2	9	1	4	5	56	
		(4) 児童発達支援センター等	1		1	1		1			0	2	
		(5) 身体障害者福祉センター等	21	8	29	3	1	4	3	3	6	39	
	ニ	幼稚園・特別支援学校	24	3	27	6	2	8	4	7	11	46	
7項		小・中・高、大学等	143	24	167	37	13	50	19	54	73	290	
8項		図書館・美術館等	7	4	11	5		5	3	1	4	20	
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0	0	
	ロ	9項イ以外の公衆浴場	4	4	8	3	2	5	1		1	14	
10項		車両の停車場等	1		1			0		2	2	3	
11項		神社・寺院・教会等	63	10	73	15	4	19	7	17	24	116	
12項	イ	工場・作業場	466	82	548	197	44	241	92	131	223	1,012	
	ロ	映画・テレビスタジオ			0			0			0	0	
13項	イ	自動車庫車庫・駐車場	36	27	63	17	7	24	6	7	13	100	
	ロ	飛行機等格納庫			0			0			0	0	
14項		倉庫	348	76	424	182	41	223	54	116	170	817	
15項		前各項に該当しない事業所	611	215	826	179	87	266	91	102	193	1,285	
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物	194	38	232	28	5	33	21	23	44	309	
	ロ	16項イ以外の複合対象物	71	22	93	16	1	17	9	19	28	138	
17項		文化財等	4	4	8	4		4	19		19	31	
合計			3,795	765	4,560	930	264	1,194	447	706	1,153	6,907	

地上5階未満，地上5階以上の防火対象物数

平成30年3月31日現在

防火対象物区分			古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			各消防署			
			地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	小計	地上5階未満	地上5階以上	合計	
1項	イ	劇場・映画館等	9		9	1		1	5		5	4		4	19	0	19	
	ロ	公会堂・集会場	104		104	17		17	49		49	48		48	218	0	218	
2項	イ	バー・キャバレー等	2		2			0			0			0	2	0	2	
	ロ	遊技場 ダンスホール等	16		16			0	3		3	7		7	26	0	26	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗			0			0			0			0	0	0	0	
	ニ	個室利用役務提供店舗	5		5			0			0			0	5	0	5	
3項	イ	待合・料理店等	3		3			0			0			0	3	0	3	
	ロ	飲食店	103		103	18		18	22		22	21		21	164	0	164	
4項		百貨店 マーケット等	250		250	30		30	48		48	51		51	379	0	379	
5項	イ	旅館・ホテル等	28	6	34	69	12	81	12		12	5		5	114	18	132	
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	1,029	35	1,064	70	4	74	107	2	109	126	4	130	1,332	45	1,377	
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	2	2	4	1		1	1		1	3		3	7	2	9	
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所	1		1			0		0		1		1	2	0	2	
		(3) (1)。(2)を除く病院・診療所、助産所（入所）等	14	3	17	3		3		3		3	3		3	20	3	23
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	53		53	3		3	14		14	17		17	87	0	87	
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	58	2	60	10		10	13		13	35		35	116	2	118	
		(2) 救護施設			0			0			0			0	0	0	0	
		(3) 乳児院			0			0			0			0	0	0	0	
		(4) 障害児入所施設			0			0			0			0	0	0	0	
		(5) 障害者支援施設等	5		5			0			0	2		2	7	0	7	
	ハ	(1) 老人デイサービス等	34		34	5		5	9		9	10		10	58	0	58	
		(2) 更生施設			0			0			0			0	0	0	0	
		(3) 助産施設等	37		37	5		5	9		9	5		5	56	0	56	
		(4) 児童発達支援センター等	1		1			0	1		1			0	2	0	2	
		(5) 身体障害者福祉センター等	21		21	8		8	4		4	6		6	39	0	39	
	ニ	幼稚園・特別支援学校	24		24	3		3	8		8	11		11	46	0	46	
7項		小・中・高、大学等	142	1	143	24		24	50		50	73		73	289	1	290	
8項		図書館・美術館等	7		7	4		4	5		5	4		4	20	0	20	
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0			0	0	0	0	
	ロ	9項イ以外の公衆浴場	4		4	4		4	5		5	1		1	14	0	14	
10項		車両の停車場等	1		1			0			0	2		2	3	0	3	
11項		神社・寺院・教会等	63		63	10		10	19		19	24		24	116	0	116	
12項	イ	工場・作業場	466		466	82		82	241		241	221	2	223	1,010	2	1,012	
	ロ	映画・テレビスタジオ			0			0			0			0	0	0	0	
13項	イ	自動車車庫・駐車場	35	1	36	27		27	24		24	13		13	99	1	100	
	ロ	飛行機等格納庫			0			0			0			0	0	0	0	
14項		倉庫	347	1	348	76		76	223		223	170		170	816	1	817	
15項		前各項に該当しない事業所	599	12	611	214	1	215	266		266	192	1	193	1,271	14	1,285	
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物	188	6	194	38		38	33		33	44		44	303	6	309	
	ロ	16項イ以外の複合対象物	64	7	71	22		22	17		17	27	1	28	130	8	138	
17項		文化財等	4		4	4		4	4		4	19		19	31	0	31	
合計			3,719	76	3,795	748	17	765	1,192	2	1,194	1,145	8	1,153	6,804	103	6,907	

※地上5階未満は、地下のみを含む。

防火対象物における防火管理の状況

平成30年3月31日現在

防火対象物区分			古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			合計			
			法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	
1項	イ	劇場・映画館等	9	9	9				4	4	4	4	4	4	17	17	17	
	ロ	公会堂・集会場	102	100	100	17	17	17	51	48	48	49	48	48	219	213	213	
2項	イ	バー・キャバレー等	1	1	1										1	1	1	
	ロ	遊技場 ダンスホール等	14	14	14				3	3	3	7	7	7	24	24	24	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗													0	0	0	
	ニ	個室利用役務提供店舗	5	4	3										5	4	3	
3項	イ	待合・料理店等	3	3	3										3	3	3	
	ロ	飲食店	102	78	76	13	13	13	18	18	18	20	20	20	153	129	127	
4項		百貨店 マーケット等	181	154	153	25	25	24	38	37	37	46	42	42	290	258	256	
5項	イ	旅館・ホテル等	18	17	17	59	59	59	5	5	5	4	4	4	86	85	85	
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	41	37	37	2	2	2	7	7	7	11	11	11	61	57	57	
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	3	3	3							3	3	3	6	6	6	
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所	1	1	1							1	1	1	2	2	2	
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療所、助産所(入所)等	14	14	13	1	1	1				2	2	2	17	17	16	
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所、助産所	15	12	12				3	3	3	3	3	3	21	18	18	
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	47	47	46	8	8	8	9	9	9	31	30	30	95	94	93	
		(2) 救護施設													0	0	0	
		(3) 乳児院													0	0	0	
		(4) 障害児入所施設													0	0	0	
		(5) 障害者支援施設等										2	2	2	2	2	2	
	ハ	(1) 老人デイサービス等	13	14	14	1	1	1	6	6	6	3	3	3	23	24	24	
		(2) 更生施設													0	0	0	
		(3) 助産施設等	32	31	31	5	5	5	7	7	7	4	4	4	48	47	47	
		(4) 児童発達支援センター等	1	1	1											1	1	1
		(5) 身体障害者福祉センター等	10	10	9	3	3	3	2	2	2	3	3	3	18	18	17	
		ニ	幼稚園・特別支援学校	12	12	12	2	2	2	6	6	6	7	7	7	27	27	27
	7項		小・中・高, 大学等	42	42	42	7	7	7	15	15	15	19	19	19	83	83	83
8項		図書館・美術館等	5	5	5	4	4	4	5	5	5	3	3	3	17	17	17	
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等													0	0	0	
	ロ	9項イ以外の公衆浴場	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	6	6	6	
10項		車両の停車場等													0	0	0	
11項		神社・寺院・教会等	35	26	25	7	6	6	12	12	12	18	16	16	72	60	59	
12項	イ	工場・作業場	39	39	39	3	3	3	18	18	18	13	13	13	73	73	73	
	ロ	映画・テレビスタジオ													0	0	0	
13項	イ	自動車車庫・駐車場													0	0	0	
	ロ	飛行機等格納庫													0	0	0	
14項		倉庫	2	1	1							2	1	1	4	2	2	
15項		前各項に該当しない事業所	103	95	93	12	12	12	33	32	32	28	28	28	176	167	165	
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物	152	127	124	32	32	32	32	32	32	31	29	29	247	220	217	
	ロ	16項イ以外の複合防火対象物	8	6	6	2	2	2	2	2	2	1	1	1	13	11	11	
17項		文化財等	1	1	1										1	1	1	
合計			1,013	906	893	205	204	203	277	272	272	316	305	305	1,811	1,687	1,673	
届出比率%				89.4%	88.2%		99.5%	99.0%		98.2%	98.2%		96.5%	96.5%		93.2%	92.4%	

定期点検報告制度該当防火対象物数

平成30年3月31日現在

署別市町別 防火対象物区分			古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合計
			大崎市			加美町	色麻町		涌谷町	美里町		
1項	イ	劇場・映画館等	9		9	4		4	1	3	4	17
	ロ	公会堂・集会場	46	8	54	13	2	15	8	14	22	91
2項	イ	バー・キャバレー等			0			0			0	0
	ロ	遊技場 ダンスホール等	14		14	3		3	2	2	4	21
	ハ	性風俗関連特殊営業 店舗			0			0			0	0
	ニ	個室利用役務提供店 舗	2		2			0			0	2
3項	イ	待合・料理店等			0			0			0	0
	ロ	飲食店	3	1	4			0			0	4
4項		百貨店 マーケット等	50	4	54	4		4	6	5	11	69
5項	イ	旅館・ホテル等	3	12	15	1		1			0	16
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	1		1		1	1			0	2
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所			0			0			0	0
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療所、助産所（入所）等	7		7			0			0	7
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	1		1			0			0	1
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	1		1			0			0	1
		(2) 救護施設			0			0			0	0
		(3) 乳児院			0			0			0	0
		(4) 障害児入所施設			0			0			0	0
		(5) 障害者支援施設等			0			0			0	0
	ハ	老人デイサービス等			0	1		1			0	1
ニ	幼稚園・盲ろう学校			0			0			0	0	
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0	0
16項	イ	特定用途複合 用途防火対象物	23	8	31	8	2	10	2	4	6	47
合計			160	33	193	34	5	39	19	28	47	279

消防同意事務処理状況

平成29年度

種別		署別市町別	古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合計
		大崎市	加美町	色麻町		涌谷町	美里町					
新	築		141	12	153	28	4	32	11	24	35	220
増	築		36	7	43	12	2	14	3	3	6	63
改	築				0			0			0	0
移	転				0			0			0	0
修	繕				0			0			0	0
模	様替				0			0			0	0
用	途変更		5	2	7			0	1		1	8
そ	の他		3		3			0			0	3
合	計		185	21	206	40	6	46	15	27	42	294
消防設備設置指導を行った			71	6	77	18	1	19	5	11	16	112

危険物施設状況

平成30年3月31日現在

施設区分 \ 署 別						合 計
		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	
危険物施設数（完成施設）	製 造 所	2	1			3
	屋 内 貯 蔵 所	56	14	11	18	99
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	30	9	15	21	75
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2		3	1	6
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	117	48	53	30	248
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所					0
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	51	15	53	45	164
	屋 外 貯 蔵 所	3	1	2	5	11
	給 油 取 扱 所	57	20	32	23	132
	販 売 取 扱 所					0
	一 般 取 扱 所	73	22	33	20	148
	移 送 取 扱 所					0
	合 計		391	130	202	163
数量別施設数	5 倍 以 下	185	65	112	84	446
	5 倍 を 超 え 10 倍 以 下	81	27	29	25	162
	10 倍 を 超 え 50 倍 以 下	65	20	37	31	153
	50 倍 を 超 え 100 倍 以 下	27	7	12	4	50
	100 倍 を 超 え 150 倍 以 下	10	4	3	5	22
	150 倍 を 超 え 200 倍 以 下	8	4	6	5	23
	200 倍 を 超 える も の	15	3	3	9	30
合 計		391	130	202	163	886

危険物関係事務処理状況

平成29年度

署 別 許可区分 施設区分	古川消防署					鳴子消防署					加美消防署					遠田消防署					合 計									
	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認					
	設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更						
製 造 所		1		2	1																					0	1	0	2	1
屋 内 貯 蔵 所		1		1			1		1	1																0	2	0	2	1
屋外タンク貯蔵所		2		2	1		1		1	1																0	3	0	3	2
屋内タンク貯蔵所																										0	0	0	0	0
地下タンク貯蔵所		1		1			1		1							1	1									1	3	0	2	0
簡易タンク貯蔵所																										0	0	0	0	0
移動タンク貯蔵所	3		3			1		1								2	1									6	1	4	0	0
屋 外 貯 蔵 所		1		1																						0	1	0	1	0
給 油 取 扱 所		23		23	19	1	4	1	3	3						3	3				3	3				1	30	1	26	28
一 般 取 扱 所	1	2		2	1		8		7	6							2									1	12	0	9	7
合 計	4	31	3	32	22	2	15	2	13	11	0	0	0	0	3	3	7	0	0	3	9	53	5	45	39					

危険物関係申請状況

平成29年度

区 分	署 別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
タンクの水張, 水圧検査 (政令)			1	2		3
タンクの水張, 水圧検査 (条例)						0
仮 貯 蔵			3	1	1	5
仮 取 扱			2	1	3	7

圧縮アセチレンガス等の届出状況

平成30年3月31日現在

区 分	署 別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
圧縮アセチレンガス等	圧縮アセチレンガス	3			7	10
	無水硫酸				1	1
	液化石油ガス	732	122	193	185	1,232
	生石灰	8		3	6	17
	毒物	7			2	9
	劇物	40			2	42
指定可燃物等	可燃性固体類				1	1
	石炭・木炭類					0
	可燃性液体類	11		2	1	14
	合成樹脂類	59	2	22	22	105
	再生資源燃料	3				3
	その他	37	18	23		78
	指定可燃物に類する物品	11			17	28
少 量 危 険 物		834	288	382	345	1,849
	移動タンク	47	16	20	16	99

予防査察実施状況

【防火対象物】

平成29年度

防火対象物区分		署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
			実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
1項	イ 劇場・映画館等		5	2	5	4	16
	ロ 公会堂・集会場		80	14	34	17	145
2項	イ バー・キャバレー等		1				1
	ロ 遊技場・ダンスホール等		7		3	1	11
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗						0
	ニ 個室利用役務提供店舗		4				4
3項	イ 待合・料理店等		2				2
	ロ 飲食店		65	9	7	11	92
4項	百貨店・マーケット等		152	26	43	19	240
5項	イ 旅館・ホテル等		83	87	39	24	233
	ロ 寄宿舍・共同住宅等		37	45	13	7	102
6項	イ 病院・診療所		24	4	2	5	35
	ロ 老人短期入所施設等		52	10	11	37	110
	ハ 老人デイサービス等		51	13	15	8	87
	ニ 幼稚園・盲ろう学校		10		4	7	21
7項	小・中・高等・大学等		47	9	29	32	117
8項	図書館・美術館等		2	2	3	1	8
9項	イ 蒸気浴場・熱気浴場等						0
	ロ 9項イ以外の公衆浴場		2	2	9		13
10項	車両の停車場等						0
11項	神社・寺院・教会等		17	3	10	7	37
12項	イ 工場・作業場		131	38	68	34	271
	ロ 映画・テレビスタジオ		2				2
13項	イ 自動車車庫・駐車場		7	8	10	3	28
	ロ 飛行機等格納庫						0
14項	倉庫		71	38	80	25	214
15項	前各項に該当しない事業所		165	62	114	26	367
16項	イ 特定用途複合用途防火対象物		105	18	23	17	163
	ロ 16項イ以外の複合対象物		11	10	3	4	28
17項	文化財等		1	3	5	22	31
実施件数合計			1,134	403	530	311	2,378

【危険物施設】

危険物施設区分		署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
			実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
製造所			1	1			2
取扱所	給油取扱所		45	24	20	23	112
	一般取扱所		28	21	21	5	75
貯蔵所	屋内貯蔵所		13	12	7	1	33
	屋外貯蔵所			1	3		4
	屋内タンク貯蔵所		1			1	2
	屋外タンク貯蔵所		17	6	5	3	31
	地下タンク貯蔵所		47	33	33	10	123
	簡易タンク貯蔵所						0
	移動タンク貯蔵所		53	15	42	48	158
実施件数合計			205	113	131	91	540

査察実施件数は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までのもの。

液化石油ガス関係事務処理状況

平成29年度

区 分		署 別				合 計
		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	
液化石油ガス 設備工事	設備工事届	14	3		1	18
特定液化石油ガス 設備工事業業	事業開始届	1				1
	事業変更届	8				8
	事業廃止届	2	2			4
立入検査			3			3

火薬類取締関係事務処理状況

平成29年度

区 分		署 別				合 計	
		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署		
許 可	譲渡許可				1	1	
	譲受許可	3	1	3		7	
	営業許可					0	
	設置・移転許可					0	
	消費許可	煙火	6	1	2	4	13
		その他		1	2		3
火薬庫保安検査		1	1			2	
火薬庫外貯蔵所指示		1				1	
立入検査	販売業者	2	2			4	
	火薬庫	1	1			2	
	消費業者	11	1	3	4	19	
	その他	3	1		2	6	

民間防火組織の結成状況

平成30年4月1日現在

組織区分 市町名	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		婦人防火クラブ	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
大 崎 市	32	1,119	0	0	104	15,966
色 麻 町	0	0	0	0	25	1,804
加 美 町	5	153	0	0	74	4,194
涌 谷 町	5	435	1	82	48	3,773
美 里 町	0	0	0	0	9	7,573
合 計	42	1,707	1	82	260	33,310

《幼少年消防クラブについて》

幼少年消防クラブは、活動を通じて規律正しく明るく元気な子供を育成することを目的とし、消防署の見学や玩具煙火の正しい遊び方等を学んでもらい、幼年期に防火意識を身に付けてもらえるよう育成指導に努めています。



《大崎地域婦人防火クラブ連合会について》事務局：大崎消防本部予防課内

昭和56年に「我が家と地域から火災を無くそう」を合言葉に大崎地域の婦人防火クラブの健全な育成とクラブ相互の親睦を図り、火災予防思想の普及に寄与することを目的として結成されました。

平成29年度大崎婦人防火クラブ大会では「これからの地域防災～気候の変化に学ぶ～」をテーマに地球温暖化の影響による東北地方の気候変化を学び、今後の地域防災を考える研修会を開催しました。また、自主リーダー研修会は「色麻町」を会場に防災に関する講演及び防災対策に取り組む地元企業の施設見学を行いました。今後も、地域の防火防災のリーダーとして家庭の防火対策や広報活動など、防火思想の普及に幅広く活動していきます。



通信指令



○ 119番通報のポイント ○

★ あわてず、落ち着いて話してください！

1. 火事？それとも救急？
2. あなたの居る場所・緊急車が必要な住所
3. 誰が、どこで、どうしたのか？
4. あなたの名前、電話番号



高機能消防指令センターの概要

高機能消防指令センターでは、コンピュータや通信技術を活用して、災害通報受付の受信体制を充実強化し、正確・迅速な出動指令及び効率的な部隊運用を行うとともに、関係機関への連絡、住民への情報提供等の一連の業務を行っています。

(1) 災害受付

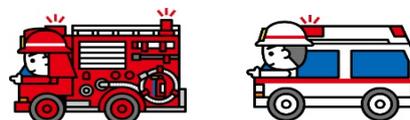
災害通報には、119番通報、消防署所への駆けつけ通報、警察や関係機関からの通報があります。

119番通報時に、通報者の位置情報が表示される位置情報システムを活用することで、短時間で災害場所を特定し、救命率の向上や災害の被害の軽減を図っています。



(2) 出動指令

消防車や救急車の位置をGPSにより管理し、コンピュータにより部隊編成し、有線や無線で出動指令します。



(3) 情報収集・支援情報提供

気象情報や、事前に収集してある消防水利、大規模建物、危険物等の情報を災害現場に支援情報として提供します。



(4) 関係機関への連絡

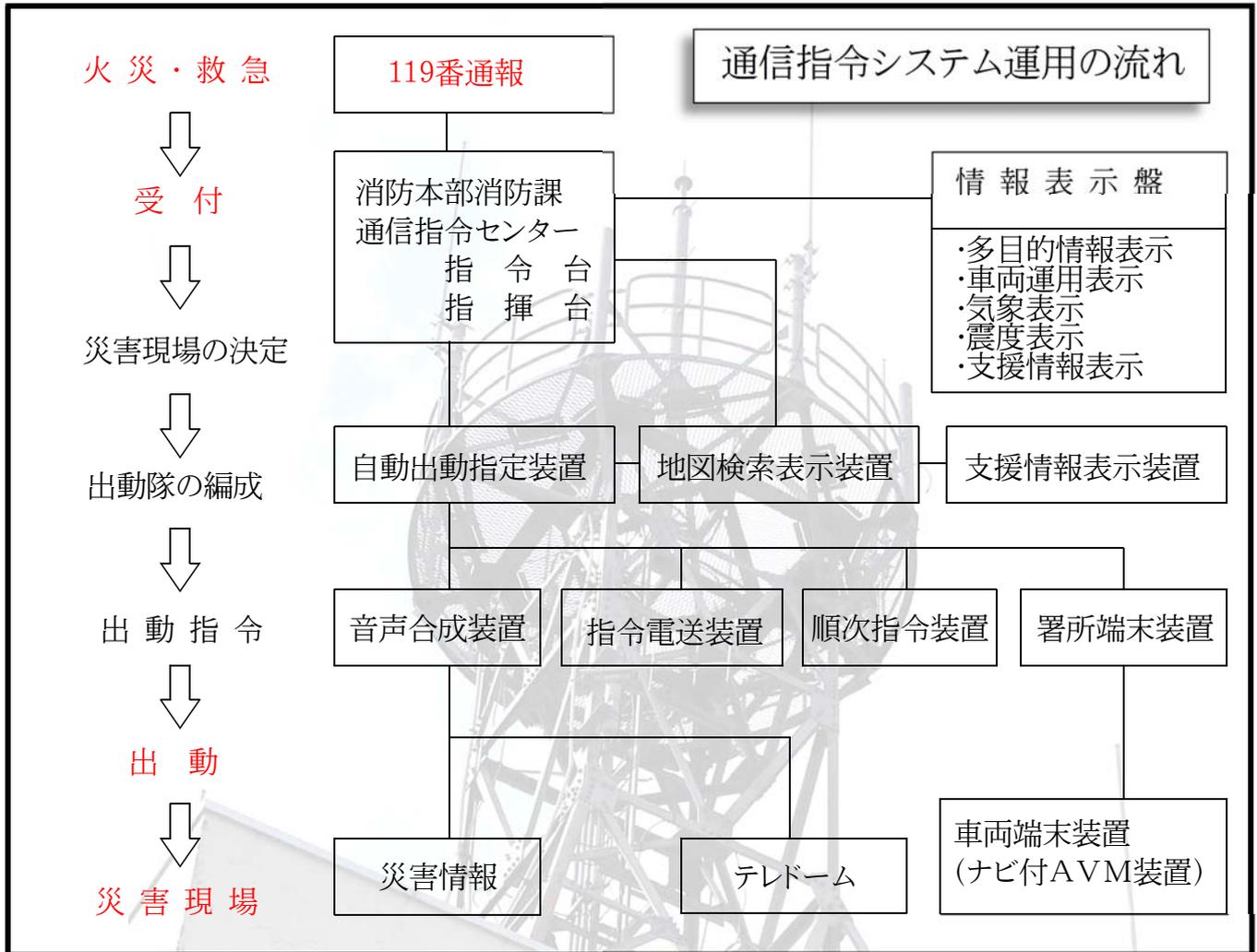
警察、ガス会社、電力会社等の関係機関には、災害情報を専用回線で連絡しています。また、国や県には災害規模により、衛星通信、無線、有線により連絡します。



(5) 住民への情報提供

テレドーム(0180-992-500)により災害指令と同時に情報提供しています。

通信指令システムの概要



指令装置機器一覧

平成30年4月1日現在

項目	内訳	
	数量	単位
1 指令装置	1	式
(1) 指令台	2	台
(2) 自動出動指定装置	1	式
ア 制御処理装置	1	台
イ ディスプレイ	2	台
(3) 地図検索装置	1	式
ア 制御処理装置	1	台
イ ディスプレイ	2	台
(4) 支援情報表示装置	1	式
ア 制御処理装置	1	台
イ ディスプレイ	2	台
(5) 長時間録音装置	1	台
(6) 非常用指令装置	1	台
(7) 指令制御装置	1	台
(8) プリンタ	1	台
(9) カラープリンタ	1	台
(10) スキャナ	1	台
(11) データメンテナンス装置	2	台
(12) 署所端末装置	9	台
(13) バックアップ受令機	8	台
2 指揮台	1	式
3 表示盤	1	式
(1) 車両運用表示盤	2	面
(2) 支援情報表示盤	1	面
(3) 多目的情報表示盤	2	面
(4) 映像制御装置	1	面

項目	内訳	
	数量	単位
4 無線統制台	1	式
5 指令電送装置	1	式
(1) 指令情報送信装置	1	台
(2) 指令情報出力装置	9	台
6 気象情報収集装置	1	式
7 災害状況等自動案内装置	1	式
8 順次指令装置	1	式
9 音声合成装置	1	式
10 出動車両運用管理装置	1	式
(1) 管理装置	1	台
(2) 車両運用端末装置	52	台
(3) 車外設定端末装置	45	台
11 システム監視装置	1	式
12 電源設備	1	式
(1) 無停電電源装置	9	台
(2) 直流電源装置	1	台
(3) 非常用発動発電機	1	台
13 統合型位置情報通知装置	1	式
14 防災無線連動集中制御装置	1	式
15 119FAX受信装置	1	台
16 監視カメラ装置（庁舎用）	1	式
(1) 監視カメラ	4	台
(2) 監視映像受信装置	1	面
17 デジタル無線受令機	25	台

1 1 9 番 等 受 付 状 況 (災 害)

平成29年1月1日～平成29年12月31日

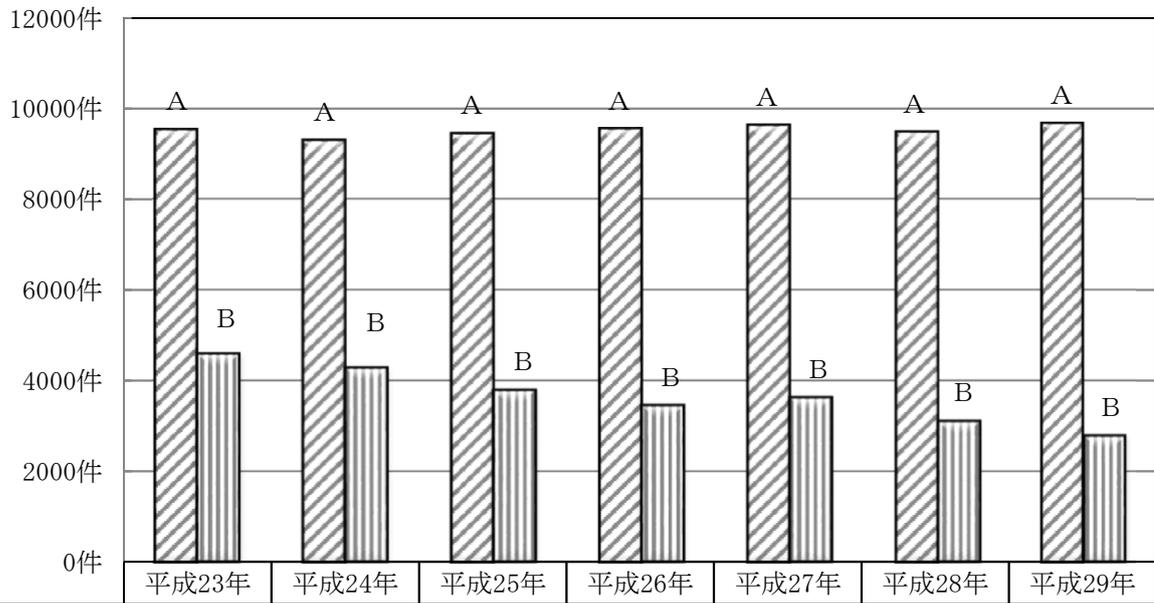
月別	受付種別	火 災	救 急	救助	その他	合 計
1月	1 1 9 番	4	539	2	5	550
	携 帯 1 1 9	1	216	4	8	229
	加 入 電 話	1	27	2	6	36
	そ の 他	1	10	1	4	16
	小 計	7	792	9	23	831
2月	1 1 9 番	2	500		5	507
	携 帯 1 1 9	4	176	4	8	192
	加 入 電 話	1	21		2	24
	そ の 他		8	2	2	12
	小 計	7	705	6	17	735
3月	1 1 9 番	2	609		10	621
	携 帯 1 1 9	3	210	5	5	223
	加 入 電 話	1	22	1	8	32
	そ の 他		15	1	1	17
	小 計	6	856	7	24	893
4月	1 1 9 番	2	482	1	9	494
	携 帯 1 1 9	5	194	1	11	211
	加 入 電 話	1	23		5	29
	そ の 他	2	3		2	7
	小 計	10	702	2	27	741
5月	1 1 9 番	2	493	1	4	500
	携 帯 1 1 9	2	201		10	213
	加 入 電 話		22	3	9	34
	そ の 他	2	13		6	21
	小 計	6	729	4	29	768
6月	1 1 9 番	1	448	3	11	463
	携 帯 1 1 9	1	206		6	213
	加 入 電 話		27	1	2	30
	そ の 他		8		5	13
	小 計	2	689	4	24	719
7月	1 1 9 番	1	513	1	9	524
	携 帯 1 1 9	3	272	2	7	284
	加 入 電 話		28	2	5	35
	そ の 他		8		8	16
	小 計	4	821	5	29	859
8月	1 1 9 番	3	529		8	540
	携 帯 1 1 9	3	233	2	8	246
	加 入 電 話		19	1	14	34
	そ の 他	1	19		4	24
	小 計	7	800	3	34	844
9月	1 1 9 番	3	499		19	521
	携 帯 1 1 9	2	225	1	13	241
	加 入 電 話		18	2	6	26
	そ の 他		5	1	7	13
	小 計	5	747	4	45	801
10月	1 1 9 番	2	542	2	12	558
	携 帯 1 1 9	1	218	1	6	226
	加 入 電 話	1	15	1	4	21
	そ の 他		11	1	7	19
	小 計	4	786	5	29	824
11月	1 1 9 番	2	538	1	9	550
	携 帯 1 1 9	2	219	4	9	234
	加 入 電 話		20	1	5	26
	そ の 他		8		4	12
	小 計	4	785	6	27	822
12月	1 1 9 番	2	542	2	11	557
	携 帯 1 1 9	1	226	5	6	238
	加 入 電 話		19	1	7	27
	そ の 他	1	8		4	13
	小 計	4	795	8	28	835
合計	1 1 9 番	26	6,234	13	112	6,385
	携 帯 1 1 9	28	2,596	29	97	2,750
	加 入 電 話	5	261	15	73	354
	そ の 他	7	116	6	54	183
	小 計	66	9,207	63	336	9,672

1 1 9 番 等 受 付 状 況 (災 害 以 外)

平成29年1月1日～平成29年12月31日

月別	受付種別	事案 試験	いたずら	問い 合せ	間違い	訓練	試験	重複 その他	合計
1月	1 1 9 番		5	36	30	20	4	8	103
	携 帯 1 1 9		2	43	20			12	77
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		7	79	50	20	4	20	180
2月	1 1 9 番		4	30	40	18	5	7	104
	携 帯 1 1 9		2	48	33	1		17	101
	加 入 電 話			1					1
	そ の 他								
	小 計		6	79	73	19	5	24	206
3月	1 1 9 番		1	44	38	47	24	10	164
	携 帯 1 1 9		2	37	34	1	3	18	95
	加 入 電 話				1				1
	そ の 他								
	小 計		3	81	73	48	27	28	260
4月	1 1 9 番		3	31	29	26	14	6	109
	携 帯 1 1 9			46	27			11	84
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		3	77	56	26	14	17	193
5月	1 1 9 番		1	34	25	30	11	4	105
	携 帯 1 1 9		1	62	22	1	4	10	100
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		2	96	47	31	15	14	205
6月	1 1 9 番			26	32	70	8	8	144
	携 帯 1 1 9		3	32	30	1	4	17	87
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		3	58	62	71	12	25	231
7月	1 1 9 番			40	36	38	9	5	128
	携 帯 1 1 9		3	65	22	2	1	21	114
	加 入 電 話			1					1
	そ の 他			1					1
	小 計		3	107	58	40	10	26	244
8月	1 1 9 番			41	32	30	14	12	129
	携 帯 1 1 9			49	32		1	21	103
	加 入 電 話				2				2
	そ の 他								
	小 計			90	66	30	15	33	234
9月	1 1 9 番		2	29	23	32	7	10	103
	携 帯 1 1 9			41	22		1	25	89
	加 入 電 話			1					1
	そ の 他								
	小 計		2	71	45	32	8	35	193
10月	1 1 9 番		1	48	33	82	13	6	183
	携 帯 1 1 9		1	53	30		1	20	105
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		2	101	63	82	14	26	288
11月	1 1 9 番		5	44	36	79	12	6	182
	携 帯 1 1 9			62	22	2		21	107
	加 入 電 話				1				1
	そ の 他								
	小 計		5	106	59	81	12	27	290
12月	1 1 9 番		6	47	31	39	7	18	148
	携 帯 1 1 9		5	53	28	1	1	17	105
	加 入 電 話								
	そ の 他				1				1
	小 計		11	100	60	40	8	35	254
合計	1 1 9 番		28	450	385	511	128	100	1,602
	携 帯 1 1 9		19	591	322	9	16	210	1,167
	加 入 電 話			3	4				7
	そ の 他			1	1				2
	小 計		47	1,045	712	520	144	310	2,778

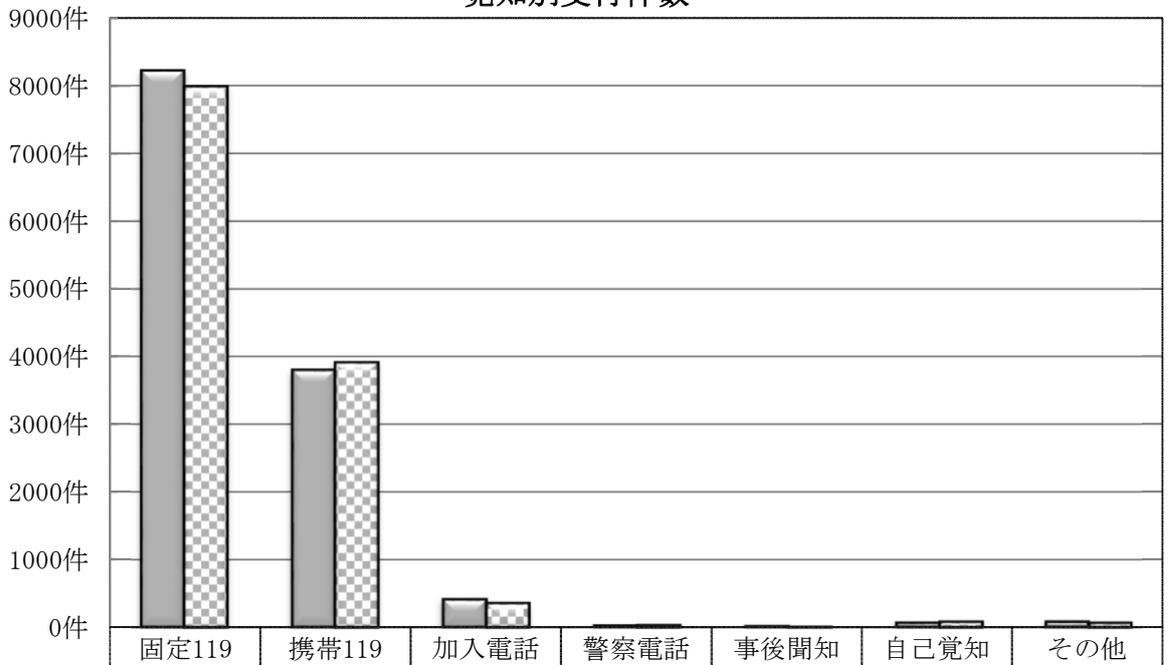
119番等受付件数



■ 災害 A	9,528	9,299	9,446	9,554	9,625	9,484	9,672
■ 災害以外 B	4,587	4,278	3,786	3,448	3,625	3,107	2,778

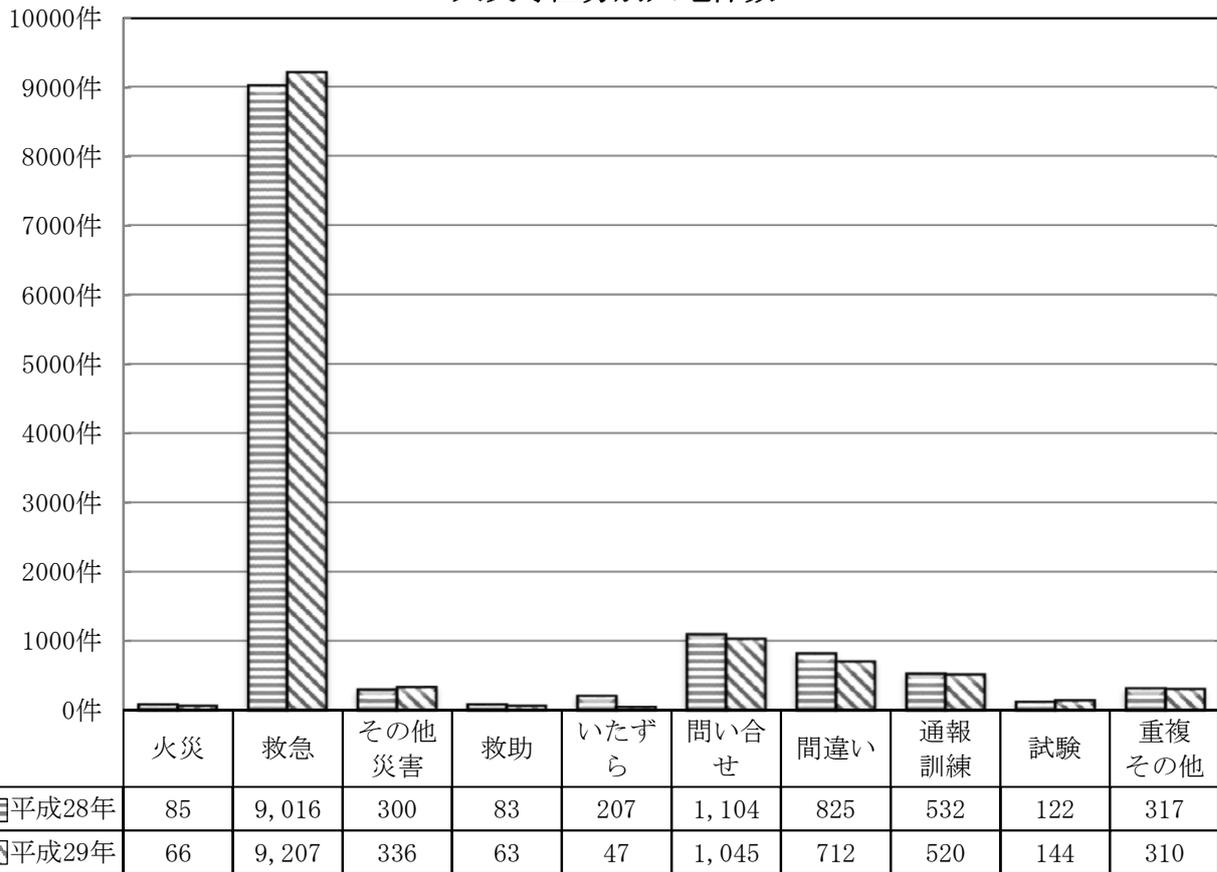
- ・災害とは「火災」「救急」「救助」「その他災害」をいう。
- ・災害以外とは「事案試験」「いたずら」「問合せ」「間違い」「訓練」「試験」「重複・その他」をいう。

覚知別受付件数

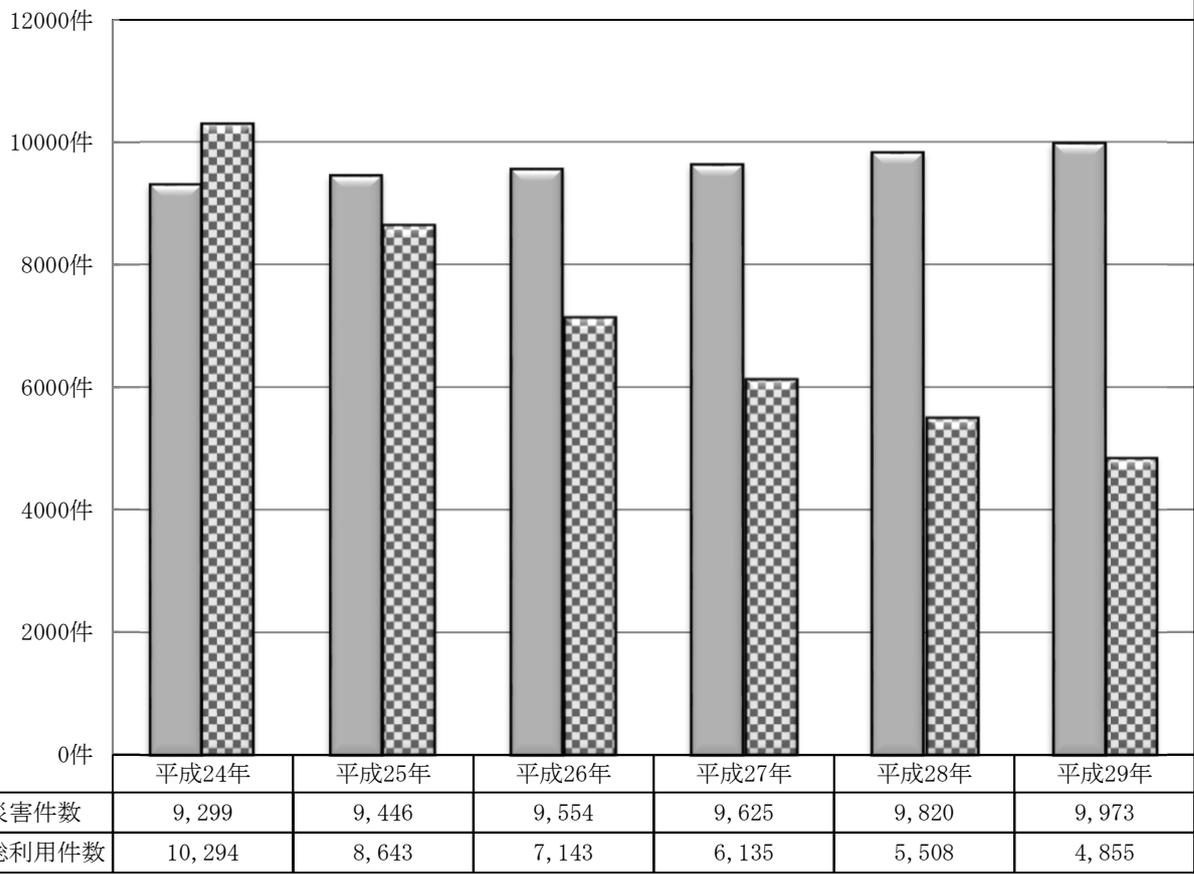


■ 平成28年	8,223	3,793	408	19	11	61	76
■ 平成29年	7,987	3,917	359	29	7	83	68

火災等区分別入電件数



テレドーム利用件数



・テレドームとは、救急出動を除く火災、救助、その他災害の発生状況を音声案内で情報提供するものをいう。

月 別 気 象 状 況 (平成29年)

(消防本部観測記録)

観測項目		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 平均
温度	最高 (°C)	11.1	14.8	14.8	24.2	32.8	29.3	34.9	31.7	29.1	25.7	22.2	11.3	23.5
	最低 (°C)	-7.5	-5.4	-4.6	-0.1	4.4	8.3	17.1	16.1	7.6	6.0	-2.2	-4.7	2.9
	平均 (°C)	1.4	2.0	4.2	10.5	16.7	18.3	24.9	22.6	20.1	14.0	7.5	1.8	12.0
湿度	最低 (%)	49.4	47.7	40.0	31.9	27.5	42.4	44.9	44.9	48.8	51.1	42.7	56.6	44.0
	平均 (%)	91.8	86.5	86.6	80.6	83.3	89.3	91.8	96.6	90.2	92.6	88.5	94.8	89.4
風速	日最高平均 (m/s)	11.8	14.3	15.5	16.1	14.9	13.2	9.3	8.7	16.0	16.7	14.0	14.0	13.7
	瞬間最大 (m/s)	20.5	27.2	25.8	27.0	27.8	22.5	16.8	16.0	29.4	29.6	25.7	27.7	24.7
	平均 (m/s)	2.9	3.7	3.2	3.1	2.6	3.0	2.1	1.9	2.6	2.2	2.6	2.7	2.7
降水量	1日最大 (mm)	4.5	3.5	13.0	37.0	36.0	15.0	25.0	39.0	25.5	94.0	5.0	4.5	25.2
	積算 (mm)	13.0	13.5	41.5	76.0	71.5	66.5	173.0	168.5	129.5	246.0	8.5	10.5	84.8
天候観測 昼観測 (日数)	晴日 (快晴含)	12	12	17	15	20	15	18	6	22	14	20	13	184
	曇日	16	14	9	12	8	10	7	5	4	10	9	10	114
	雨日	0	1	3	3	4	5	6	20	3	7	0	0	52
	雪日	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	8	14
地震観測	回数	5	7	2	3	1	0	8	4	4	3	3	3	43
	最大震度	2	3	2	1	1	-	3	2	3	3	3	2	-
備考 年記録	温度	最高 34.9°C (7月)												
		最低 -7.5°C (1月)												
	風速	最大瞬間風速 29.6m/S (10月)												
	降水量	一日最大 94 mm (10月)												
	地震観測	最大震度 3 (2月28日, 7月20日, 9月27日, 10月6日, 11月11日)												

■天候観測は、0時から24時の気象概況

管内の消防団



第 2 3 回 全国 女性 消防 操法 大会

《 大 崎 市 女 性 消 防 隊 》

於：秋田県秋田市（向浜運動広場駐車場）

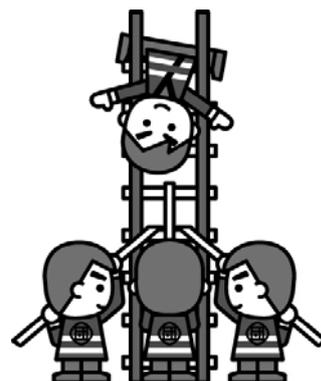
大崎管内の消防団構成

平成30年4月1日現在

市町名	定 数	実 数	階 級 別 実 数								所有車両数
			団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	副 班 長	団 員	
大崎市	2,430	2,335 (12)	1	22	56	72	140	289	0	1,755 (12)	ポンプ車 10 小型ポンプ積載車 131 小型ポンプ 84 その他 0
色麻町	210	205 (9)	1	1	4	4	0	20 (1)	0	175 (8)	ポンプ車 0 小型ポンプ積載車 18 小型ポンプ 0 その他 0
加美町	640	602 (1)	1	3	7	7	20	66	0	498 (1)	ポンプ車 2 小型ポンプ積載車 62 小型ポンプ 1 その他 0
涌谷町	300	292 (10)	1	2	7	7	6	21 (1)	8	240 (9)	ポンプ車 1 小型ポンプ積載車 17 小型ポンプ 0 その他 0
美里町	561	472 (7)	1	2	10	14	13 (1)	31 (1)	31	370 (5)	ポンプ車 2 小型ポンプ積載車 27 小型ポンプ 0 その他 0
合 計	4,141	3,906 (39)	5	30	84	104	179 (1)	427 (3)	39	3,038 (35)	ポンプ車 15 小型ポンプ積載車 255 小型ポンプ 85 その他 0

※大崎市消防団については、副団長のうち7名が支団長を兼ねる。

※（ ）内は女性消防団員の数



平成30年版 消防年報

平成30年6月発行

編集・発行 大崎地域広域行政事務組合消防本部管理課



宮城県大崎市古川北町三丁目2番20号
電話 (0229)22-2351(代)
FAX (0229)24-4048
